

CC-Link

取扱説明書 第1版

ACON
PCON
SCON-CA

お使いになる前に

この度は、当社の製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。

この取扱説明書は本製品の取扱い方法や構造、保守等について解説しており、安全にお使い頂く為に必要な情報を記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読み頂き、十分理解した上で安全にお使い頂きますよう、お願い致します。

製品に同梱の CD/DVD には、当社製品の取扱説明書が収録されています。

製品のご使用につきましては、該当する取扱説明書の必要部分をプリントアウトするか、またはパソコンで表示してご利用ください。

お読みになった後も取扱説明書は、本製品を取り扱われる方が、必要な時にすぐ読むことができるように保管してください。

【重要】

- この取扱説明書は、本製品専用にかかれたオリジナルの説明書です。
- この取扱説明書に記載されている以外の運用はできません。記載されている以外の運用をした結果につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- この取扱説明書に記載されている事柄は、製品の改良にともない予告なく変更させて頂く場合があります。
- この取扱説明書の内容について、ご不審やお気付きの点などがありましたら、「アイエイアイお客様センターエイト」もしくは最寄りの当社営業所までお問合せください。
- この取扱説明書の全部または一部を無断で使用・複製する事はできません。
- 本文中における会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

⚠ 注意：以下の機能については、別冊の取扱説明書に記載されています。

	取扱説明書 / 概要	管理番号
1	CC-Link 取扱説明書 X-SEL、TT、ASEL、PSEL、SSEL、SCON-C、RCS-C、 E-Con を使用する場合は、こちらをご覧ください。	MJ0123

目 次

安全ガイド	1
1. 概要	9
2. インタフェース仕様	10
3. ACON、PCON	11
3.1 動作モードと機能	11
3.2 型式	14
3.3 CC-Link インタフェース	15
3.4 動作モードの選択（設定）	16
3.5 局番の設定	16
3.6 通信速度の設定	17
3.7 マスタ局との交信	18
3.7.1 各動作モードと PLC アドレスの対応	18
3.7.2 リモート I/O モード（リモートデバイス局：占有局数 1 局）	20
3.7.3 ポジション／簡易直値モード（リモートデバイス局：占有局数 1 局）	26
3.7.4 ハーフ直値モード（リモートデバイス局：占有局数 2 局）	31
3.7.5 フル直値モード（リモートデバイス局：占有局数 4 局）	38
3.7.6 リモート I/O モード 2（リモートデバイス局：占有局数 1 局）	47
3.7.7 入出力信号の制御と機能	51
3.8 入出力信号のタイミング	66
3.9 運転	67
3.10 CC-Link 関連パラメータ	75
3.11 トラブルシューティング	80
3.11.1 ステータス LED の表示	80
3.11.2 アラーム内容と原因・対策	80
3.12 CE マーキング	81
4. SCON-CA	82
4.1 動作モードと機能	82
4.2 型式	86
4.3 CC-Link インタフェース	87
4.4 動作モードの選択（設定）	88
4.5 局番の設定	88
4.6 通信速度の設定	89
4.7 マスタ局との交信	90
4.7.1 各動作モードと PLC アドレスの対応	90
4.7.2 リモート I / O モード（リモートデバイス局：占有局数 1 局）	94
4.7.3 ポジション／簡易直値モード（リモートデバイス局：占有局数 1 局）	99
4.7.4 ハーフ直値モード（リモートデバイス局：占有局数 2 局）	104

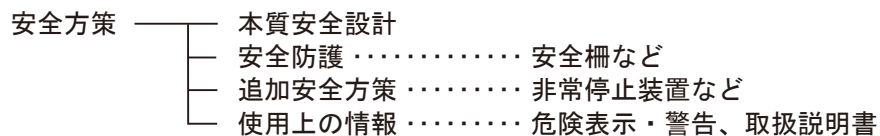
4.7.5	フル直値モード（リモートデバイス局：占有局数 4 局）.....	111
4.7.6	リモート I /O モード 2（リモートデバイス局：占有局数 1 局）.....	122
4.7.7	ポジション／簡易直値モード 2（リモートデバイス局：占有局数 1 局）.....	125
4.7.8	ハーフ直値モード 2（リモートデバイス局：占有局数 2 局）.....	130
4.7.9	リモート I /O モード 3（リモートデバイス局：占有局数 1 局）.....	137
4.7.10	ハーフ直値モード 3（リモートデバイス局：占有局数 2 局）.....	141
4.7.11	入出力信号の制御と機能	148
4.8	入出力信号のタイミング.....	165
4.9	運転	166
4.10	CC-Link 関連パラメータ	174
4.11	トラブルシューティング.....	180
4.11.1	ステータス LED の表示	180
4.11.2	アラーム内容と原因・対策.....	180
5.	変更履歴	181

安全ガイド

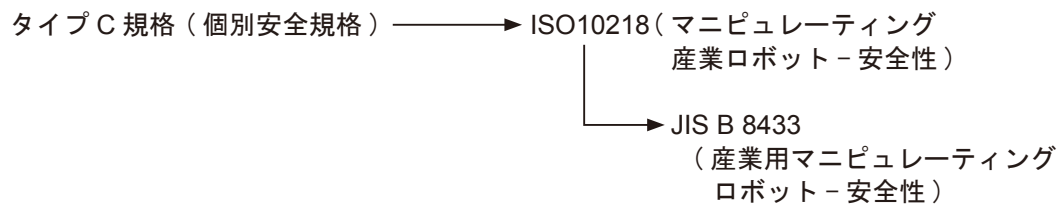
安全ガイドは、製品を正しくお使い頂き、危険や財産の損害を未然に防止するために書かれたものです。製品のお取扱い前に必ずお読みください。

産業用ロボットに関する法令および規格

機械装置の安全方策としては、国際工業規格 ISO/DIS12100「機械類の安全性」において、一般論として次の4つを規定しています。



これに基づいて国際規格 ISO/IEC で階層別に各種規格が構築されています。
産業用ロボットの安全規格は以下のとおりです。



また産業用ロボットの安全に関する国内法は、次のように定められています。

労働安全衛生法 第59条

危険または有害な業務に従事する労働者に対する特別教育の実施が義務付けられています。

労働安全衛生規則

第36条 特別教育を必要とする業務

— 第31号（教示等） 産業用ロボット（該当除外あり）の教示作業等について

— 第32号（検査等） 産業用ロボット（該当除外あり）の検査、修理、調整作業等について

第150条 産業用ロボットの使用者の取るべき措置

労働安全衛生規則の産業用ロボットに対する要求事項

作業エリア	作業状態	駆動源のしゃ断	措 置	規 定
可動範囲外	自動運転中	しない	運転開始の合図	104 条
			柵、囲いの設置等	150 条の 4
可動範囲内	教示等の 作業時	する (運転停止含む)	作業中である旨の表示等	150 条の 3
		しない	作業規定の作成	150 条の 3
			直ちに運転を停止できる措置	150 条の 3
			作業中である旨の表示等	150 条の 3
			特別教育の実施	36 条 31 号
			作業開始前の点検等	151 条
	検査等の 作業時	する	運転を停止して行う	150 条の 5
			作業中である旨の表示等	150 条の 5
		しない (やむをえず運転中 に行う場合)	作業規定の作成	150 条の 5
			直ちに運転停止できる措置	150 条の 5
			作業中である旨の表示等	150 条の 5
			特別教育の実施 (清掃・給油作業を除く)	36 条 32 号

当社の産業用ロボット該当機種

労働省告知第 51 号および労働省労働基準局長通達（基発第 340 号）により、以下の内容に該当するものは、産業用ロボットから除外されます。

- (1) 単軸ロボットでモータワット数が 80W 以下の製品
- (2) 多軸組合せロボットで X・Y・Z 軸が 300mm 以内、かつ回転部が存在する場合はその先端を含めた最大可動範囲が 300mm 立方以内の場合
- (3) 多関節ロボットで可動半径および Z 軸が 300mm 以内の製品

当社カタログ掲載製品のうち産業用ロボットの該当機種は以下のとおりです。

1. 単軸ロボシリンダ
RCS2/RCS2CR-SS8 □でストローク 300mm を超えるもの
2. 単軸ロボット
次の機種でストローク 300mm を超え、かつモータ容量 80W を超えるもの
ISA/ISB/ISPA/ISPB, SSPA, ISDA/ISDB/ISPDA/ISPDB, SSPDA, ISWA/ISPWA, IF, FS, NS
3. リニアサーボアクチュエータ
ストローク 300mm を超える全機種
4. 直交ロボット
1～3 項の機種のいずれかを 1 軸でも使用するもの
5. IX スカラロボット
アーム長 300mm を超える全機種
(IX-NNN1205/1505/1805/2515、NNW2515、NNC1205/1505/1805/2515 を除く全機種)

当社製品の安全に関する注意事項

ロボットのご使用にあたり、各作業内容における共通注意事項を示します。





No.	作業内容	注意事項
1	機種選定	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品は、高度な安全性を必要とする用途には企画、設計されていませんので、人命を保証できません。従って、次のような用途には使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ①人命および身体の維持、管理などに関わる医療機器 ②人の移動や搬送を目的とする機構、機械装置（車両・鉄道施設・航空施設など） ③機械装置の重要保安部品（安全装置など） ●次のような環境では使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ①可燃性ガス、発火物、引火物、爆発物などが存在する場所 ②放射能に被爆する恐れがある場所 ③周囲温度や相対湿度が仕様の範囲を超える場所 ④直射日光や大きな熱源からの輻射熱が加わる場所 ⑤温度変化が急激で結露するような場所 ⑥腐食性ガス（硫酸、塩酸など）がある場所 ⑦塵埃、塩分、鉄粉が多い場所 ⑧本体に直接振動や衝撃が伝わる場所 ●製品は仕様範囲外で使用しないでください。著しい寿命低下を招き、製品故障や設備停止の原因となります。
2	運搬	<ul style="list-style-type: none"> ●二人以上で作業を行う場合は、主と従の関係を明確にし、声を掛け合い、安全を確認しながら作業を行ってください。 ●運搬時はぶついたり落下したりせぬよう充分な配慮をしてください。 ●運搬は適切な運搬手段を用いて行ってください。 ●梱包の上には乗らないでください。 ●梱包が変形するような重い物は載せないでください。 ●能力が1t以上のクレーンを使用する場合は、クレーン操作、玉掛けの有資格者が作業を行ってください。 ●クレーンなどを使用する場合は、クレーンなどの定格荷重を超える荷物は絶対に吊らないでください。 ●荷物にふさわしい吊具を使用してください。吊具の切断荷重などに安全を見込んでください。また、吊具に損傷がないか確認してください。 ●吊った荷物に人は乗らないでください。 ●荷物を吊ったまま放置しないでください。 ●吊った荷物の下に入らないでください。
3	保管・保存	<ul style="list-style-type: none"> ●保管・保存環境は設置環境に準じますが、特に結露の発生がないように配慮してください。
4	据付け・立ち上げ	<p>(1) ロボット本体・コントローラ等の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ●製品（ワークを含む）は、必ず確実な保持、固定を行ってください。製品の転倒、落下、異常動作等によって破損およびけがをする恐れがあります。 ●製品の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。転倒事故、物の落下によるけがや製品破損、製品の機能喪失・性能低下・寿命低下などの原因となります。 ●次のような場所を使用する場合は、遮蔽対策を十分行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ①電氣的なノイズが発生する場所 ②強い電界や磁界が生じる場所 ③電源線や動力線が近傍を通る場所 ④水、油、薬品の飛沫がかかる場所

No.	作業内容	注意事項
4	据付け・立ち上げ	<p>(2) ケーブル配線</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アクチュエータ～コントローラ間のケーブルやティーチングツールなどのケーブルは当社の純正部品を使用してください。 ●ケーブルに傷をつけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、巻きつけたり、挟み込んだり、重いものを載せたりしないでください。漏電や導通不良による火災、感電、異常動作の原因になります。 ●製品の配線は、電源をオフして誤配線がないように行ってください。 ●直流電源（+24V）を配線する時は、+/- の極性に注意してください。接続を誤ると火災、製品故障、異常動作の恐れがあります。 ●ケーブルコネクタの接続は、抜け・ゆるみのないように確実に行ってください。火災、感電、製品の異常動作の原因になります。 ●製品のケーブルの長さを延長または短縮するために、ケーブルの切断再接続は行わないでください。火災、製品の異常動作の原因になります。 <p>(3) 接地</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コントローラは必ず D 種（旧第 3 種）接地工事をしてください。接地は、感電防止、静電気帯電の防止、耐ノイズ性能の向上および不要な電磁放射の抑制には必ず行わなければなりません。 <p>(4) 安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ●二人以上で作業を行う場合は、主と従の関係を明確にし、声を掛け合い、安全を確認しながら作業を行ってください。 ●製品の動作中または動作できる状態の時は、ロボットの可動範囲に立ち入ることができないような安全対策（安全防護柵など）を施してください。動作中のロボットに接触すると死亡または重傷を負うことがあります。 ●運転中の非常事態に対し、直ちに停止することができるよう非常停止回路を必ず設けてください。 ●電源投入だけで起動しないよう安全対策を施してください。製品が急に起動し、けがや製品破損の原因になる恐れがあります。 ●非常停止解除や停電後の復旧だけで起動しないよう、安全対策を施してください。人身事故、装置の破損などの原因となります。 ●据付・調整などの作業を行う場合は、「作業中、電源投入禁止」などの表示をしてください。不意の電源投入により感電やけがの恐れがあります。 ●停電時や非常停止時にワークなどが落下しないような対策を施してください。 ●必要に応じて保護手袋、保護めがね、安全靴を着用して安全を確保してください。 ●製品の開口部に指や物を入れないでください。けが、感電、製品破損、火災などの原因になります。 ●垂直に設置しているアクチュエータのブレーキを解除する時は、自重で落下して手を挟んだり、ワークなどを損傷しないようにしてください。
5	教示	<ul style="list-style-type: none"> ●二人以上で作業を行う場合は、主と従の関係を明確にし、声を掛け合い、安全を確認しながら作業を行ってください。 ●教示作業はできる限り安全防護柵外から行ってください。やむをえず安全防護柵内で作業する時は、「作業規定」を作成して作業への徹底を図ってください。 ●安全防護柵内で作業する時は、作業者は手元非常停止スイッチを携帯し、異常発生時にはいつでも動作停止できるようにしてください。 ●安全防護柵内で作業する時は、作業者以外に監視人をおいて、異常発生時にはいつでも動作停止できるようにしてください。また第三者が不用意にスイッチ類を操作することのないよう監視してください。 ●見やすい位置に「作業中」である旨の表示をしてください。 ●垂直に設置しているアクチュエータのブレーキを解除する時は、自重で落下して手を挟んだり、ワークなどを損傷しないようにしてください。 <p>※安全防護柵・・・安全防護柵がない場合は、可動範囲を示します。</p>

No.	作業内容	注意事項
6	確認運転	<ul style="list-style-type: none"> ●二人以上で作業を行う場合は、主と従の関係を明確にし、声を掛け合い、安全を確認しながら作業を行ってください。 ●教示およびプログラミング後は、1ステップずつ確認運転をしてから自動運転に移ってください。 ●安全防護柵内で確認運転をする時は、教示作業と同様にあらかじめ決められた作業手順で作業を行ってください。 ●プログラム動作確認は、必ずセーフティ速度で行ってください。プログラムミスなどによる予期せぬ動作で事故をまねく恐れがあります。 ●通電中に端子台や各種設定スイッチに触れないでください。感電や異常動作の恐れがあります。
7	自動運転	<ul style="list-style-type: none"> ●自動運転を開始する前には、安全防護柵内に人がいないことを確認してください。 ●自動運転を開始する前には、関連周辺機器がすべて自動運転に入ることのできる状態にあり、異常表示がないことを確認してください。 ●自動運転の開始操作は、必ず安全防護柵外から行うようにしてください。 ●製品に異常な発熱、発煙、異臭、異音が生じた場合は、直ちに停止して電源スイッチをオフしてください。火災や製品破損の恐れがあります。 ●停電した時は電源スイッチをオフしてください。停電復旧時に製品が突然動作し、けがや製品破損の原因になることがあります。
8	保守・点検	<ul style="list-style-type: none"> ●二人以上で作業を行う場合は、主と従の関係を明確にし、声を掛け合い、安全を確認しながら作業を行ってください。 ●作業はできる限り安全防護柵外から行ってください。やむをえず安全防護柵内で作業する時は、「作業規定」を作成して作業員への徹底を図ってください。 ●安全防護柵内で作業を行う場合は、原則として電源スイッチをオフしてください。 ●安全防護柵内で作業する時は、作業員は手元非常停止スイッチを携帯し、異常発生時にはいつでも動作停止できるようにしてください。 ●安全防護柵内で作業する時は、作業員以外に監視人をおいて、異常発生時にはいつでも動作停止できるようにしてください。また第三者が不用意にスイッチ類を操作することのないよう監視してください。 ●見やすい位置に「作業中」である旨の表示をしてください。 ●ガイド用およびボールネジ用グリースは、各機種の取扱説明書により適切なグリースを使用してください。 ●絶縁耐圧試験は行わないでください。製品の破損の原因になることがあります。 ●垂直に設置しているアクチュエータのブレーキを解除する時は、自重で落下して手を挟んだり、ワークなどを損傷しないようにしてください。 <p>※安全防護柵・・・安全防護柵がない場合は、可動範囲を示します。</p>
9	改造・分解	<ul style="list-style-type: none"> ●お客様の独自の判断に基づく改造、分解組立て、指定外の保守部品の使用は行わないでください。
10	廃棄	<ul style="list-style-type: none"> ●製品が使用不能、または不要になって廃棄する場合は、産業廃棄物として適切な廃棄処理をしてください。 ●製品の廃棄時は、火中に投じないでください。製品が破裂したり、有毒ガスが発生する恐れがあります。

注意表示について

各機種の取扱説明書には、安全事項を以下のように「危険」「警告」「注意」「お願い」にランク分けして表示しています。

レベル	危害・損害の程度	シンボル
危険	取扱いを誤ると、死亡または重傷に至る危険が差し迫って生じると想定される場合	 危険
警告	取扱いを誤ると、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合	 警告
注意	取扱いを誤ると、傷害または物的損害の可能性が想定される場合	 注意
お願い	傷害の可能性はないが、本製品を適切に使用するために守っていただきたい内容	 お願い

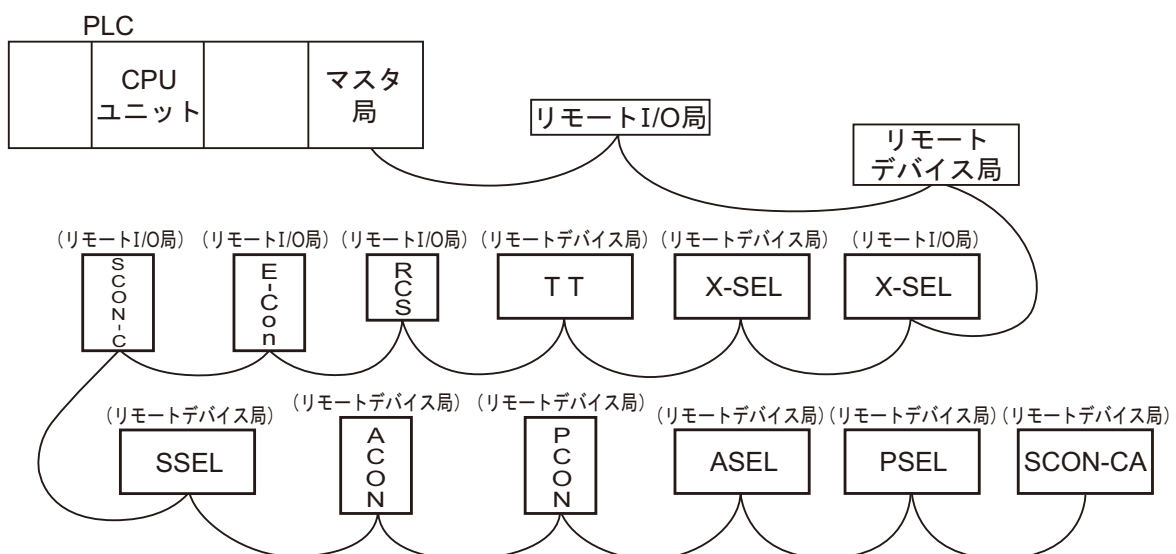
1. 概要

CC-Link は Control & Communication Link の略で、ネットワーク用のフィールドバスです。
X-SEL、TT、RCS-C、E-CON、ASEL、PSEL、SSEL、SCON-C、ACON、PCON および SCON-CA の各コントローラはこの CC-Link に接続することによって省配線でシステム構築が可能です。
CC-Link にはビットデータおよびワードデータの通信が可能なリモートデバイス局とビットデータ
だけしか通信できないリモート I/O 局の 2 種類があります。各コントローラとリモート種別は次の
通りです。

本取扱説明書は、ACON、PCON、SCON-CA について記載しています。

機種	種別	特徴
X-SEL-J/K/P/Q、 ASEL、PSEL、SSEL	リモートデバイス局	<ul style="list-style-type: none"> ● I/O データをビットデータまたはワードデータとして扱うことができます。入出力各々 256 点まで対応が可能です。 ● PIO による制御と同等に運転することができます。
X-SEL-K	リモート I/O 局	<ul style="list-style-type: none"> ● 入出力 16 点のリモート I/O モジュールです。
TT	リモートデバイス局	<ul style="list-style-type: none"> ● TT の I/O データをビットデータまたはワードデータとして扱うことができます。入出力各々 240 点まで対応が可能です。 ● PIO による制御と同等に運転することができます。
RCS-C	リモート I/O 局	<ul style="list-style-type: none"> ● PIO による制御と同等に運転することができます。
E-CON	リモート I/O 局	<ul style="list-style-type: none"> ● PIO による制御と同等に運転することができます。
SCON-C	リモート I/O 局	<ul style="list-style-type: none"> ● PIO による制御と同等に運転することができます。
ASEL、PSEL、SSEL	リモートデバイス局	<ul style="list-style-type: none"> ● PIO による制御と同等に運転することができます。
ACON、PCON、 SCON-CA	リモートデバイス局	<ul style="list-style-type: none"> ● PIO による運転と同等の処理の他、目標位置、速度および加減速度等を直接数値で指定して運転することも可能です。

システム構成例



※ CC-Link の詳細な説明はマスタユニットおよび搭載されるプログラマブルコントローラ（以下 PLC）の取扱説明書をご参照ください。

本取扱説明書は、各コントローラの取扱説明書と併せてご利用ください。

また、本取扱説明書で、可能と表現されている以外の使い方はできません。

2. インタフェース仕様

項 目	仕 様					
通信規格	CC-Link Ver1.10					
通信速度	10M/5M/2.5M/625k/156kbps					
通信方式	ブロードキャストポーリング方式					
同期方式	フレーム同期方式					
符号化方式	NRZI					
伝送路形式	バス形式 (EIA RS485 準拠)					
伝送フォーマット	HDLC 準拠					
誤り制御方式	CRC ($X^{16} + X^{12} + X^5 + 1$)					
占有局数	ACON、PCON、SCON-CA : リモートデバイス局 MAX4 局					
通信ケーブル長 (※ 1)	通信速度 (bps)	10M	5M	2.5M	625K	156K
	総ケーブル長 (m)	100	160	400	900	1200
コネクタ (※ 2)	フェニックスコンタクト社製 MSTBA2.5/5-G-5.08AU (ACON, PCON, SCON-CA)					

(※ 1) T分岐通信の場合はマスタユニットおよび搭載される PLC の取扱説明書をご参照ください。

(※ 2) ケーブル側コネクタは標準付属品です。

フェニックスコンタクト社製

SMSTB2.5/5-ST-5.08AU (ACON, PCON, SCON-CA)

3. ACON、PCON

3.1 動作モードと機能

CC-Link対応のACONおよびPCONは次の5つの動作モードから選択して運転することができます。

※マスタ局の局情報はver.1 リモートデバイス局に設定してください。

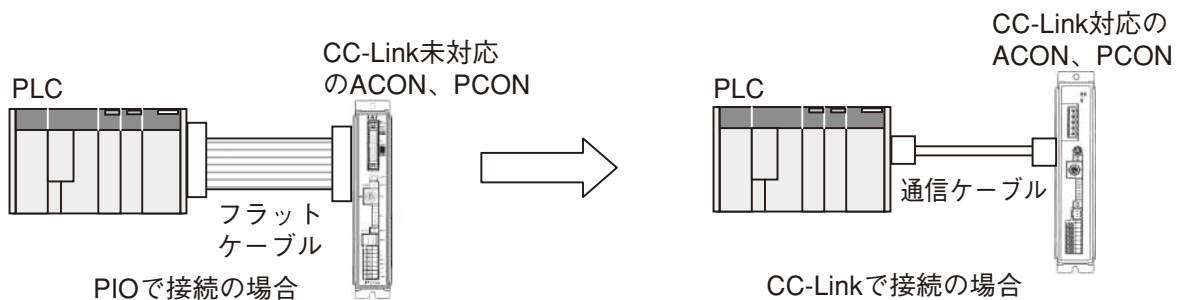
動作モードと主要機能

主要機能	リモート I/O モード	ポジション/ 簡易直値モード	ハーフ直値 モード	フル直値 モード	リモート I/O モード2
占有局数	1局	1局	2局	4局	1局
位置データ指定運転	×	○ (※1)	○	○	×
速度・加速度 直接指定	×	×	○	○	×
押付け動作	○	○	○	○	○
現在位置読取り	×	○	○	○	○
現在速度読取り	×	×	○	○	×
ポジションNo.指定運転	○	○	×	×	○
完了ポジションNo.読取り	○	○	×	×	○
接続可能軸数	64	64	—	—	64
最大ポジション テーブル数	512	768	使用しない	使用しない	512

(※1) 位置データ以外のポジションデータはポジションNo.を指定して運転を行います。

①リモート I/Oモード： PIO（24V入出力）による運転をCC-Linkによって行う方式です。

占有局数：1局

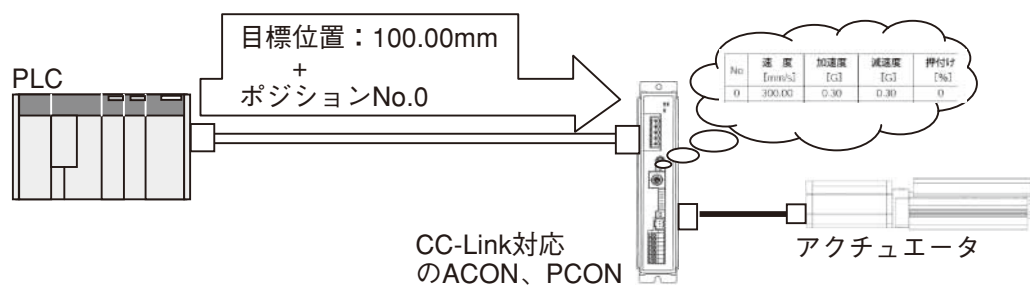


②ポジション／簡易直値モード：ポジションNo.を指定して運転する方式です。

制御信号の切換えで目標位置を直接数値で指定するか、ポジションデータに登録した値を使用するか選択できます。

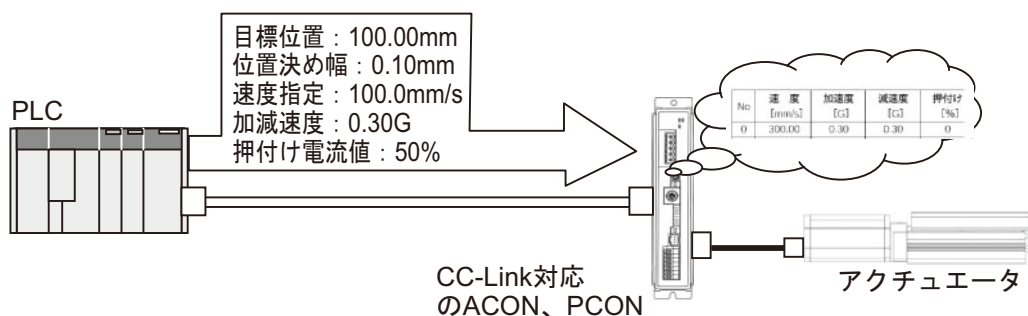
速度、加減速度、位置決め幅等はあらかじめ登録したポジションデータの値を使用します。設定可能なポジションデータの数は最大768点です。

占有局数：1局



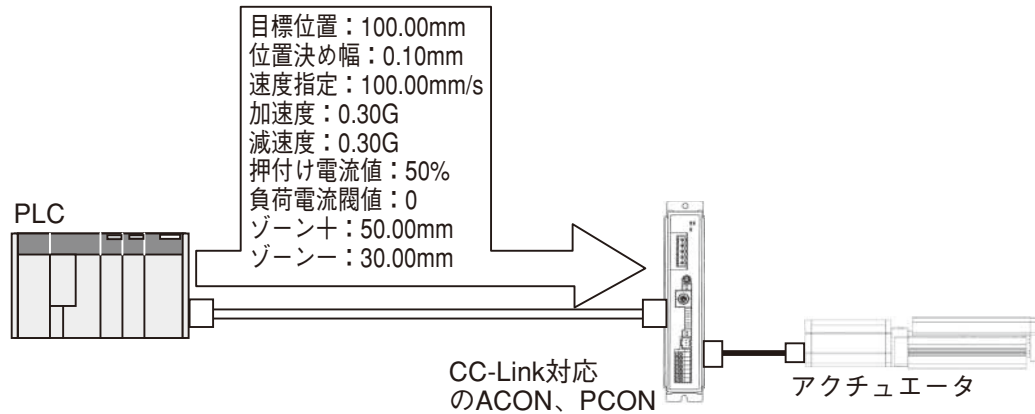
③ハーフ直値モード：目標位置以外に速度、加減速度、押付電流値を直接数値で指定する運転方式です。

占有局数：2局



- ④フル直値モード：位置制御に関する全ての値（目標位置、速度、加減速度等）を直接数値で指定する運転方式です。

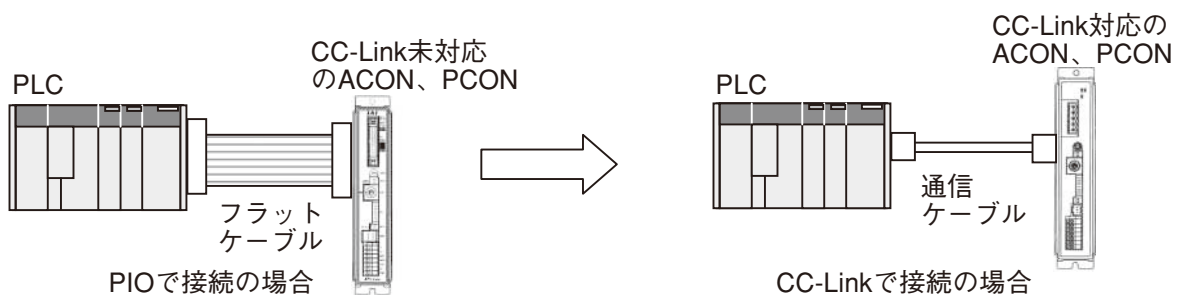
占有局数：4局



- ⑤リモート I/Oモード2：PIO（24V入出力）による運転をCC-Linkによって行う方式です。

①の機能に現在位置と指令電流値読取り機能を追加したものです。

占有局数：1局

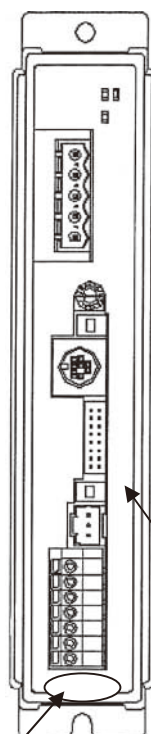


3.2 型式

CC-Link対応のACONおよびPCONの型式は各々以下のように表されています。

●ACON-C/CG-□-CC-□

●PCON-C/CG-□-CC-□



シリーズ名の印字

●ACON

●PCON

前面パネルの色

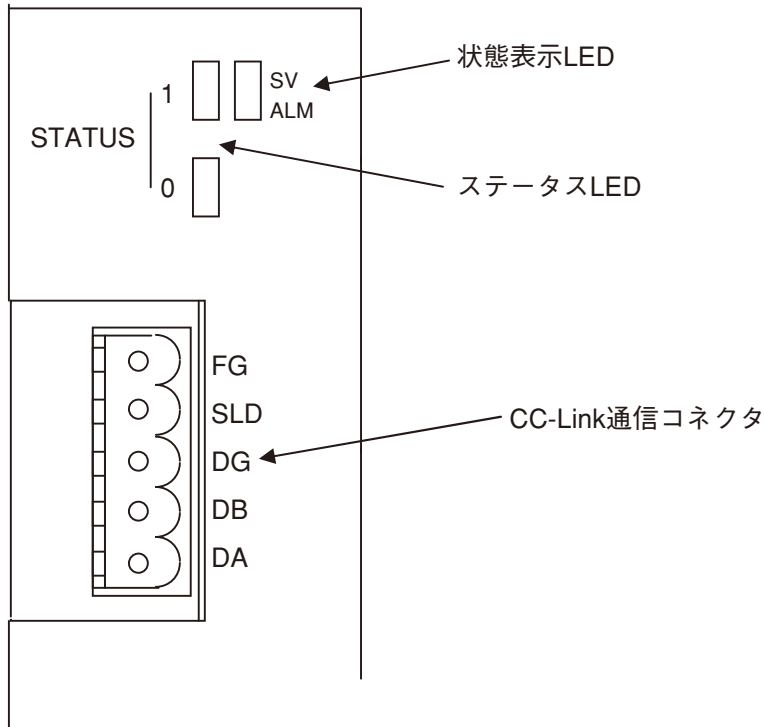
●ACON：ダークブルー

●PCON：ダークグリーン

3.3 CC-Link インタフェース

(1) 各部の名称

CC-Linkに関連する各部の名称を示します。



(2) ステータスLEDの表示

コントローラ前面に設けられた2つのLEDによってボードの動作状態やネットワークの状態を知ることができます。

LED	色	表示状態	表示内容（表示の意味）
STATUS 1	橙	点灯	<ul style="list-style-type: none"> エラー発生 （CRCエラー、局番設定（パラメータ）エラー、ボーレート設定（パラメータ）エラー） 電源投入またはソフトウェアリセットからCC-Link初期化終了までの間
		消灯	・正常通信中
		点滅	・通信中に局番設定または通信速度設定が変化した
STATUS 0	緑	点灯	・通信中
		消灯	・通信していない場合

3.4 動作モードの選択（設定）

動作モードはパラメータで設定します。

コントローラ前面のモード切替SWをMANU側にし、RC用パソコン対応ソフト（V6.00.05.00以降）でパラメータNo.84 “FMOD：フィールドバス動作モード” を設定してください。（3.10 CC-Link 関連パラメータ参照）

設定値	動作モード	占有局数
0（出荷時設定）	リモート I/Oモード	1局
1	ポジション／簡易直値モード	1局
2	ハーフ直値モード	2局
3	フル直値モード	4局
4	リモート I/Oモード2	1局

※これ以外の値を入力すると入力値過大エラーとなります。

（注）マスタ局の局情報はver.1リモートデバイス局に設定してください。

3.5 局番の設定

局番はパラメータで設定します。

RC用パソコン対応ソフトでパラメータNo.85 “NADR：フィールドバスノードアドレス” を設定してください。

（3.10 CC-Link 関連パラメータ参照）

設定可能範囲：1～64（出荷時は1に設定されています。）

（注）PLCのCC-Link先頭入出力アドレスは、マスタユニットの装着位置とその前に装着されているユニットの入出力占有点数により決まります。

この先頭入出力アドレスに続けて局番号順にPLC内の入出力アドレスが割り付けられます。

なお、局番設定とPLC内の入出力アドレス設定の詳細はマスタユニットおよび搭載されるPLCの取扱説明書をご参照ください。

3.6 通信速度の設定

通信速度はパラメータで設定します。

RC用パソコン対応ソフトでパラメータNo.86 “FBRs：フィールドバス通信速度” を設定してください。

(3.10 CC-Link 関連パラメータ参照)

設定値	通信速度
0 (出荷時設定)	156kbps
1	625kbps
2	2.5Mbps
3	5Mbps
4	10Mbps

※これ以外の値を入力すると入力値過大エラーとなります。

(注) パラメータの設定後はコントローラの電源再投入を行い、コントローラ前面のモード切替SWをAUTO側に戻してください。

MANU側のままの場合PLCによる運転はできません。

3.7 マスタ局との交信

リモートデバイス局は、1局あたりリモート I/O 点数各2ワードとリモート入出力データレジスタ各4ワードで構成されています。

マスタ局の局情報には動作モードで定められた局数を局No.毎に設定してください。

3.7.1 各動作モードと PLC アドレスの対応

各動作モードのアドレス割付を次に示します。

・PLC出力→ACONまたはPCONの入力（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

PLCアドレス	ACONまたはPCONのDIおよび入力データレジスタ					
	リモートI/Oモード 占有局数：1局	簡易直値モード 占有局数：1局	ハーフ直値モード 占有局数：2局	フル直値モード 占有局数：4局	リモートI/Oモード2 占有局数：1局	
RY n0～nF	ポート番号0～15	占有領域	占有領域	占有領域	ポート番号0～15	
RY (n+1) 0～(n+1) F	システム領域	システム領域			システム領域	システム領域
RY (n+2) 0～(n+2) F						
RY (n+3) 0～(n+3) F						
RY (n+4) 0～(n+4) F						
RY (n+5) 0～(n+5) F						
RY (n+6) 0～(n+6) F						
RY (n+7) 0～(n+7) F						
RWw (n+0)	占有領域	目標位置	目標位置	目標位置	占有領域	
RWw (n+1)		指定ポジションNo. 制御信号	位置決め幅	位置決め幅		
RWw (n+2)						
RWw (n+3)						
RWw (n+4)			速度	速度		
RWw (n+5)			加減速度	ゾーン境界値+		
RWw (n+6)			押付け電流制限値			
RWw (n+7)			制御信号	ゾーン境界値－		
RWw (n+8)						
RWw (n+9)						
Rww (n+A)			加速度			
RWw (n+B)			減速度			
RWw (n+C)			押付け電流制限値			
RWw (n+D)			ACON 占有領域			
			PCON 負荷電流閾値			
Rww (n+E)			制御信号1			
RWw (n+F)	制御信号2					

(注) 占有領域 はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

・ACONまたはPCON出力→PLC入力側（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

PLC側アドレス	ACONまたはPCON側DOおよび出力データレジスタ					
	リモートI/Oモード 占有局数：1局	簡易直値モード 占有局数：1局	ハーフ直値モード 占有局数：2局	フル直値モード 占有局数：4局	リモートI/Oモード2 占有局数：1局	
RX n0～nF	ポート番号0～15	占有領域	占有領域	占有領域	ポート番号0～15	
RX (n+1) 0～ (n+1) F	システム領域	システム領域			システム領域	
RX (n+2) 0～ (n+2) F						
RX (n+3) 0～ (n+3) F						
RX (n+4) 0～ (n+4) F						
RX (n+5) 0～ (n+5) F						
RX (n+6) 0～ (n+6) F						
RX (n+7) 0～ (n+7) F						
RWr (n+0)	占有領域	現在位置	現在位置	現在位置	現在位置	
RWr (n+1)		完了ポジション No. (簡易アラーム ID)	指令電流	指令電流	指令電流	
RWr (n+2)						状態信号
RWr (n+3)						
RWr (n+4)			現在速度	現在速度		
RWr (n+5)			アラームコード	アラームコード		
RWr (n+6)						
RWr (n+7)			状態信号	占有領域		
RWr (n+8)						
RWr (n+9)						
Rwr (n+A)						
RWr (n+B)						
RWr (n+C)						
RWr (n+D)						
Rwr (n+E)						
RWr (n+F)			状態信号			

(注) **占有領域** はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

3.7.2 リモート I/O モード（リモートデバイス局：占有局数 1 局）

PIO（24V入出力）を使用した場合と同様にポジションNo.を指定して運転するモードです。
RC用パソコン対応ソフトまたはティーチングボックスからポジションデータを設定してください。
運転可能なポジション数は、パラメータNo.25 “PIOパターン” の設定によります。
以下に各PIOパターンの I/O仕様を示します。（詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照）

パラメータNo.25の設定値	動作モード	I/O仕様
0	位置決めモード	位置決め点数64点、ゾーン出力2点
1	教示モード	位置決め点数64点、ゾーン出力1点 位置決めおよびジョグ運転が可能 現在位置を指定ポジションに書込み可能
2	256点モード	位置決め点数256点、ゾーン出力1点
3	512点モード	位置決め点数512点、ゾーン出力無し
4	電磁弁モード1	位置決め点数7点、ゾーン出力2点 ポジションNo.毎の直接運転指令が可能 位置決め完了信号はポジションNo.毎に出力
5	電磁弁モード2	位置決め点数3点、ゾーン出力2点 前進／後退／中間位置指令により運転 位置決め完了信号は前進端／後退端／ 中間位置の個別出力

本モードで制御可能なロボシリンダの有効な主要機能は次の表の通りです。

ロボシリンダ の機能	PIOパターン					
	0： 位置決め モード	1： 教示 モード	2： 256点 モード	3： 512点 モード	4： 電磁弁 モード1	5： 電磁弁 モード2
原点復帰動作	○	○	○	○	○	×
位置決め動作	○	○	○	○	○	○
速度・加減速度設定	○	○	○	○	○	○
ピッチ送り（インチング）	○	○	○	○	○	○
押付け動作	○	○	○	○	○	×
移動中の速度変更	○	○	○	○	○	○
異なった加速度、 減速度での動作	○	○	○	○	○	○
一時停止	○	○	○	○	○	○（※1）
ゾーン信号出力	○	○	○	×	○	○
PIOパターン選択 （パラメータで設定）	○	○	○	○	○	○

○：動作可、×：動作不可

（※1）パラメータNo.27 “移動指令種別” を0に設定した場合に可能です。

移動指令を OFF にすることによって一時停止が可能です。

(1) PLCアドレス構成（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

パラメータ No.84	ACONまたはPCON側 DI（ポート番号）	PLC側	ACONまたはPCON側 DO（ポート番号）	PLC側
0	0～15	RY n0～nF	0～15	RX n0～nF
	システム領域	RY (n+1) 0～(n+1) F	システム領域	RX (n+1) 0～(n+1) F
	占有領域	RWw (n+0)	占有領域	RWr (n+0)
		RWw (n+1)		RWr (n+1)
		RWw (n+2)		RWr (n+2)
		RWw (n+3)		RWr (n+3)

(注) **占有領域** はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力ビットレジスタ各1ワードで構成されます。

●入出力ビットレジスタはビット単位のON/OFF信号で制御します。

PLC出力（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

アドレス	1ワード=16ビット															
RY (n+0)	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 入力ポート 番号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

PLC入力（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

アドレス	1ワード=16ビット															
RX (n+0)	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 出力ポート 番号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

(3) 入出力信号割付

パラメータNo.25の設定によりコントローラの入出力ポートの信号内容が変わります。

(詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)

ACON

		パラメータNo.25の設定					
		位置決めモード		教示モード		256点モード	
		0		1		2	
区分	ポート番号	信号名称	記号	信号名称	記号	信号名称	記号
PLC出力→ ACON入力	0	指令ポジション No.	PC1	指令ポジション No.	PC1	指令ポジション No.	PC1
	1		PC2		PC2		PC2
	2		PC4		PC4		PC4
	3		PC8		PC8		PC8
	4		PC16		PC16		PC16
	5		PC32		PC32		PC32
	6	使用できません	—	教示モード指令	MODE	使用できません	PC64
	7		—	ジョグ/イン칭ング切替	JISL		PC128
	8		—	＋ジョグ	JOG＋		—
	9	ブレーキ強制解除	BKRL	－ジョグ	JOG－	ブレーキ強制解除	BKRL
	10	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD
	11	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME
	12	一時停止	*STP	一時停止	*STP	一時停止	*STP
	13	位置決めスタート	CSTR	位置決めスタート/ ポジションデータ 取込み指令	CSTR/ PWRT	位置決めスタート	CSTR
	14	リセット	RES	リセット	RES	リセット	RES
	15	サーボON指令	SON	サーボON指令	SON	サーボON指令	SON
ACON出力 →PLC入力	0	完了ポジション No.	PM1	完了ポジション No.	PM1	完了ポジション No.	PM1
	1		PM2		PM2		PM2
	2		PM4		PM4		PM4
	3		PM8		PM8		PM8
	4		PM16		PM16		PM16
	5		PM32		PM32		PM32
	6	移動中信号	MOVE	移動中信号	MOVE	移動中信号	PM64
	7	ゾーン1	ZONE1	教示モード信号	MODES		PM128
	8	ポジションゾーン	PZONE	ポジションゾーン	PZONE		PZONE
	9	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS
	10	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND
	11	位置決め完了信号	PEND	位置決め完了信号/ ポジションデータ 取込み完了	PEND/ WEND	位置決め完了信号	PEND
	12	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV
	13	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS
	14	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM
	15	使用できません	—	使用できません	—	使用できません	—

*は正常時ON信号です。

“使用できません”と表記されている信号は制御していません。(ON/OFFは不定です)

ACON

		パラメータNo.25の設定					
		512点モード		電磁弁モード1		電磁弁モード2	
		3		4		5	
区分	ポート番号	信号名称	記号	信号名称	記号	信号名称	記号
PLC出力→ ACON入力	0	指令ポジション No.	PC1	スタートポジション0	ST0	スタートポジション0	ST0
	1		PC2	スタートポジション1	ST1	スタートポジション1	ST1
	2		PC4	スタートポジション2	ST2	スタートポジション2	ST2
	3		PC8	スタートポジション3	ST3	使用できません	—
	4		PC16	スタートポジション4	ST4		—
	5		PC32	スタートポジション5	ST5		—
	6		PC64	スタートポジション6	ST6		—
	7		PC128	使用できません	—		—
	8		PC256		—		—
	9	ブレーキ強制解除	BKRL	ブレーキ強制解除	BKRL	ブレーキ強制解除	BKRL
	10	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD
	11	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME	使用できません	—
	12	一時停止	*STP	一時停止	*STP		—
	13	位置決めスタート	CSTR	使用できません	—		—
	14	リセット	RES	リセット	RES	リセット	RES
	15	サーボON指令	SON	サーボON指令	SON	サーボON指令	SON
ACON出力 →PLC入力	0	完了ポジション No.	PM1	ポジション完了0	PE0	後退端移動指令0	LS0
	1		PM2	ポジション完了1	PE1	後退端移動指令1	LS1
	2		PM4	ポジション完了2	PE2	後退端移動指令2	LS2
	3		PM8	ポジション完了3	PE3	使用できません	—
	4		PM16	ポジション完了4	PE4		—
	5		PM32	ポジション完了5	PE5		—
	6		PM64	ポジション完了6	PE6		—
	7		PM128	ゾーン1	ZONE1	ゾーン1	ZONE1
	8		PM256	ポジションゾーン	PZONE	ポジションゾーン	PZONE
	9	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS
	10	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND
	11	位置決め完了信号	PEND	位置決め完了信号	PEND	使用できません	—
	12	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV
	13	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS
	14	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM
	15	使用できません	—	使用できません	—	使用できません	—

*は正常時ON信号です。

“使用できません”と表記されている信号は制御していません。(ON/OFFは不定です)

PCON

		パラメータNo.25の設定					
		位置決めモード		教示モード		256点モード	
		0		1		2	
区分	ポート番号	信号名称	記号	信号名称	記号	信号名称	記号
PLC出力→ PCON入力	0	指令ポジション No.	PC1	指令ポジション No.	PC1	指令ポジション No.	PC1
	1		PC2		PC2		PC2
	2		PC4		PC4		PC4
	3		PC8		PC8		PC8
	4		PC16		PC16		PC16
	5		PC32		PC32		PC32
	6	使用できません	—	教示モード指令	MODE	使用できません	PC64
	7		—	ジョグ/インチング切替	JISL		PC128
	8		—	＋ジョグ	JOG＋		—
	9	ブレーキ強制解除	BKRL	－ジョグ	JOG－	ブレーキ強制解除	BKRL
	10	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD
	11	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME
	12	一時停止	*STP	一時停止	*STP	一時停止	*STP
	13	位置決めスタート	CSTR	位置決めスタート/ ポジションデータ 取込み指令	CSTR/ PWRT	位置決めスタート	CSTR
	14	リセット	RES	リセット	RES	リセット	RES
	15	サーボON指令	SON	サーボON指令	SON	サーボON指令	SON
PCON出力 →PLC入力	0	完了ポジション No.	PM1	完了ポジション No.	PM1	完了ポジション No.	PM1
	1		PM2		PM2		PM2
	2		PM4		PM4		PM4
	3		PM8		PM8		PM8
	4		PM16		PM16		PM16
	5		PM32		PM32		PM32
	6	移動中信号	MOVE	移動中信号	MOVE	移動中信号	PM64
	7	ゾーン1	ZONE1	教示モード信号	MODES		PM128
	8	ポジションゾーン	PZONE	ポジションゾーン	PZONE	ポジションゾーン	PZONE
	9	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS
	10	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND
	11	位置決め完了信号	PEND	位置決め完了信号/ ポジションデータ 取込み完了	PEND/ WEND	位置決め完了信号	PEND
	12	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV
	13	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS
	14	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM
	15	負荷出力判定/ トルクレベル	LOAD/ TRQS	使用できません	—	負荷出力判定/ トルクレベル	LOAD/ TRQS

*は正常時ON信号です。

“使用できません”と表記されている信号は制御していません。(ON/OFFは不定です)

PCON

		パラメータNo.25の設定					
		512点モード		電磁弁モード1		電磁弁モード2	
		3		4		5	
区分	ポート番号	信号名称	記号	信号名称	記号	信号名称	記号
PLC出力→ PCON入力	0	指令ポジション No.	PC1	スタートポジション0	ST0	スタートポジション0	ST0
	1		PC2	スタートポジション1	ST1	スタートポジション1	ST1
	2		PC4	スタートポジション2	ST2	スタートポジション2	ST2
	3		PC8	スタートポジション3	ST3	使用できません	—
	4		PC16	スタートポジション4	ST4		—
	5		PC32	スタートポジション5	ST5		—
	6		PC64	スタートポジション6	ST6		—
	7		PC128	使用できません	—		—
	8		PC256		—		—
	9	ブレーキ強制解除	BKRL	ブレーキ強制解除	BKRL	ブレーキ強制解除	BKRL
	10	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD
	11	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME	使用できません	—
	12	一時停止	*STP	一時停止	*STP		—
	13	位置決めスタート	CSTR	使用できません	—		—
	14	リセット	RES	リセット	RES	リセット	RES
	15	サーボON指令	SON	サーボON指令	SON	サーボON指令	SON
PCON出力 →PLC入力	0	完了ポジション No.	PM1	ポジション完了0	PE0	後退端移動指令0	LS0
	1		PM2	ポジション完了1	PE1	後退端移動指令1	LS1
	2		PM4	ポジション完了2	PE2	後退端移動指令2	LS2
	3		PM8	ポジション完了3	PE3	使用できません	—
	4		PM16	ポジション完了4	PE4		—
	5		PM32	ポジション完了5	PE5		—
	6		PM64	ポジション完了6	PE6		—
	7		PM128	ゾーン1	ZONE1	ゾーン1	ZONE1
	8		PM256	ポジションゾーン	PZONE	ポジションゾーン	PZONE
	9	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS
	10	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND
	11	位置決め完了信号	PEND	位置決め完了信号	PEND	使用できません	—
	12	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV
	13	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS
	14	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM
	15	負荷出力判定／トルクレベル	LOAD／TRQS	負荷出力判定／トルクレベル	LOAD／TRQS	使用できません	—

*は正常時ON信号です。

“使用できません”と表記されている信号は制御していません。(ON/OFFは不定です)

3.7.3 ポジション／簡易直値モード（リモートデバイス局：占有局数1局）

ポジションNo.を指定して運転する方式です。制御信号（PMOD信号）の切換えで目標位置を直接数値で指定するか、ポジションデータに登録した値を使用するか選択できます。

目標位置以外の速度、加減速度、位置決め幅等はコントローラ内のポジションテーブルの値が使用されます。コントローラ本体の取扱説明書を参照してポジションデータを設定してください。

設定可能なポジションデータの数最大768点です。

本モードで制御可能なロボシリンダの有効な主要機能は次の表の通りです。

ロボシリンダの機能	○：直接制御 △：間接制御 ×：無効	備考
原点復帰動作	○	
位置決め動作	○	
速度・加減速度設定	△	ポジションデータの 設定が必要です。
ピッチ送り（イン칭ング）	△	
押付け動作	△	
移動中の速度変更	△	
異なった加速度、 減速度での動作	△	
一時停止	○	
ゾーン信号出力	△	ゾーンの設定は パラメータに行います。
PIOパターン選択	×	

(1) PLCアドレス構成（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

パラメータ No.84	ACONまたはPCON側 入力レジスタ	PLC側	ACONまたはPCON側 出力レジスタ	PLC側
1	占有領域	RY n0～nF	占有領域	RX n0～nF
	システム領域	RY (n+1) 0～(n+1) F	システム領域	RX (n+1) 0～(n+1) F
	目標位置	RWw (n+0)	現在位置	RWr (n+0)
		RWw (n+1)		RWr (n+1)
	指定ポジション No.	RWw (n+2)	完了ポジション No. (簡易アラームコード)	RWr (n+2)
	制御信号	RWw (n+3)	状態信号	RWr (n+3)

(注) **占有領域** はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力データレジスタ各4ワードで構成されます。

- 制御信号および状態信号はビット単位の ON / OFF 信号です。
- 目標位置および現在位置は 2 ワード (32 ビット) のバイナリデータで、PLC では - 999999 ~ + 999999 (単位 : 0.01mm) の数値が扱えますが、位置データは当該アクチュエータの ソフトストロークの範囲内 (0 ~ 有効ストローク長) で設定してください。
- 指定ポジション No. および完了ポジション No. は 1 ワード (16 ビット) のバイナリデータで、PLC では 0 ~ 767 までの数値が扱えますが、パソコンソフトまたはティーチング BOX で あらかじめ運転条件を設定したポジション No. を指定してください。

PLC出力

アドレス (※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。)

		1ワード=16ビット															
RWw (n+0)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (下位ワード)																	

RWw (n+1)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (上位ワード)																	

目標位置が負数の場合は、2の補数で表されます。

		1ワード=16ビット															
RWw (n+2)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指定ポジション No.								PC512	PC256	PC128	PC64	PC32	PC16	PC8	PC4	PC2	PC1

RWw (n+3)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号		BKRL	RMOD			PMOD	MODE	PWRT	JOG+	JOG-	JVEL	JISL	SON	RES	STP	HOME	CSTR

PLC入力

アドレス（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

1ワード=16ビット

RWr (n+0)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																

RWr (n+1)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

現在位置が負数の場合は、2の補数で表されます。

RWr (n+2)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
完了ポジション No.	—	—	—	—	—	—	PM512	PM256	PM128	PM64	PM32	PM16	PM8	PM4	PM2	PM1

RWr (n+3)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号	EMGS	PWR	ZONE1	ZONE2	PZONE	Modes	WEND	RMDS	—	—	PSFL	SV	ALM	MOVE	HEND	PEND

(3) 入出力信号割付 (※表中のONの表記は該当のビットが“1”を表し、OFFは“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 出 力	目標位置	32ビット データ	—	32ビット符号付整数 目標位置を絶対座標上の位置で指定してください。 単位は0.01mmで指定可能範囲は、－999999～999999となります。 (例) +25.40mmなら2540と指定します。 パラメータのソフトリミットの内側 (0.2mm) を超えた値を入力するとソフトリミットの内側 (0.2mm) までの移動に制限されます。 ※16進数で入力する場合、負数は2の補数で入力してください。	3.9 (1)
	指定 ポジション No.	16ビット データ	PC1～ PC512	16ビット整数 運転にはパソコン対応ソフトまたはティーチングBOXであらかじめ運転条件を設定したポジションデータが必要です。 本レジスタでデータを入力したポジションNo. を指定してください。 指定可能範囲は0～767となります。 範囲外の値の指定、未設定のポジションNo. の指定はスタート信号をONした際にアラームとなります。	3.9 (1)
	制御信号	b15	BKRL	ブレーキ強制解除：ONでブレーキ解除	3.7.7 (18)
		b14	RMOD	運転モード：OFFでAUTOモード、ONでMANUモード	3.7.7 (19)
		b13	—	使用できません	—
		b12			
		b11	PMOD	ポジション／簡易直値切替： OFFでポジションモード、ONで簡易直値モード	3.7.7 (20)
		b10	MODE	教示モード指令： OFFで通常モード、ONで教示モード	3.7.7 (16)
		b9	PWRT	ポジションデータ取り込み指令： ONでポジションデータ取込み	3.7.7 (17)
		b8	JOG+	＋ジョグ：ONで反原点方向移動	3.7.7 (13)
		b7	JOG－	－ジョグ：ONで原点方向移動	3.7.7 (13)
		b6	JVEL	ジョグ速度／イン칭ング距離切替え： OFFでパラメータNo.26 “ジョグ速度”、パラメータNo.48 “イン칭ング距離” ONでパラメータNo.47 “ジョグ速度2”、パラメータNo.49 “イン칭ング距離2” の設定値を使用する。	3.7.7 (14)
		b5	JISL	ジョグ／イン칭ング切替え： OFFでジョグ動作、ONでイン칭ング動作	3.7.7 (15)
		b4	SON	サーボON指令：ONでサーボON	3.7.7 (5)
		b3	RES	リセット：ONでリセット実行	3.7.7 (4)
		b2	STP	一時停止：ONで一時停止指令	3.7.7 (11)
		b1	HOME	原点復帰：ONで原点復帰指令	3.7.7 (6)
		b0	CSTR	位置決めスタート：ONで移動指令	3.7.7 (7)

(※表中のONの表記は該当のビットが“1”を表し、OFFは“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
PLC入力	現在位置	32ビット	—	現在位置32ビット符号付整数 単位は0.01mmです。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023（10進数） =10.23mm ※16進数で読取る場合、負数は2の補数表示となります。	3.9（1）
	完了 ポジション No. (簡易アラーム コード)	16ビット	PM1～ PM512	16ビット整数 目標位置まで移動し、位置決め幅内に入る位置決め完了したポジション No. が出力されます。 一度もポジション移動を行ってない場合及び移動中は“0”が出力されます。 アラームが発生した場合（状態信号のALMがONの場合）には簡易アラームコード（コントローラ本体の取扱説明書参照）が出力されます。	3.9（1）
	状態記号	b15	EMGS	非常停止：ONで非常停止状態	3.7.7（2）
		b14	PWR	コントローラ準備完了：準備完了でON	3.7.7（1）
		b13	ZONE2	ゾーン2：現在位置がゾーン設定内にあるときON	3.7.7（12）
		b12	ZONE1	ゾーン1：現在位置がゾーン設定内にあるときON	3.7.7（12）
		b11	PZONE	ポジションゾーン： 現在位置がポジションゾーン設定内にあるときON	3.7.7（12）
		b10	MODES	教示モード信号：教示モード選択中でON	3.7.7（16）
		b9	WEND	ポジションデータ取込み完了：取込み完了でON	3.7.7（17）
		b8	RMDS	運転モード状態： 現在の状態がAUTOモードでOFF、MANUモードでON	3.7.7（19）
		b7	—	使用できません	—
		b6			
		b5	PSFL	押付け空振り：押付け動作空振りでON	3.7.7（23）
		b4	SV	運転準備完了：サーボONでON	3.7.7（5）
		b3	ALM	アラーム：アラーム発生でON	3.7.7（3）
		b2	MOVE	移動中信号：アクチュエータ移動中でON	3.7.7（9）
		b1	HEND	原点復帰完了：原点復帰完了でON	3.7.7（6）
		b0	PEND	位置決め完了信号：位置決め完了でON	3.7.7（10）

3.7.4 ハーフ直値モード（リモートデバイス局：占有局数2局）

PLCから目標位置、位置決め幅、速度、加減速度、押付電流値を直接数値で指定する運転方式です。入出力データレジスタに各値を設定してください。ゾーン機能を使用する場合にはパラメータNo.1,2,23,24に設定してください。

本モードで制御可能なロボシリンダの有効な主要機能は次の表の通りです。

ロボシリンダの機能	○：直接制御 △：間接制御 ×：無効	備考
原点復帰動作	○	
位置決め動作	○	
速度・加減速度設定	○	
ピッチ送り（イン칭ング）	○	
押付け動作	○	
移動中の速度変更	○	
異なった加速度、減速度での動作	×	
一時停止	○	
ゾーン信号出力	△	パラメータに設定が必要です。
PIOパターン選択	×	

(1) PLCアドレス構成（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

パラメータ No.84	ACONまたはPCON側 入力レジスタ	PLC側	ACONまたはPCON側 出力レジスタ	PLC側
2	占有領域	RY n0～nF	占有領域	RX n0～nF
		RY (n+1) 0～(n+1) F		RX (n+1) 0～(n+1) F
		RY (n+2) 0～(n+2) F		RX (n+2) 0～(n+2) F
	システム領域	RY (n+3) 0～(n+3) F	システム領域	RX (n+3) 0～(n+3) F
	目標位置	RWw (n+0)	現在位置	RWr (n+0)
		RWw (n+1)		RWr (n+1)
	位置決め幅	RWw (n+2)	指令電流	RWr (n+2)
		RWw (n+3)		RWr (n+3)
	速度	RWw (n+4)	現在速度	RWr (n+4)
	加減速度	RWw (n+5)		RWr (n+5)
	押付け電流制限値	RWw (n+6)	アラームコード	RWr (n+6)
	制御信号	RWw (n+7)	状態信号	RWr (n+7)

(注) **占有領域** はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

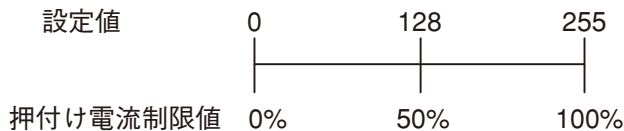
システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力データレジスタ各8ワードで構成されます。

- 制御信号および状態信号はビット単位のON/OFF信号です。
- 目標位置および現在位置は2ワード（32ビット）のバイナリデータで、PLCでは－999999～＋999999（単位：0.01mm）の数値が扱えますが、位置データは当該アクチュエータのソフトストロークの範囲内（0～有効ストローク長）で設定してください。
- 位置決め幅を設定してください。位置決め幅は2ワード（32ビット）のバイナリデータで、PLCでは1～＋999999（単位：0.01mm）の数値が扱えます。
- 指定速度は1ワード（16ビット）のバイナリデータで、PLCでは0～＋65535（単位：1.0mm/sec）の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大速度を超えない値に設定してください。
- 加減速度は1ワード（16ビット）のバイナリデータで、PLCでは1～300（単位：0.01G）の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大加速度および最大減速度を超えない値に設定してください。
- 押付け電流制限値は1ワード（16ビット）のバイナリデータで、PLCでは0（0%）～255（100%）の数値が扱えますが、当該アクチュエータの押付け電流制限値の指定可能範囲内（アクチュエータのカタログまたは取扱説明書参照）で設定してください。



- 指令電流は2ワード（32ビット）のバイナリデータ（単位：1mA）です。
- 現在速度は2ワード（32ビット）のバイナリデータ（単位：0.01mm/sec）です。
- アラームコードは1ワード（16ビット）のバイナリデータです。

PLC出力

アドレス（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

		1ワード=16ビット															
RWw (n+0)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (下位ワード)																	
RWw (n+1)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (上位ワード)																	
目標位置が負数の場合は、2の補数で表されます。																	
RWw (n+2)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (下位ワード)		32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
RWw (n+3)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (上位ワード)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	524,288	262,144	131,072	65,536
RWw (n+4)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
速度		32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
RWw (n+5)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
加減速度		—	—	—	—	—	—	—	256	128	64	32	16	8	4	2	1
RWw (n+6)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
押付け電流 制限値		—	—	—	—	—	—	—	—	128	64	32	16	8	4	2	1
RWw (n+7)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号		BKRL	RMOD	DIR	PUSH	—	—	—	JOG+	JOG—	JVEL	JISL	SON	RES	STP	HOME	DSTR

PLC入力

アドレス（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

	1ワード=16ビット															
RWr (n+0)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																

RWr (n+1)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

現在位置が負数の場合は、2の補数で表されます。

RWr (n+2)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1

RWr (n+3)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (上位ワード)													524,288	262,144	131,072	65,536

RWr (n+4)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (下位ワード)																

RWr (n+5)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (上位ワード)																

現在速度が負数の場合は、2の補数で表されます。

RWr (n+6)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
アラーム コード																

RWr (n+7)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号	EMGS	PWR	ZONE2	ZONE1				RMDS			PSFL	SV	ALM	MOVE	HEND	PEND

(3) 入出力信号割付 (※表中のONの表記は該当のビットが“1”を表し、OFFは“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 出 力	目標位置	32ビット データ	—	32ビット符号付整数 目標位置を絶対座標上の位置で指定してください。 単位は0.01mmで指定可能範囲は、－999999 ～999999となります。 (例)＋25.41mmなら2541と指定します。 パラメータのソフトリミットの内側（0.2mm） を超えた値を入力するとソフトリミットの内 側（0.2mm）までの移動に制限されます。 ※16進数で入力する場合、負数は2の補数で 入力してください。	3.9（2）
	位置決め幅	32ビット データ	—	32ビット整数 単位は0.01mmで指定可能範囲は1～999999 です。 (例) 25.40mmなら2540と指定します。 本レジスタは動作種別により2種類の意味が あります。 ①位置決め動作の場合、目標位置からどの程 度の範囲で位置決め完了とみなすかの許容 範囲となります。 ②押付け動作時は押付け幅の値となります。 通常動作か押付け動作かの指定は、制御信 号のPUSHで設定してください。	3.9（2）
	速度	16ビット データ	—	16ビット整数 移動時の速度を指定してください。 単位は1.0mm/secで指定可能範囲は、0～ 65535となります。 (例) 254.0mm/secなら254と指定します。 最大速度以上の値で移動指令を行うとアラーム となります。	3.9（2）
	加減速度	16ビット データ	—	16ビット整数 移動時の加減速度を指定してください。（加 速度と減速度は同じ値となります。） 単位は0.01Gで指定可能範囲は1～300です。 (例) 0.30Gなら30と指定します。 0または最大加速度、最大減速度を超えた値 で移動指令を行うとアラームとなります。	3.9（2）

(※表中のONの表記は該当のビットが“1”を表し、OFFは“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 出力	押付け電流制限値	16ビットデータ	—	16ビット整数 押付け動作時電流制限を指定してください。 指定可能範囲は0（0%）～255（100%）です。 各アクチュエータにより実際の指定可能範囲は異なります。（各アクチュエータのカタログまたは取扱説明書をご参照ください。） 最大押付け電流値以上の値で移動指令を行うとアラームとなります。	3.9（2）
	制御信号	b15	BKRL	ブレーキ強制解除：ONでブレーキ解除	3.7.7（18）
		b14	RMOD	運転モード：OFFでAUTOモード、ONでMANUモード	3.7.7（19）
		b13	DIR	押付け方向指定： OFFで目標位置から位置決め幅を減算した位置方向 ONで目標位置に位置決め幅を加算した位置方向	3.7.7（22）
		b12	PUSH	押付け指定：OFFで位置決め動作、ONで押付け動作	3.7.7（21）
		b11	—	使用できません	—
		b10			
		b9			
		b8	JOG＋	＋ジョグ：ONで反原点方向移動	3.7.7（13）
		b7	JOG－	－ジョグ：ONで原点方向移動	3.7.7（13）
		b6	JVEL	ジョグ速度／イン칭ング距離切替え： OFF でパラメータNo.26 “ジョグ速度”、パラメータNo.48 “イン칭ング距離” ONでパラメータNo.47 “ジョグ速度2”、パラメータNo.49 “イン칭ング距離2” の設定値を使用する。	3.7.7（14）
		b5	JISL	ジョグ／イン칭ング切替え： OFF でジョグ動作、ONでイン칭ング動作	3.7.7（15）
		b4	SON	サーボON指令：ONでサーボON	3.7.7（5）
		b3	RES	リセット：ONでリセット実行	3.7.7（4）
		b2	STP	一時停止：ONで一時停止指令	3.7.7（11）
		b1	HOME	原点復帰：ONで原点復帰指令	3.7.7（6）
		b0	DSTR	位置決め指令：ONで移動指令	3.7.7（8）

(※表中のONの表記は該当のビットが“1”を表し、OFFは“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 入 力	現在位置	32ビット データ	—	32ビット符号付整数 単位は0.01mmです。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023 (10進数) =10.23mm ※16進数で読取る場合、負数は2の補数表示 となります。	3.9 (2)
	指令電流	32ビット データ	—	32ビット整数 現在指令している電流値を示します。 単位はmAです。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023 (10進数) =1023mA	3.9 (2)
	現在速度	32ビット データ	—	32ビット符号付整数 現在速度を示します。 正数：反原点方向へ移動中 負数：原点方向へ移動中 単位は0.01mm/secです。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023 (10進数) =10.23mm/sec ※16進数で読取る場合、負数は2の補数表示 となります。	3.9 (2)
	アラーム コード	16ビット データ	—	16ビット整数 アラームが発生した場合にはアラームコード が出力されます。 アラームが発生していない場合は0 _H です。 アラームの詳細内容はコントローラの取扱説 明書をご参照してください。	3.9 (2)
	状態信号	b15	EMGS	非常停止：ONで非常停止状態	3.7.7 (2)
		b14	PWR	コントローラ準備完了：準備完了でON	3.7.7 (1)
		b13	ZONE2	ゾーン2：現在位置がゾーン設定内にあるときON	3.7.7 (12)
		b12	ZONE1	ゾーン1：現在位置がゾーン設定内にあるときON	3.7.7 (12)
		b11	—	使用できません	—
		b10			
		b9			
		b8	RMDS	運転モード状態：現在の状態がAUTOモードで OFF、MANUモードでON	3.7.7 (19)
		b7	—	使用できません	—
		b6			
		b5	PSFL	押付け空振り：押付け動作空振りでON	3.7.7 (23)
		b4	SV	運転準備完了：サーボONでON	3.7.7 (5)
		b3	ALM	アラーム：アラーム発生でON	3.7.7 (3)
		b2	MOVE	移動中信号：アクチュエータ移動中でON	3.7.7 (9)
		b1	HEND	原点復帰完了：原点復帰完了でON	3.7.7 (6)
b0	PEND	位置決め完了信号：位置決め完了でON	3.7.7 (10)		

3.7.5 フル直値モード（リモートデバイス局：占有局数4局）

PLCから位置制御に関する全ての値（目標位置、速度等）を直接数値で指定する運転方式です。

入出力データレジスタに各値を設定してください。

本モードで制御可能なロボシリンダの有効な主要機能は次の表の通りです。

ロボシリンダの機能	○：直接制御 ×：無効
原点復帰動作	○
位置決め動作	○
速度・加減速度設定	○
ピッチ送り（インチング）	○
押付け動作	○
移動中の速度変更	○
異なった加速度、減速度での動作	○
一時停止	○
ゾーン信号出力	○
PIOパターン選択	×

(1) PLCアドレス構成（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

パラメータ No.84	ACONまたはPCON入力側 レジスタ		PLC側	ACONまたはPCON出力側 レジスタ		PLC側	
3	占有領域		RY n0～nF	占有領域		RX n0～nF	
			RY (n+1) 0～ (n+1) F			RX (n+1) 0～ (n+1) F	
			RY (n+2) 0～ (n+2) F			RX (n+2) 0～ (n+2) F	
			RY (n+3) 0～ (n+3) F			RX (n+3) 0～ (n+3) F	
			RY (n+4) 0～ (n+4) F			RX (n+4) 0～ (n+4) F	
			RY (n+5) 0～ (n+5) F			RX (n+5) 0～ (n+5) F	
			RY (n+6) 0～ (n+6) F			RX (n+6) 0～ (n+6) F	
	システム領域		RY (n+7) 0～ (n+7) F	システム領域		RX (n+7) 0～ (n+7) F	
	目標位置		RWw (n+0)	現在位置		RWr (n+0)	
			RWw (n+1)			RWr (n+1)	
	位置決め幅		RWw (n+2)	指令電流		RWr (n+2)	
			RWw (n+3)			RWr (n+3)	
	速度		RWw (n+4)	現在速度		RWr (n+4)	
			RWw (n+5)			RWr (n+5)	
	ゾーン境界値+		RWw (n+6)	アラームコード		RWr (n+6)	
			RWw (n+7)			RWr (n+7)	
	ゾーン境界値－		RWw (n+8)	占有領域		RWr (n+8)	
			RWw (n+9)			RWr (n+9)	
	加速度		RWw (n+A)			RWr (n+A)	
	減速度		RWw (n+B)			RWr (n+B)	
	押付け電流制限値		RWw (n+C)			RWr (n+C)	
	ACON	占有領域	RWw (n+D)			RWr (n+D)	
	PCON	負荷電流閾値					
	制御信号1		RWw (n+E)			RWr (n+E)	
	制御信号2		RWw (n+F)	状態信号		RWr (n+F)	

(注) 占有領域 はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

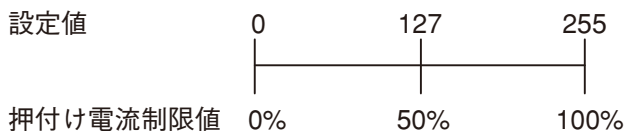
システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力データレジスタ各16ワードで構成されます。

- 制御信号1、制御信号2および状態信号はビット単位のON/OFF信号です。
- 目標位置および現在位置は2ワード（32ビット）のバイナリデータで、PLCでは－999999～＋999999（単位：0.01mm）の数値が扱えますが、位置データは当該アクチュエータのソフトストロークの範囲内（0～有効ストローク長）で設定してください。
- 位置決め幅を設定してください。位置決め幅は2ワード（32ビット）のバイナリデータで、PLCでは1～＋999999（単位：0.01mm）の数値が扱えます。
- 速度は2ワード（32ビット）のバイナリデータで、PLCでは0～＋999999（単位：0.01mm/sec）の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大速度を超えない値に設定してください。
- 加速度および減速度は1ワード（16ビット）のバイナリデータで、PLCでは1～300（単位：0.01G）の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大加速度および最大減速度を超えない値に設定してください。
- 押付け電流制限値は1ワード（16ビット）のバイナリデータで、PLCでは0（0%）～255（100%）の数値が扱えますが、当該アクチュエータの押付け電流制限値の指定可能範囲内（アクチュエータのカタログまたは取扱説明書参照）で設定してください。



- 負荷電流閾値を設定してください。負荷電流閾値は1ワード（16ビット）のバイナリデータで、PLCでは0（0%）～255（100%）の数値が扱えます。（押付け電流制限値の図（上図）参照）
- ゾーン境界値＋、ゾーン境界値－は2ワード（32ビット）のバイナリデータで、PLCでは－999999～＋999999（単位：0.01mm）の数値が扱えますが、ゾーン境界値＋よりゾーン境界値－を小さな値に設定してください。
- 指令電流は2ワード（32ビット）のバイナリデータ（単位：1mA）です。
- 現在速度は2ワード（32ビット）のバイナリデータ（単位：0.01mm/sec）です。
- アラームコードは1ワード（16ビット）のバイナリデータです。

PLC出力

アドレス（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

RWw (n+0)	1ワード=16ビット															
	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (下位ワード)																

RWw (n+1)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (上位ワード)																

目標位置が負数の場合は、2の補数で表されます。

RWw (n+2)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1

RWw (n+3)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (上位ワード)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	524,288	262,144	131,072	65,536

RWw (n+4)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
速度 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1

RWw (n+5)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
速度 (上位ワード)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	524,288	262,144	131,072	65,536

RWw (n+6)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
ゾーン境界値+ (下位ワード)																

RWw (n+7)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
ゾーン境界値+ (上位ワード)																

ゾーン境界値が負数の場合は、2の補数で表されます。

アドレス（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

	1ワード=16ビット															
RWw (n+8)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
ゾーン境界値ー (下位ワード)																
RWw (n+9)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
ゾーン境界値ー (上位ワード)																

ゾーン境界値—が負数の場合は、2の補数で表されます。

RWw (n+A)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
加速度								256	128	64	32	16	8	4	2	1

RWw (n+B)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
減速度								256	128	64	32	16	8	4	2	1

RWw (n+C)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
押付け 電流制限値									128	64	32	16	8	4	2	1

RWw (n+D)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
負荷電流閾値 (※3)									128	64	32	16	8	4	2	1

RWw (n+E)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号1						(※1)			(※2)			INC	DIR	PUSH		

RWw (n+F)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号2	BKRL	RMOD						JOG+	JOG-	JVEL	JISL	SON	RES	STP	HOME	DSTR

(※1) RWw (n+E) のb10の信号割付

	記号	
コントローラ	ACON	PCON
b10	—	SMOD

(※2) RWw (n+E) のb7およびb6の信号割付

	記号	
コントローラ	ACON	PCON
b7	MOD1	—
b6	MOD0	—

(※3) PCON専用機能です。ACONでは使用できません。

PLC入力

アドレス（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

1ワード=16ビット

RWr (n+0)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																

RWr (n+1)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

現在位置が負数の場合は、2の補数で表されます。

RWr (n+2)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1

RWr (n+3)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (上位ワード)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	524,288	262,144	131,072	65,536

RWr (n+4)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (下位ワード)																

RWr (n+5)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (上位ワード)																

現在速度が負数の場合は、2の補数で表されます。

RWr (n+6)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
アラームコード																

RWr (n+7) ~

RWr (n+E)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
使用できません																

RWr (n+F)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号	EMGS	PWR	ZONE2	ZONE1	PZONE	(※1)		RMDS	GHMS	PUSH	PSFL	SV	ALM	MOVE	HEND	PEND

(※1) RWr (n+F) のb10およびb9の信号割付

	記号	
コントローラ	ACON	PCON
b10	—	LOAD
b9	—	TRQS

(3) 入出力信号割付 (※表中のONの表記は該当のビットが“1”を表し、OFFは“0”を表します)

アドレス		ビット	記号	機能	詳細
P L C 出力	目標位置	32ビット データ	—	32ビット符号付整数 目標位置を絶対座標上の位置で指定してください。 単位は0.01mmで指定可能範囲は、－999999～999999となります。 (例) +25.41mmなら2541と指定します。 パラメータのソフトリミットの内側（0.2mm）を超えた値を入力するとソフトリミットの内側（0.2mm）までの移動に制限されます。 ※16進数で入力する場合、負数は2の補数で入力してください。	3.9 (3)
	位置決め幅	32ビット データ	—	32ビット整数 単位は0.01mmで指定可能範囲は1～999999です。 (例) 25.40mmなら2540と指定します。 本レジスタは動作種別により2種類の意味があります。 ①位置決め動作の場合、目標位置からどの程度の範囲で位置決め完了とみなすかの許容範囲となります。 ②押付け動作時は押付け幅の値となります。 通常動作か押付け動作かの指定は、制御信号のPUSHで設定してください。	3.9 (3)
	速度	32ビット データ	—	32ビット整数 移動時の速度を指定してください。 単位0.01mm/secで指定可能範囲は、0～999999となります。 (例) 25.41mm/secなら2541と指定します。 最大速度以上の値で移動指令を行うとアラームとなります。	3.9 (3)
	ゾーン 境界値＋ ／ゾーン 境界値－	32ビット データ	—	32ビット符号付整数 パラメータで指定されるゾーン境界とは別に、原点復帰後に有効なゾーン信号を出力します。 現在位置がこの±境界値の内側にあるときは、状態信号のPZONEがONとなります。 (例) +25.40mmなら2540と指定します。 指定単位は0.01mmで、指定範囲は－999999～999999 となります。 ゾーン境界値＋＞ゾーン境界値－の関係を満たす値を入力してください。 当機能を使用しない場合は、±を同じ値にしてください。 ※16進数で入力する場合、負数は2の補数で入力してください。	3.9 (3)

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

アドレス		ビット	記号		機能	詳細												
P L C 出 力	加速度	16 ビット データ	—		16 ビット整数 移動時の加速度および減速度を指定してください。 単位は 0.01G で指定可能範囲は 1 ～ 300 です。 (例) 0.30G なら 30 と指定します。 0 または最大加速度, 最大減速度を超えた値 で移動指令を行うとアラームとなります。	3.9 (3)												
	減速度	16 ビット データ	—															
	押付け 電流制限値	16 ビット データ	—		16 ビット整数 押付け動作時電流制限を指定してください。 指定可能範囲は 0 (0%) ～ 255 (100%) です。 各アクチュエータにより実際の指定可能範囲 は異なります。(各アクチュエータのカタログ または取扱説明書をご参照ください。) 最大押付け電流値以上の値で移動指令を行う とアラームとなります。	3.9 (3)												
	負荷電流 閾値	16 ビット データ	—		16 ビット整数 負荷電流が設定値を超えたか超えないか判定 を行う場合、電流のしきい値を本レジスタで 指定してください。 指定可能範囲は 0 (0%) ～ 255 (100%) です。 判定を行わない場合は 0 を入力してください。	3.9 (3)												
	制御信号 1	b15	—		使用できません	—												
		b14																
		b13																
		b12																
		b11																
		b10	A C C O N	—	使用できません	—												
			P C C O N	SMOD	停止制御モード : ON で停止時サーボ制御	3.7.7 (28)												
		b9	—		使用できません	—												
		b8																
		b7	A C C O N	MOD1	<table><tr><td>MOD1</td><td>MOD0</td><td>機能</td></tr><tr><td>OFF</td><td>OFF</td><td>台形パターン</td></tr><tr><td>OFF</td><td>ON</td><td>S 字モーション</td></tr><tr><td>ON</td><td>OFF</td><td>一次遅れフィルタ</td></tr></table>	MOD1	MOD0	機能	OFF	OFF	台形パターン	OFF	ON	S 字モーション	ON	OFF	一次遅れフィルタ	3.7.7 (29)
		MOD1		MOD0		機能												
		OFF		OFF		台形パターン												
		OFF	ON	S 字モーション														
ON	OFF	一次遅れフィルタ																
b6	MOD0																	
b7	P C C O N	—	使用できません	—														
b6																		
b5	—		使用できません	—														
b4																		
b3	INC		インクリメンタル指定 : OFF で絶対位置指令、 ON で相対位置指令	3.7.7 (24)														

(※表中のONの表記は該当のビットが“1”を表し、OFFは“0”を表します)

アドレス	ビット	記号	機能	詳細
PLC出力	制御信号1	b2	DIR 押付け方向指定： OFFで目標位置から位置決め幅を減算した位置方向 ONで目標位置に位置決め幅を加算した位置方向	3.7.7 (22)
		b1	PUSH 押付け指定： OFFで位置決め動作、ONで押付け動作	3.7.7 (21)
		b0	— 使用できません	—
	制御信号2	b15	BKRL ブレーキ強制解除：ONでブレーキ解除	3.7.7 (18)
		b14	RMOD 運転モード： OFFでAUTOモード、ONでMANUモード	3.7.7 (19)
		b13	— 使用できません	—
		b12		
		b11		
		b10		
		b9		
		b8	JOG＋ ＋ジョグ：ONで反原点方向移動	3.7.7 (13)
		b7	JOG－ －ジョグ：ONで原点方向移動	3.7.7 (13)
		b6	JVEL ジョグ速度／イン칭ング距離切替え： OFFでパラメータNo.26 “ジョグ速度”、パラメータNo.48 “イン칭ング距離” ONでパラメータNo.47 “ジョグ速度2”、パラメータNo.49 “イン칭ング距離2” の設定値を使用する。	3.7.7 (14)
		b5	JISL ジョグ／イン칭ング切替え： OFFでジョグ動作、ONでイン칭ング動作	3.7.7 (15)
		b4	SON サーボON指令：ONでサーボON	3.7.7 (5)
		b3	RES リセット：ONでリセット実行	3.7.7 (4)
		b2	STP 一時停止：ONで一時停止指令	3.7.7 (11)
		b1	HOME 原点復帰：ONで原点復帰指令	3.7.7 (6)
		b0	DSTR 位置決めスタート：ONで移動指令	3.7.7 (8)

(※表中のONの表記は該当のビットが“1”を表し、OFFは“0”を表します)

信号種別	ビット	信号名	内容	詳細		
PLC入力	現在位置	32ビットデータ	—	32ビット符号付整数 単位は0.01mmです。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023 (10進数) =10.23mm ※16進数で読取る場合、負数は2の補数表示となります。	3.9 (3)	
	指令電流	32ビットデータ	—	32ビット整数 現在指令している電流値を示します。 単位はmAです。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023 (10進数) =1023mA32ビット整数	3.9 (3)	
	現在速度	32ビットデータ	—	32ビット符号付整数 現在速度を示します。 正数：反原点方向へ移動中 負数：原点方向へ移動中 単位は0.01mm/secです。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023 (10進数) =10.23mm/sec ※16進数で読取る場合、負数は2の補数表示となります。	3.9 (3)	
	アラームコード	16ビットデータ	—	16ビット整数 アラームが発生した場合にはアラームコードが出力されます。 アラームが発生していない場合は0です。 アラームの詳細内容はコントローラの取扱説明書をご参照してください。	3.9 (3)	
	状態信号	b15	EMGS		非常停止：ONで非常停止状態	3.7.7 (2)
		b14	PWR		コントローラ準備完了：準備完了でON	3.7.7 (1)
		b13	ZONE2		ゾーン2：現在位置がゾーン設定内にあるときON	3.7.7 (12)
		b12	ZONE1		ゾーン1：現在位置がゾーン設定内にあるときON	3.7.7 (12)
		b11	PZONE		ポジションゾーン： 現在位置がポジションゾーン設定内にあるときON	3.7.7 (12)
		b10	ACON	—	使用できません (ON/OFFは不定です)	—
			PCON	LOAD	負荷出力判定： ONで到達、OFFで未達 (詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)	3.7.7 (26)
		b9	ACON	—	使用できません (ON/OFFは不定です)	—
			PCON	TRQS	トルクレベル： ONで到達、OFFで未達 (詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)	3.7.7 (27)
		b8	RMDS		運転モード状態： 現在の状態がAUTOモードでOFF、MANUモードでON	3.7.7 (19)
		b7	GHMS		原点復帰中：原点復帰中でON	3.7.7 (6)
		b6	PUSHS		押付け動作中：押付け動作中でON	3.7.7 (25)
		b5	PSFL		押付け空振り：押付け動作空振りでON	3.7.7 (23)
b4	SV		運転準備完了：サーボONでON	3.7.7 (5)		
b3	ALM		アラーム：アラーム発生でON	3.7.7 (3)		
b2	MOVE		移動中信号：アクチュエータ移動中でON	3.7.7 (9)		
b1	HEND		原点復帰完了：原点復帰完了でON	3.7.7 (6)		
b0	PEND		位置決め完了信号：位置決め完了でON	3.7.7 (10)		

3.7.6 リモート I/O モード 2 (リモートデバイス局：占有局数 1 局)

PIO (24V入出力) を使用した場合と同様にポジションNo.を指定して運転するモードです。
RC用パソコン対応ソフトまたはティーチングボックスからポジションデータを設定してください。
運転可能なポジション数は、パラメータNo.25 “PIOパターン” の設定によります。
本モードはリモート I/O モードの内容に現在位置の読取り機能と指令電流値の読取り機能を追加したものです。

以下に各PIOパターンの特長を示します。(詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)

パラメータNo.25の設定値	動作モード	I/O仕様
0	位置決めモード	位置決め点数64点、ゾーン出力2点
1	教示モード	位置決め点数64点、ゾーン出力1点 位置決めおよびジョグ運転が可能 現在位置を指定ポジションに書込み可能
2	256点モード	位置決め点数256点、ゾーン出力1点
3	512点モード	位置決め点数512点、ゾーン出力無し
4	電磁弁モード1	位置決め点数7点、ゾーン出力2点 ポジションNo.毎の直接運転指令が可能 位置決め完了信号はポジションNo.毎に出力
5	電磁弁モード2	位置決め点数3点、ゾーン出力2点 前進／後退／中間位置指令により運転 位置決め完了信号は前進端／後退端／ 中間位置の個別出力

本モードで制御可能なロボシリンダの有効な主要機能は次の表の通りです。

ロボシリンダ の機能	PIOパターン					
	0： 位置決め モード	1： 教示 モード	2： 256点 モード	3： 512点 モード	4： 電磁弁 モード1	5： 電磁弁 モード2
原点復帰動作	○	○	○	○	○	×
位置決め動作	○	○	○	○	○	○
速度・加減速度設定	○	○	○	○	○	○
ピッチ送り (イン칭ング)	○	○	○	○	○	○
押付け動作	○	○	○	○	○	×
移動中の速度変更	○	○	○	○	○	○
異なった加速度、 減速度での動作	○	○	○	○	○	○
一時停止	○	○	○	○	○	○ (※1)
ゾーン信号出力	○	○	○	×	○	○
PIOパターン選択 (パラメータで設定)	○	○	○	○	○	○

○：動作可、×：動作不可

(※1) パラメータNo.27 “移動指令種別” を0に設定した場合に可能です。

移動指令をOFFにすることによって一時停止が可能です。

(1) PLCアドレス構成（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

パラメータ No.84	ACONまたはPCON側 DIおよび入力レジスタ	PLC側	ACONまたはPCON側 DOおよび出力レジスタ	PLC側
4	ポート番号0～15	RY n0～nF	ポート番号0～15	RX n0～nF
	システム領域	RY (n+1) 0～(n+1) F	システム領域	RX (n+1) 0～(n+1) F
	占有領域	RWw (n+0)	現在位置	RWr (n+0)
		RWw (n+1)		RWr (n+1)
		RWw (n+2)	指令電流	RWr (n+2)
		RWw (n+3)		RWr (n+3)

(注) **占有領域** はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力ビットレジスタ各1ワードで構成されます。

各軸の入出力信号は、入出力データレジスタ各4ワードで構成されます。

●入出力ビットレジスタはビット単位のON/OFF信号で制御します。

●現在位置は2ワード（32ビット）のバイナリデータ（単位：0.01mm）です。

●指令電流は2ワード（32ビット）のバイナリデータ（単位：1mA）です。

PLC出力（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

アドレス	1ワード＝16ビット															
RY (n+0)	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 入力ポート 番号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

PLC入力（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

アドレス

	1ワード=16ビット															
RX (n+0)	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 出力ポート番号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

アドレス

	1ワード=16ビット															
RWr (n+0)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																

RWr (n+1)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

負数の場合は、2の補数で表されます。

RWr (n+2)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1

RWr (n+3)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (上位ワード)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	524,288	262,144	131,072	65,536

(3) 入出力信号割付

各PIOパターンの信号割付は、3.7.2 (3) リモート I/Oモード入出力信号割付けをご参照してください。

指令電流、現在位置の読取り機能の信号割付を次に示します。

信号種別		ビット	信号名	内容	詳細
P L C 入 力	現在位置	32ビット データ	—	32ビット符号付整数 単位は0.01mmです。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023（10進数） =10.23mm ※16進数で読取る場合、負数は2の補数表示 となります。	—
	指令電流	32ビット データ	—	32ビット整数 現在指令している電流値を示します。 単位は1mAです。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023（10進数） =1023mA	—

3.7.7 入出力信号の制御と機能

※ONの表記はビット信号の“1”を表し、OFFは“0”を表します。

ポジション／簡易直値モード、ハーフ直値モードおよびフル直値モードに使用される入出力信号の制御と機能を以下に示します。リモート I/Oモードおよびリモート I/Oモード2の入出力信号については、コントローラ本体の取扱説明書をご参照ください。

(1) コントローラ準備完了 (PWR) PLC入力信号

電源投入後、コントローラが制御可能になるとONになります。

■機能

アラームの状態やサーボの状態等にかかわらず、電源投入後、コントローラの初期化が正常に終了し、制御が可能になるとONになります。

アラーム状態にあっても、コントローラが制御可能状態であればONになります。

(2) 非常停止 (EMGS) PLC入力信号

コントローラが非常停止状態になるとONになります。

■機能

非常停止状態（モータ駆動電源がしゃ断状態）になるとONになります。非常停止状態が解除されればOFFになります。

(3) アラーム (ALM) PLC入力信号

コントローラの保護回路（機能）が異常を検出するとONになります。

■機能

異常を検出して保護回路（機能）が動作した時にONになる信号です。

アラームの原因が解除され、リセット (RES) 信号をONにすると動作解除レベルのアラームの場合はOFFになります。（コールドスタートレベルのアラームの場合は電源の再投入が必要です）

アラームを検出すると、コントローラ前面の状態表示LED (3.3 CC-Link インターフェース参照) が赤色点灯します。

(4) リセット (RES) PLC出力信号

この信号は2つの機能を持っており、コントローラのアラームのリセットおよび一時停止中の残移動量をキャンセルすることができます。

■機能

①アラームが発生中に、アラームの原因を取り除いた後、この信号をOFFからONにするとアラーム (ALM) 信号をリセットすることができます。（コールドスタートレベルのアラームの場合は電源の再投入が必要です）

②一時停止中にこの信号をOFFからONにすると、残りの移動量をキャンセルすることができます。

- (5) サーボON指令 (SON) PLC出力信号
運転準備完了 (SV) PLC入力信号

SON信号をONにするとサーボONとなります。

サーボONするとコントローラ前面の状態表示LED (3.3 CC-Link インターフェース参照) が緑色点灯します。

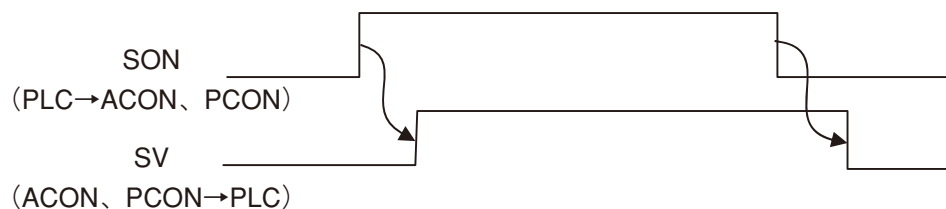
SV信号は、このLEDと同期しています。

■機能

SON信号によりコントローラのサーボON/OFFが可能です。

SV信号がONの間、コントローラはサーボON状態となり運転が可能となります。

SON信号とSV信号の関係は次のとおりです。



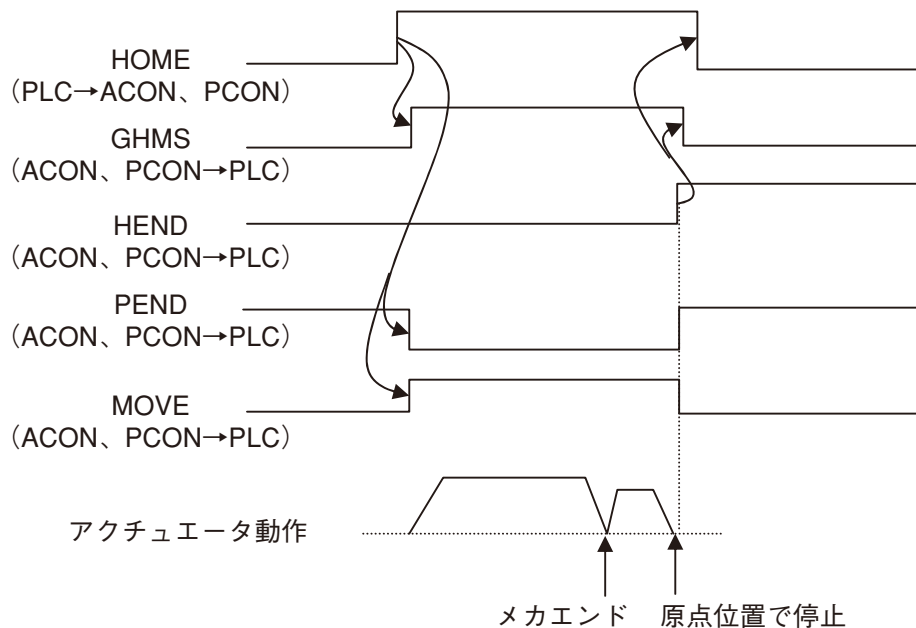
(6) 原点復帰	(HOME)	PLC出力信号
原点復帰完了	(HEND)	PLC入力信号
原点復帰中	(GHMS)	PLC入力信号

HOME信号をONすると、この指令は立上り（ONエッジ）で処理され、自動で原点復帰動作が行われます。原点復帰中はGHMS信号がONとなります。

原点復帰を完了するとHEND信号がONとなり、GHMS信号がOFFとなります。

HEND信号がONになったらHOME信号をOFFにしてください。HEND信号は一旦ONになると電源がOFFされるか、再度のHOME信号が入力されるまでOFFとなりません。

原点復帰完了後もHOME信号をONすると原点復帰を行うことができます。



△注意：リモート I/O モード、リモート I/O モード 2 およびポジション／簡易直値モードでは、電源投入時に原点復帰を行わずにポジションへの位置決め指令をした場合、電源投入後の最初の 1 回に限り自動的に原点復帰を行った後、位置決めを実行します。

ハーフ直値モードおよびフル直値モードでは、電源投入時に原点復帰を行わずにポジションへの位置決め指令をした場合、「エラーコード 83 ALARM HOME ABS（原点復帰未完了状態での絶対位置移動指令）」のアラーム（動作解除レベル）となりますので、ご注意ください。

(7) 位置決めスタート (CSTR) : ポジション／簡易直値モードで使用 PLC出力信号

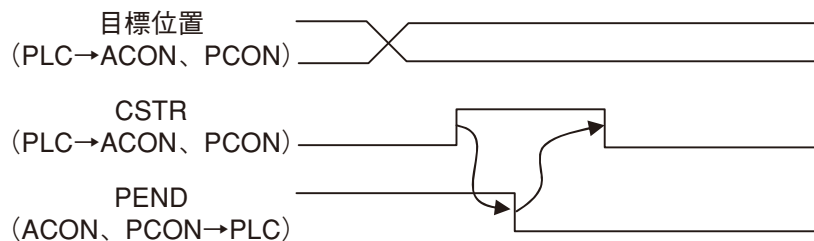
この指令は立上り (ONエッジ) で処理され、指定されたポジション No. の目標位置またはPLCの目標位置レジスタで設定した位置に位置決めします。

指定されたポジション No. の目標位置を使用するか、PLCの目標位置レジスタの設定を使用するかは制御信号のb11: ポジション／簡易直値切替 (PMOD) 信号によります。

- ・ PMOD=OFF : 指定したポジション No. 内の目標位置データを使用
- ・ PMOD=ON : PLCの目標位置レジスタの設定値を使用

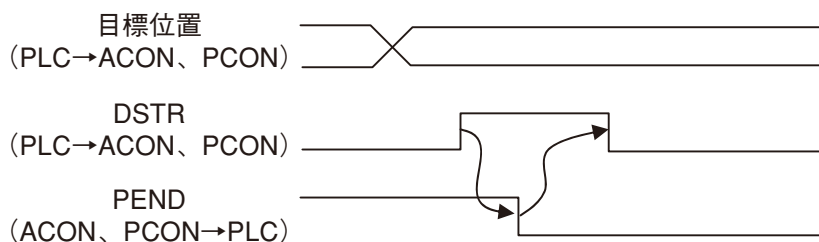
電源投入後、一度も原点復帰動作を行っていない状態 (HEND信号がOFF の状態) でこの指令を行った場合は、自動的に原点復帰動作を実行した後に目標位置に位置決めします。

本信号は位置決め完了信号 (PEND) 信号がOFFになったことを確認してOFFにしてください。

(8) 位置決め指令 (DSTR) : ハーフ直値モードおよびフル直値モードで使用 PLC出力信号

この指令は立上り (ONエッジ) で処理され、PLCの目標位置レジスタに入力されている目標位置に位置決めします。電源投入後、一度も原点復帰動作を行っていない状態 (HEND信号がOFFの状態) でこの指令を行うとアラーム (動作解除レベル) となります。

本信号は位置決め完了 (PEND) 信号がOFFになったことを確認してOFFにしてください。

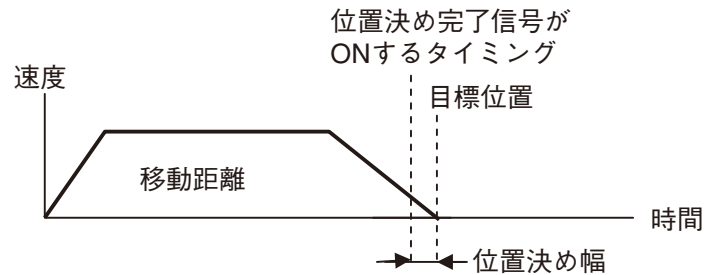
(9) 移動中信号 (MOVE) PLC入力信号

本信号はアクチュエータのスライダまたはロッドが移動中にONになります。(原点復帰動作、押付け動作およびジョグ動作も含みます)

位置決め完了後、原点復帰完了後、押付け動作完了後または一時停止中にOFFとなります。

(10) 位置決め完了信号 (PEND) PLC入力信号

本信号は目標位置まで移動して、位置決め幅内に到達した場合および押付けが完了した場合にONになります。



サーボOFFからサーボONとなった時、その場を目標位置として位置決めが行われます。従って本信号はONとなり、その後原点復帰 (HOME) 信号、位置決めスタート (CSTR) 信号または位置決め指令 (DSTR) 信号による位置決め動作の開始でOFFとなります。

⚠ 注意：目標位置に停止している時にサーボOFF状態や非常停止状態になると、PEND信号は一旦OFFになります。
次に再度サーボON状態に復帰した時、位置決め幅以内であればONに戻ります。
またCSTR信号またはDSTR信号がONのままでは位置決め完了してもPEND信号は、ONになりません。

(11) 一時停止 (STP) PLC出力信号

本信号をONにすると軸移動が減速停止します。OFFにすると軸移動が再開されます。動作再開時の加速度および停止時の減速度は、ポジション／簡易直値モードでは指定ポジション No. レジスタで設定しているポジション No. の加減速度の値となり、ハーフ直値モードでは加減速度レジスタの値となります。フル直値モードでは加速度レジスタおよび減速度レジスタの値となります。

(12) ゾーン1 (ZONE1)	PLC入力信号
ゾーン2 (ZONE2)	PLC入力信号
ポジションゾーン (PZONE)	PLC入力信号

アクチュエータの現在位置が設定した領域の範囲内にある場合はONになり、範囲外にある場合はOFFになります。

① ゾーン1、ゾーン2

ゾーンの設定はユーザパラメータで設定します。

ZONE1信号はパラメータNo.1 “ゾーン境界1十側” および2 “ゾーン境界1一側” で設定します。

ZONE2信号はパラメータNo.23 “ゾーン境界2十側” および24 “ゾーン境界2一側” で設定します。

ZONE1信号およびZONE2信号は原点復帰完了後に有効となり、その後はサーボOFF中でも有効です。

② ポジションゾーン

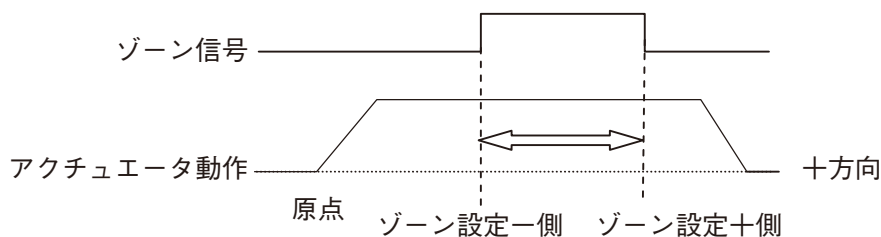
ゾーンの設定はポジションテーブル、入出力データレジスタで設定します。

ポジション／簡易直値モードの場合はPZONE信号をポジションテーブルで設定します。

フル直値モードの場合はPZONE信号をゾーン境界値レジスタで設定します。

(※) ハーフ直値モードはPZONE信号はありません。

PZONE信号は原点復帰完了後の移動指令で有効となり、その後はサーボOFF中でも有効です。



- (13) 十ジョグ (JOG+) PLC出力信号
一ジョグ (JOG-) PLC出力信号

ジョグ動作またはイン칭ング動作での起動指令です。

十指令の時は反原点方向への動作で、一指令の時は原点方向への動作です。

①ジョグ動作

ジョグ動作は、ジョグ／イン칭ング切替え (JISL) 信号がOFFの時に動作可能です。

JOG+がONの間は反原点方向へ動作を行い、OFFになると減速停止します。

JOG-がONの間は原点方向への動作を行い、OFFになると減速停止します。

動作は次のパラメータの設定値で行います。

- ・速度は、ジョグ速度／イン칭ング距離切替え (JVEL) 信号で指定されたパラメータの値で動作します。

JVEL信号=OFFの場合は、パラメータNo.26 “PIOジョグ速度” の値で動作します。

JVEL信号=ONの場合は、パラメータNo.47 “PIOジョグ速度2” の値で動作します。

- ・加減速度は、定格加減速度 (アクチュエータ依存) で動作します。

- ・JOG+とJOG-信号が両方共にONになると減速停止します。

②イン칭ング動作

イン칭ング動作は、JISL信号がONの時に動作可能です。

1回のON入力により、イン칭ング距離分の移動を行います。

JOG+がONで反原点方向へ動作を行い、JOG-がONで原点方向への動作を行います。

動作は次のパラメータの設定値で行います。

- ・速度は、JVEL信号で指定されたパラメータの値で動作します。

JVEL信号=OFFの場合は、パラメータNo.26 “PIOジョグ速度” の値で動作します。

JVEL信号=ONの場合は、パラメータNo.47 “PIOジョグ速度2” の値で動作します。

- ・移動距離は、JVEL信号で指定されたパラメータの値で動作します。

JVEL信号=OFFの場合は、パラメータNo.48 “PIOイン칭ング距離” の値で動作します。

JVEL信号=ONの場合は、パラメータNo.49 “PIOイン칭ング距離2” の値で動作します。

- ・加減速度は、定格加減速度 (アクチュエータ依存) で動作します。

通常動作中は、十ジョグ信号、一ジョグ信号をONしても通常動作を続けます。(ジョグ信号は無視されます)

一時停止中は、十ジョグ信号、一ジョグ信号をONしても動作しません。

(注) 原点復帰完了前はソフトウェアストロークリミットが無効のため、メカエンドに衝突する危険がありますのでご注意ください。

(14) ジョグ速度／イン칭距離切換え（JVEL） PLC出力信号

ジョグ動作が選択されている時のジョグ速度またはイン칭動作が選択されている時のイン칭距離を指定するパラメータの切換え信号です。

次のような関係になります。

JVEL信号	ジョグ動作：JISL=OFF	イン칭動作：JISL=ON
OFF	パラメータNo.26 “ジョグ速度”	パラメータNo.26 “ジョグ速度” パラメータNo.48 “イン칭距離”
ON	パラメータNo.47 “ジョグ速度2”	パラメータNo.47 “ジョグ速度2” パラメータNo.49 “イン칭距離2”

(15) ジョグ／イン칭切替え（JISL） PLC出力信号

ジョグ動作とイン칭動作の切替信号です。

JISL=OFF：ジョグ動作

JISL=ON：イン칭動作

JISL信号が、ジョグ移動中にON（イン칭）に切り替わった場合、減速停止しイン칭機能となります。

JISL信号が、イン칭移動中にOFF（ジョグ）に切り替わった場合、移動完了後にジョグ機能となります。

JISL信号とジョグ速度／イン칭距離切換え（JVEL）信号のON／OFFの関係は以下の表のようになります。

		ジョグ動作	イン칭動作
JISL		OFF	ON
JVEL=OFF	速度	パラメータNo.26 “ジョグ速度”	パラメータNo.26 “ジョグ速度”
	移動距離	—	パラメータNo.48 “イン칭距離”
	加減速度	定格値（アクチュエータ依存）	定格値（アクチュエータ依存）
JVEL=ON	速度	パラメータNo.47 “ジョグ速度2”	パラメータNo.47 “ジョグ速度2”
	移動距離	—	パラメータNo.49 “イン칭距離2”
	加減速度	定格値（アクチュエータ依存）	定格値（アクチュエータ依存）
動作		JOG＋／JOG－がONの時	JOG＋／JOG－の立上り（ONエッジ）を検出した時

- (16) 教示モード指令 (MODE) PLC出力信号
 教示モード信号 (MODES) PLC入力信号

MODE信号をONにすると、通常運転モードから教示モードに切替わります。

各軸のコントローラは教示モードに切替わるとMODES信号がONとなります。

PLC側では、MODES信号がONになったことを確認してから教示操作を行ってください。

(注) 通常運転モードから教示モードに切替えるためには、以下の状態となっている必要があります。

- ・アクチュエータの動作（モータ）が停止中
- ・＋ジョグ（JOG＋）信号および－ジョグ（JOG－）信号がOFF
- ・ポジションデータ取込み指令（PWRT）信号および位置決めスタート（CSTR）信号がOFF

(注) PWRT信号がOFFになっていないと通常運転モードに戻りません。

- (17) ポジションデータ取込み指令 (PWRT) PLC出力信号
 ポジションデータ取込み完了 (WEND) PLC入力信号

PWRT信号は教示モード信号 (MODES) がONの時に有効です。

PWRT信号をONにしてください（※1）、この時点の現在位置データが、PLCの指定ポジション No. レジスタに設定しているポジション No. の位置欄に書き込まれます。（※2）

書き込みが完了するとWEND信号がONになります。

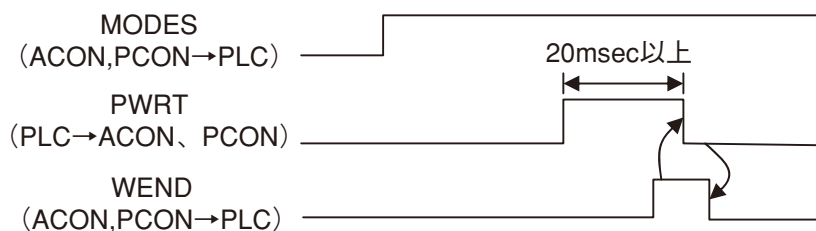
上位側PLCではWEND信号がONになった後にPWRT信号をOFFにしてください。

WEND信号がONする前にPWRT信号をOFFするとWEND信号はONになりません。

PWRT信号をOFFにするとWEND信号がOFFになります。

（※1）20msec以上連続でONにしてください。20msec以下の場合は書き込みが行われない場合があります。

（※2）位置以外のデータが未定義であればパラメータ初期値が書き込まれます。（コントローラ本体の取扱説明書参照）



- (18) ブレーキ強制解除 (BKRL) PLC出力信号

本信号をONにすることでブレーキを強制的に解除させることができます。

(19) 運転モード (RMOD)

PLC出力信号

運転モード状態 (RMDS)

PLC入力信号

RMOD信号とコントローラ前面のMODEスイッチにより次の様に運転モードが選択されます。
また現在AUTO/MANUのどちらに設定されているかRMDS信号で確認することができます。
次にRMOD信号とMODEスイッチの組合せによる運転モードを示します。

	コントローラMODE スイッチがAUTO側	コントローラMODE スイッチがMANU側
RMOD信号がOFF (AUTOモード指定)	AUTOモード (RMDS=OFF)	MANUモード (RMDS=ON)
RMOD信号がON (MANUモード指定)	MANUモード (RMDS=ON)	MANUモード (RMDS=ON)

(注) MANUモードではPLCから運転を行うことはできません。

(20) ポジション／簡易直値切替 (PMOD)

PLC出力信号

移動時の目標位置をコントローラのポジションテーブルに登録されている値を使用するか、PLCの目標位置レジスタで指定されている値を使用するかを切替えます。

PMOD=OFF：ポジションテーブル使用

PMOD=ON：目標位置レジスタの値使用

(21) 押付け指定 (PUSH)

PLC出力信号

本信号をONにしてから移動指令を行うと押付け動作となります。

本信号をOFFに設定すると通常位置決め動作となります。

(本信号の設定タイミングは、3.9 運転の (2) ハーフ直値モードでの運転参照)

(22) 押付け方向指定 (DIR)

PLC出力信号

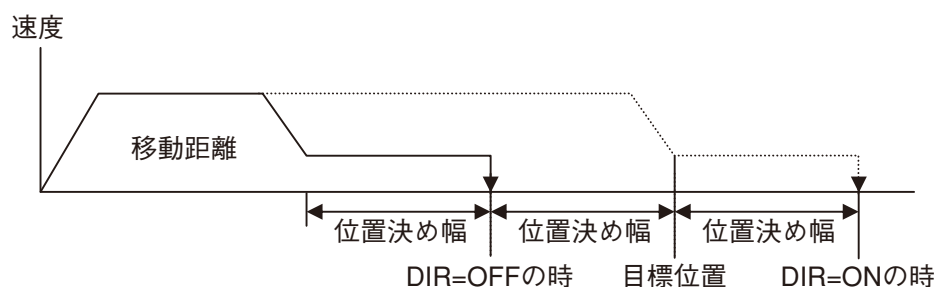
押付けを行う方向を指定します。

本信号をOFFにすると目標位置から位置決め幅を減算した値に向かって、押付けを行います。

本信号をONにすると目標位置に位置決め幅を加算した値に向かって、押付けを行います。

通常位置決め動作の場合は、本信号は無効になります。

(本信号の設定タイミングは、3.9 運転の (2) ハーフ直値モードでの運転参照)



(23) 押付け空振り (PSFL) PLC入力信号

押付け動作を行ったが、コントローラのポジションテーブルの位置決め幅またはPLCの位置決め幅レジスタで設定した距離を移動してもワークに押し当たらなかった時にONとなります。

(本信号の設定タイミングは、3.9 運転の (2) ハーフ直直モードでの運転参照)

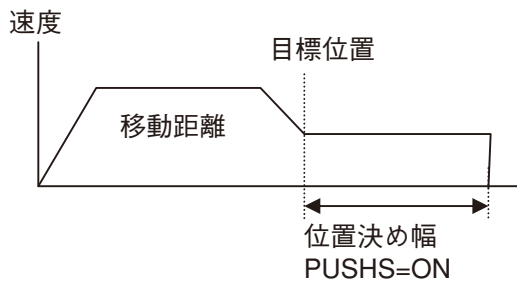
(24) インクリメンタル指定 (INC) PLC出力信号

本信号がONの場合に移動指令を行うと現在の位置を基準とし、PLCの目標位置レジスタに入力された値の移動を行います。(インクリメンタル移動)

本信号がOFFの場合にはPLCの目標位置レジスタの値の位置に移動します。

(25) 押付け動作中 (PUSHS) PLC入力信号

本信号は押付け動作中にONとなります。



本信号は、押付け空振りまたは一時停止または次の移動指令またはサーボOFFになるとOFFとなります。

(本信号の設定タイミングは、3.9 運転の (2) ハーフ直直モードでの運転参照)

(26) 負荷出力判定 (LOAD) PLC入力信号 PCON専用機能

本信号は押付け動作の場合だけ有効です。

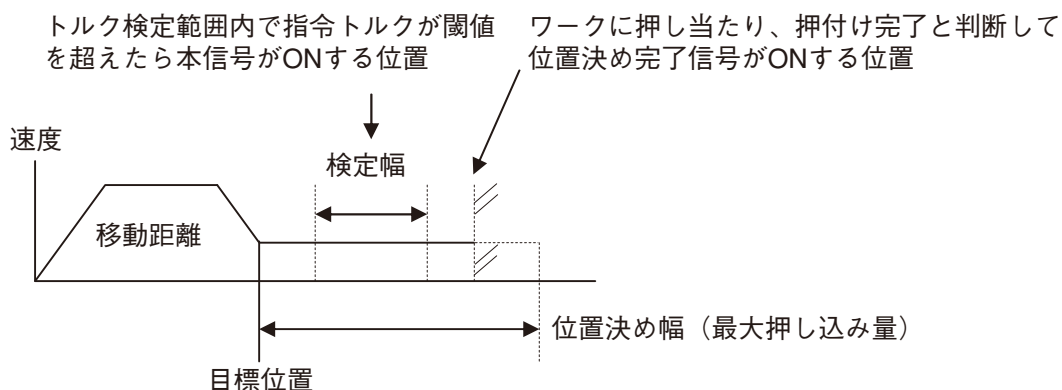
圧入用途で使用するには、押付け動作中に設定した負荷閾値に達したかを知る必要があります。

負荷閾値と検定幅範囲はPLCのレジスタで設定し、検定幅範囲内で指令トルク（モータ電流）が閾値を超えた時、本信号はONします。

本信号は、指令トルクが合計された一定時間、閾値を超えたかで判断を行います。

この処理手順は押し付け判定と同じです。負荷出力の判定時間はパラメータNo.50 “負荷出力判定時間” で任意に変更することが可能です。

本信号は次の移動指令を受けるまで保持されます。



- ・ 押付け速度はパラメータNo.34 “押付け速度” で設定します。
出荷時はアクチュエータ特性により個別設定されています。
ワークの材質、形状などを考慮して適切な速度を指定してください。
- ・ パラメータNo.50 “負荷出力判定時間” を設定します。
- ・ パラメータNo.51 “トルク検定範囲” を0 [有効] に設定します。
- ・ 閾値検定幅はPLCのゾーン境界値+レジスタ、ゾーン境界値-レジスタで設定します。
- ・ 閾値はPLCの負荷電流閾値レジスタで設定します。
- ・ 位置決め幅は、PLCの位置決め幅レジスタで設定します。
ワークの機械的バラつきを考慮して最後方の位置より少し長めに設定してください。
詳細は、コントローラ本体の取扱説明書を参照願います。

⚠ 警告：・ 目標位置の手前でワークに押し当たるとサーボ異常になります。
目標位置とワークの位置関係に充分注意してください。

- ・ アクチュエータは、電流制限値で決定される停止時押付け電流でワークを押し続けています。
停止している状態ではありませんので、この時の取扱いには充分気をつけてください。

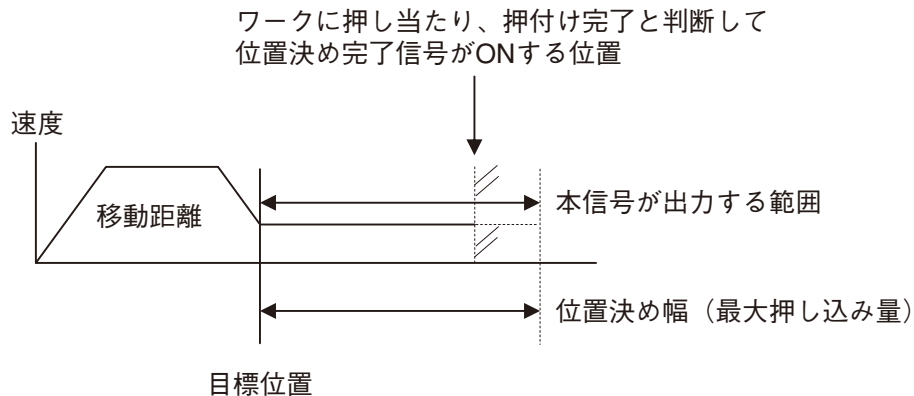
(27) トルクレベル (TRQS) PLC入力信号 PCON専用機能

本信号は押付け動作の場合だけ有効です。

押付け動作中（位置決め幅移動中）にモータ電流が負荷閾値に達した場合、本信号がONします。

電流をレベルで監視しているので、電流が変化すれば本信号のON、OFFの状態も変化します。

押付けに使える速度はモータとリードによって異なるため、パラメータを調整する必要があります。



- ・ 押付け速度はパラメータNo.34 “押付け速度” で設定します。
出荷時はアクチュエータ特性により個別設定されています。
ワークの材質、形状などを考慮して適切な速度を指定してください。
- ・ パラメータNo.50 “負荷出力判定時間” を設定します。
- ・ パラメータNo.51 “トルク検定範囲” を1 [無効] に設定します。
- ・ 閾値はPLCの負荷電流閾値レジスタで設定します。
- ・ 位置決め幅は、PLCの位置決め幅レジスタで設定します。
ワークの機械的バラつきを考慮して最後方の位置より少し長めに設定してください。
詳細は、コントローラ本体の取扱説明書を参照願います。

⚠ 警告：・ 目標位置の手前でワークに押し当たるとサーボ異常になります。
目標位置とワークの位置関係に充分注意してください。

- ・ アクチュエータは、電流制限値で決定される停止時押付け電流でワークを押し続けています。
停止している状態ではありませんので、この時の取扱いには充分気をつけてください。

(28) 停止制御モード (SMOD) PLC出力信号 PCON専用機能

パルスモータの一般的特徴としてACサーボモータに比べて停止時の保持電流が大きいことが上げられます。このため、待機位置での停止時間が長い場合には省エネルギー対策の一環として停止時の電力消費量を低減する方法を用意しています。

SMOD=ON : 待機中はフルサーボ制御方式を使用する

SMOD=OFF : 待機中

・フルサーボ制御方式

パルスモータをサーボ制御することにより保持電流を低減することができます。

アクチュエータ機種や負荷条件等により低減度合いは異なりますが、保持電流はおよそ1/2～1/4程度になります。

実際の保持電流は、パソコン対応ソフトの電流モニタ画面で確認することができます。

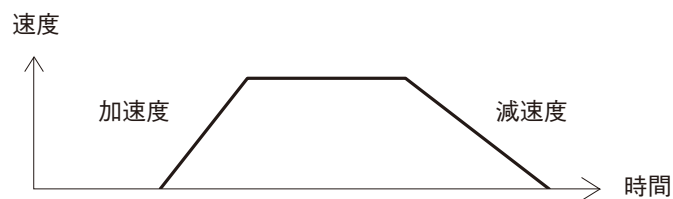
(注) 外力が加わるような状況や停止位置によっては微振動や異音が発生する可能性があります。

装置全体で支障がないことを確認してご使用ください。

(29) 加減速モード (MOD1、MOD0) PLC出力信号 ACON専用機能

加減速パターン特性を選択するための信号です。いずれかをアクチュエータの移動指令前に選択してください。

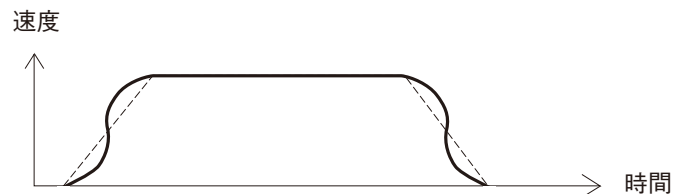
MOD1	MOD0	パターン名	備考
OFF	OFF	台形パターン	出荷時設定
OFF	ON	S字モーション	
ON	OFF	一次遅れフィルタ	
ON	ON	使用できません。	

台形パターン

※加速度、減速度はポジションデータの「加速度」「減速度」欄で設定します。

S字モーション

加速時に最初は緩やかで途中から急激に立ち上がるようなカーブを描きます。タクトタイムが要求されるため加減速度を高く設定したいが、移動開始時や停止直前時は緩やかにしたい用途にご使用ください。



※S字モーションの度合いはパラメータNo.56 “S字モーション比率設定” で設定します。設定単位は%で、設定範囲は0～100です。

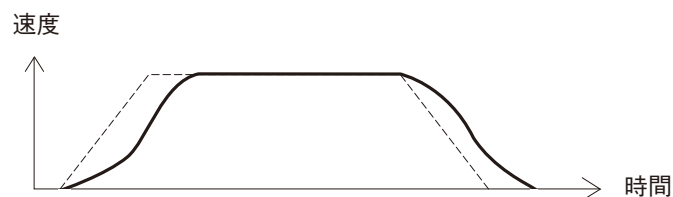
(上図は100%設定時のイメージグラフです。)

0を設定するとS字モーションは無効となります。

但し、パソコンなどのティーチングツール操作でのジョグ、インチング動作には反映されません。

一次遅れフィルタ

直線加減速（台形パターン）より緩やかな加減速カーブを描きます。加減速時にワークに微振動を与えたくない用途にご使用ください。



※一次遅れの度合いはパラメータNo.55 “位置指令一次フィルタ時定数” で設定します。最小入力単位は0.1msecで、設定範囲は0.0～100.0です。

0を設定すると一次遅れフィルタは無効となります。

但し、パソコンなどのティーチングツール操作でのジョグ、インチング動作には反映されません。

3.8 入出力信号のタイミング

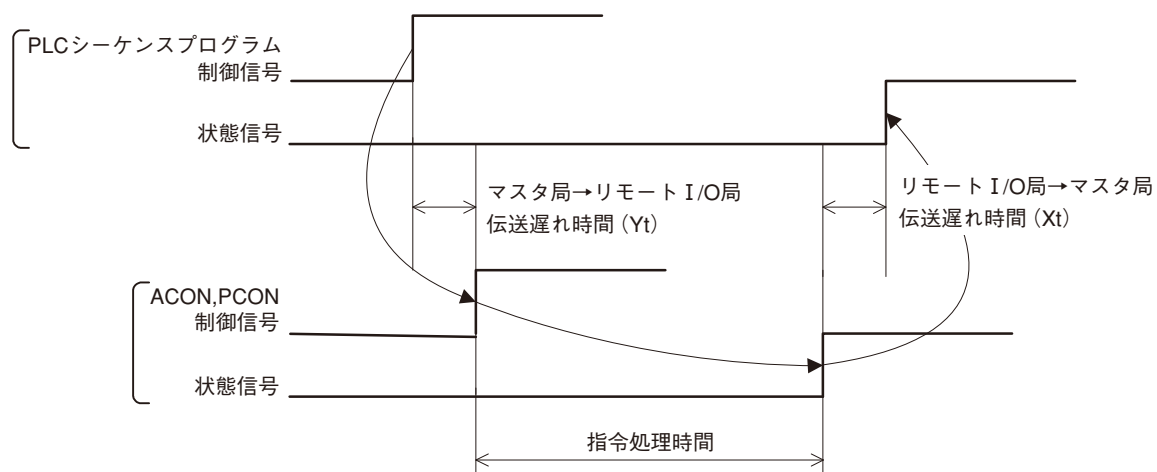
PLCのシーケンスプログラムでロボシリンダの運転を行うためにいずれかの制御信号をONし、その応答（状態）信号がPLCに帰ってくるまでの最大応答時間は次の式で表されます。

最大応答時間（msec）＝ $Y_t + X_t + 2 \times$ 指令処理時間（動作時間等）

Y_t ：マスタ局→リモート I/O局伝送遅れ時間
 X_t ：リモート I/O局→マスタ局伝送遅れ時間

} フィールドネットワーク伝送遅れ時間

マスタ局→リモート I/O局伝送遅れ時間（ Y_t ）、リモート I/O局→マスタ局伝送遅れ時間（ X_t ）については、CC-Linkマスタユニットおよび搭載されるPLCの取扱説明書をご参照ください。



3.9 運転

次にポジション／簡易直値モード、ハーフ直値モードおよびフル直値モードの基本動作例のタイミングを示します。

リモート I/O モードおよびリモート I/O モード 2 についてはコントローラの取扱説明書をご参照ください。

(リモート I/O モード 2 の現在位置、現在速度の読取りは適宜 PLC のレジスタから読取ってください。)

(1) ポジション／簡易直値モードでの運転

PLC の目標位置レジスタに位置データを書込み、速度、加減速度、位置決め幅、押付け電流制限値等はポジションテーブルで指定して運転します。

●動作例（通常位置決め動作）

(準備) 目標位置以外のポジションデータ（速度、加減速度、位置決め幅等）をポジションテーブルに設定します。

ポジション／簡易直値切替 (PMOD) 信号を ON します。

- ① 目標位置データを目標位置レジスタに設定します。
- ② 速度、加減速度等を設定したポジション No. を指定ポジション No. レジスタに設定します。
- ④ 位置決め完了 (PEND) 信号が ON になっているまたは、移動中信号 (MOVE) が OFF の状態で、位置決めスタート (CSTR) 信号を ON にします。
 - ①、② で設定したデータは CSTR 信号の立上りエッジでコントローラに読み込まれます。
- ④ CSTR 信号が ON になった後、tpdf 後に PEND が OFF します。
- ⑤ PEND 信号が OFF または MOVE 信号が ON になったことを確認してから CSTR 信号を OFF にします。目標位置レジスタの値は CSTR 信号を OFF にするまで変更しないでください。
- ⑥ PEND 信号が OFF になると同時に MOVE 信号が ON になります。
- ⑦ 現在位置データは常時更新されています。残移動量がポジションデータで設定された位置決め幅の範囲内になると、CSTR 信号が OFF の場合に PEND 信号が ON になり、完了ポジション No. が完了ポジション No. レジスタに出力されます。

従って、位置決め完了時の完了ポジション No. レジスタの読み取りは、PEND 信号が ON になり適当な時間（残移動量移動時間）をおいてから確認してください。

また現在位置データは停止中でも振動等により多少変化することがあります。
- ⑧ 移動中に目標位置データを変更することが可能です。

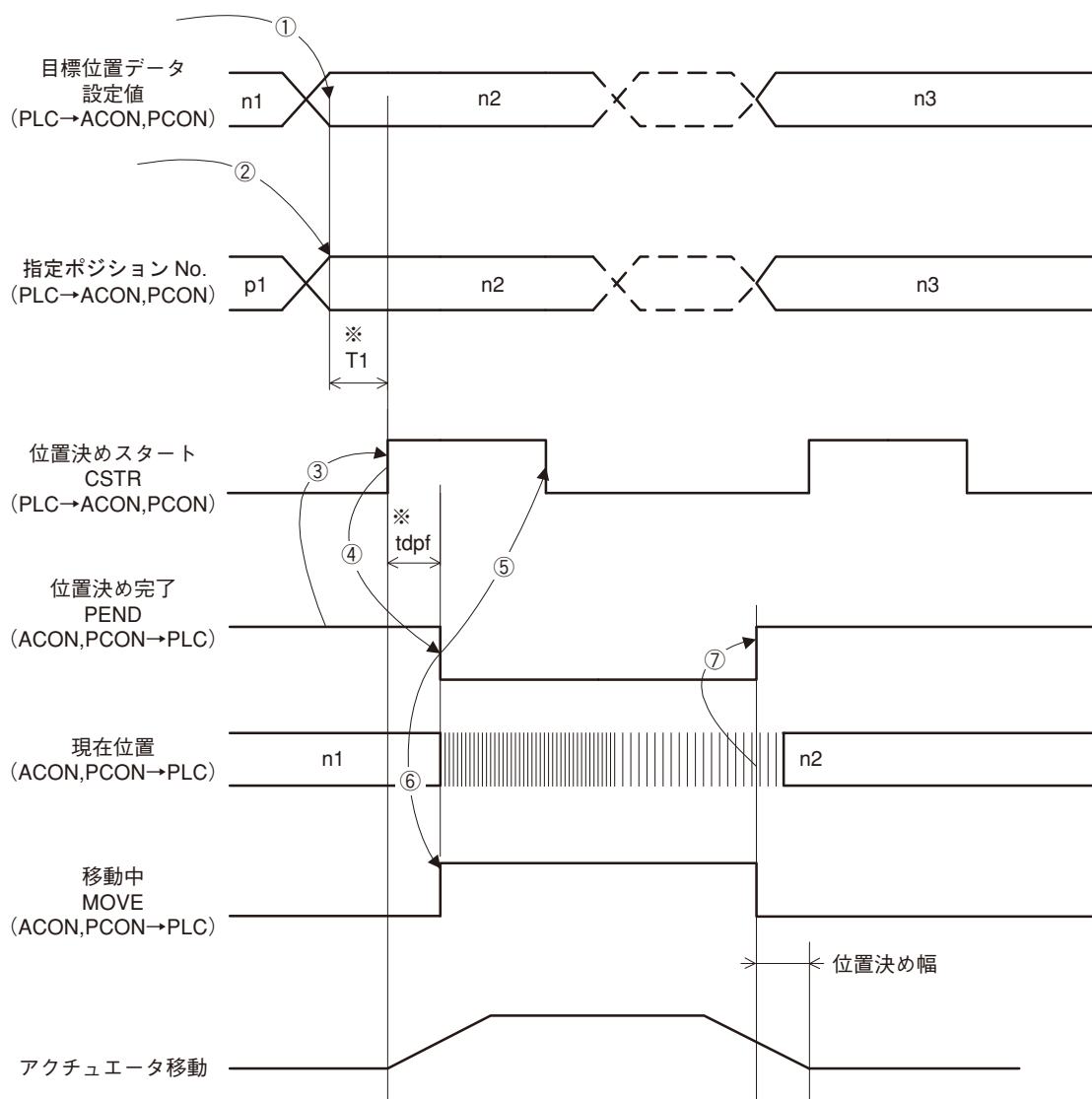
目標位置を変更するには、目標位置データの変更を行って PLC のスキャンタイム以上経過してから CSTR 信号を ON にします。

CSTR 信号は PLC のスキャンタイム以上経過してから値を変更してください。

●動作例（押付け動作）

押付け動作は（準備）の段階でポジションデータの押付け欄に電流制限値を設定します。

押付け欄に値を設定したポジション No. に位置決めを行うと押付け動作となります。



※T1：上位コントローラのスキャンタイムを考慮し、 $T1 \geq 0\text{ms}$ となるようにしてください。

※ $Yt + Xt \leq \text{tdpf} \leq Yt + Xt + 2$ (msec)

(2) ハーフ直値モードでの運転

PLCの目標位置レジスタ、位置決め幅レジスタ、指定速度レジスタ、加減速度レジスタおよび押付け電流制限指定レジスタにデータを指定して運転します。

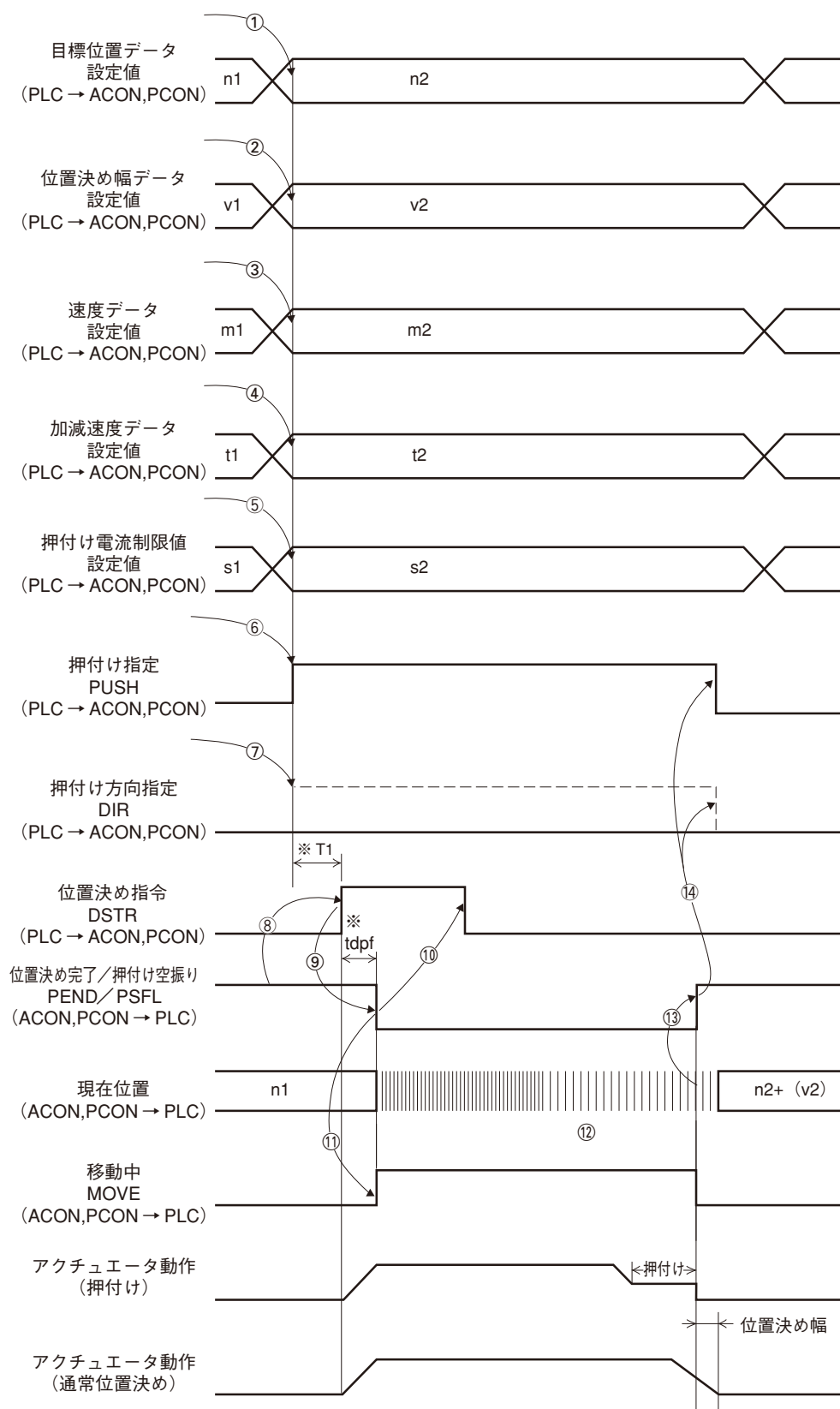
●動作例（押付け動作）

- ①目標位置データを目標位置レジスタに設定します。
- ②位置決め幅データを位置決め幅レジスタに設定します。
- ③速度データを速度レジスタに設定します。
- ④加減速度データを加減速度レジスタに設定します。
- ⑤押付け電流制限データを押付け電流制限値レジスタに設定します。
- ⑥押付け指定（PUSH）信号をONにします。
- ⑦押付け方向指定（DIR）信号で押付け方向を指定します。（3.7.7（22）参照）
- ⑧位置決め完了（PEND）信号がONになっているまたは、移動中信号（MOVE）がOFFの状態、位置決め指令（DSTR）信号をONにします。
①～⑤で設定したデータはDSTR信号の立上りエッジでコントローラに読み込まれます。
- ⑨DSTR信号がONになった後、tpdf後にPENDがOFFします。
- ⑩PEND信号がOFF またはMOVE信号がONになったことを確認してからDSTR信号をOFFにします。各レジスタの値はDSTR信号をOFFにするまで変更しないでください。
- ⑪PEND信号がOFFになるのと同時にMOVE信号がONになります。
- ⑫現在位置データは常時更新されています。
- ⑬PEND信号はDSTR信号がOFFで、モータの電流が⑤で設定した電流制限値に達するとONになります。（押付け完了）
②で設定した位置決め幅に達しても、モータの電流が⑤で設定した電流制限値に到達しない場合は、押付け空振り（PSFL）信号がONになります。この場合、PEND信号はONになりません。（押付け空振り）
- ⑭PEND信号またはPSFL信号がONとなった後、PUSH信号をOFFにします。

●動作例（通常位置決め動作）

通常位置決め動作は、⑥の信号をOFFに設定します。

残移動量がポジションデータで設定された位置決め幅の範囲内になると、DSTR信号がOFFの場合にPEND信号がONになります。



※ $T1$: 上位コントローラのスキャンタイムを考慮し、
 $T1 \geq 0\text{ms}$ となるようにしてください
 ※ $Yt + Xt \leq \text{tdpf} \leq Yt + Xt + 2 \text{ (msec)}$

(3) フル直値モードでの運転

PLCの目標位置レジスタ、位置決め幅レジスタ等位置決めに必要な条件を全てレジスタに指定して運転します。

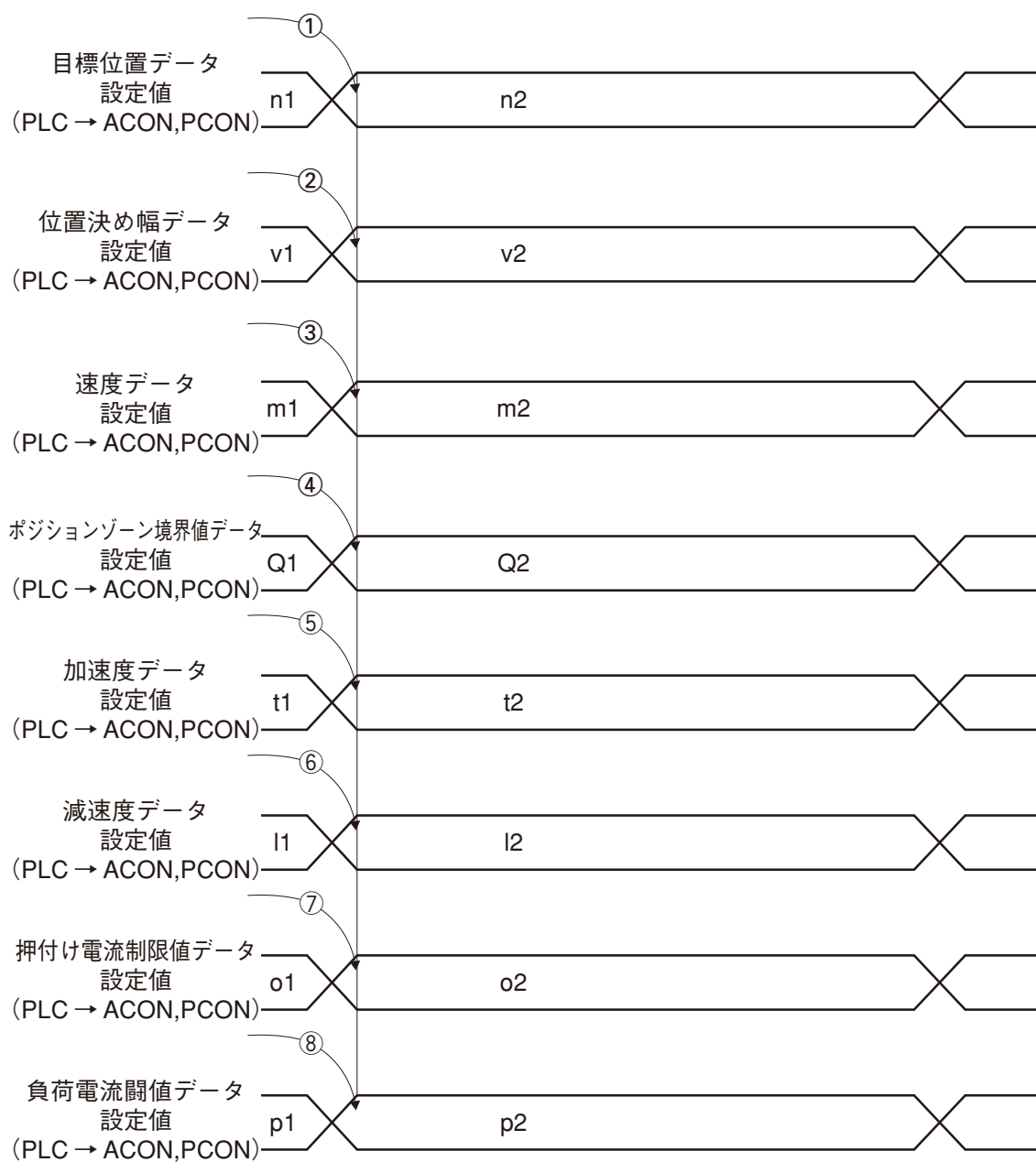
●動作例（押付け動作）

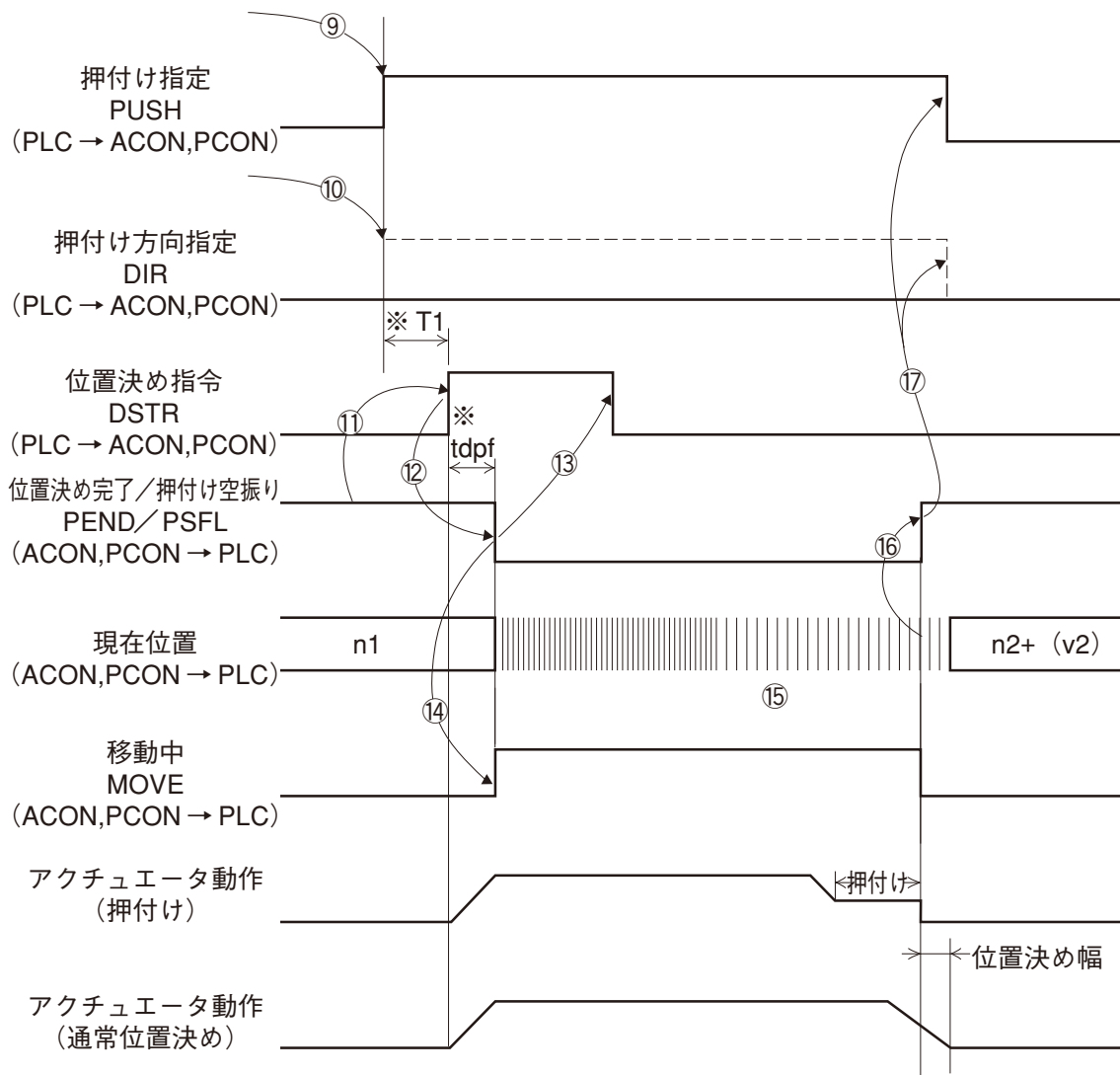
- ①目標位置データを目標位置レジスタに設定します。
- ②位置決め幅データを位置決め幅レジスタに設定します。
- ③速度データを速度レジスタに設定します。
- ④ポジションゾーン出力の境界値データをゾーン境界値+レジスタ、ゾーン境界値-レジスタに設定します。
- ⑤加速度データを加速度レジスタに設定します。
- ⑥減速度データを減速度レジスタに設定します。
- ⑦押付け電流制限値データを押付け電流制限値レジスタに設定します。
- ⑧負荷電流閾値データを負荷電流閾値指定レジスタに設定します。
- ⑨押付け指定（PUSH）信号をONにします。
- ⑩押付け方向指定（DIR）信号で押付け方向を指定します。（3.7.7（22）参照）
- ⑪位置決め完了（PEND）信号がONになっているまたは、移動中信号（MOVE）がOFFの状態、位置決め指令（DSTR）信号をONにします。
①～⑧で設定したデータはDSTR信号の立上りエッジでコントローラに読み込まれます。
- ⑫DSTR信号がONになった後、tpdf後にPENDがOFFします。
- ⑬PEND信号がOFFまたはMOVE信号がONになったことを確認してからDSTR信号をOFFにします。各レジスタの値はDSTR信号をOFFにするまで変更しないでください。
- ⑭PEND信号がOFFになると同時にMOVE信号がONになります。
- ⑮現在位置データは常時更新されています。
- ⑯PEND信号はDSTR信号がOFFで、モータの電流が⑦で設定した電流制限値に達するとONになります。（押付け完了）
②で設定した位置決め幅に達しても、モータの電流が⑦で設定した電流制限値に到達しない場合は、押付け空振り（PSFL）信号がONになります。この場合、PEND信号はONになりません。（押付け空振り）
- ⑰PEND信号またはPSFL信号がONとなった後、PUSH信号をOFFにします。

●動作例（通常位置決め動作）

通常位置決め動作は、⑨の信号をOFFに設定します。

残移動量がポジションデータで設定された位置決め幅の範囲内になると、DSTR信号がOFFの場合にPEND信号がONになります。



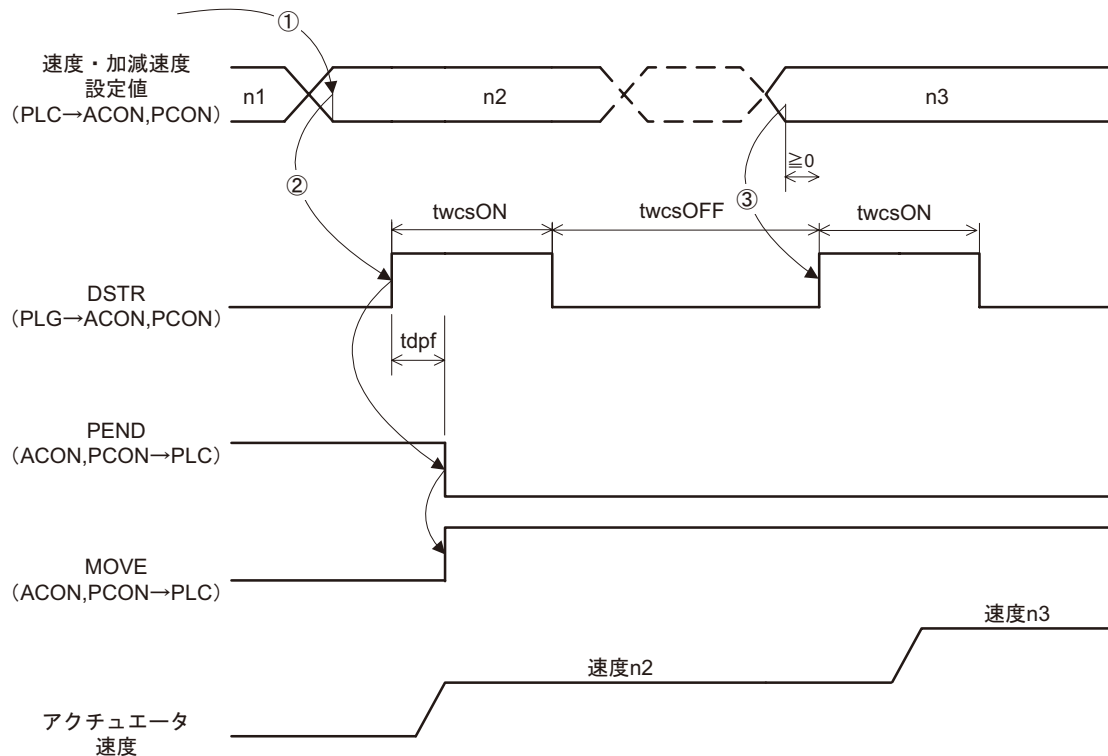


(4) 移動中のデータ変更

ハーフ直値モード、フル直値モードは移動中に目標位置データ、加減速データ、速度データ、位置決め幅、押付時電流制限値の中で出力データレジスタで設定している値を変更することが可能です。データ変更を行った後、位置決め指令（DSTR）をtdpf以上“ON”にします。

また、DSTRを“OFF”にした後、次のDSTRを“ON”にするまでの時間はtwcsON+twcsOFF以上開けていてください。


下図に速度・加減速度を変更した例を示します。



$$twcsON \geq Y_t + X_{t+2} \text{ (msec)}$$

$$twcsOFF \geq Y_t + X_t + 2 \text{ (msec)}$$

$$\text{※} Y_t + X_t \leq t_{pdf} \leq Y_t + X_t + 2 \text{ (msec)}$$

-  注意：1. 速度の設定がされていない場合、または設定が0の場合は停止したままとなり、アラームにはなりません。
2. 移動中に、速度設定を0に変更した場合は減速停止し、アラームにはなりません。
3. 移動中に、加減速度／速度データだけを変更する場合でも目標位置データの設定が必要です。
4. 移動中に、目標位置だけを変更する場合でも、加減速度・速度データの設定が必要です。

3.10 CC-Link 関連パラメータ

CC-Linkに関連するパラメータはNo.84～No.86およびNo.90です。

区分：C：外部インタフェースの関連

No.	区分	シンボル	名称	単位	工場出荷時の初期値
1			パラメータNo.1～No.83までは コントローラの取扱説明書をご 参照してください。		
2					
83					
84	C	FMOD	フィールドバス動作モード	—	0
85	C	NADR	フィールドバスノードアドレス	—	1
86	C	FBR5	フィールドバス通信速度	Mbps	0
87	C	NTYP	ネットワークタイプ	—	1
90	C	FMIO	フィールドバス入出力フォーマット	—	3

●フィールドバス動作モード（No.84 FMOD）

パラメータNo.84に動作モードを0～4で指定します。

パラメータNo.84 設定値	モード名	局情報および 占有局数	内容
0（出荷時設定）	リモート I/O モード	リモート デバイス局：1局	PIO（24V入出力）による運転をCC-Linkによって行います。
1	ポジション／ 簡易直値モード	リモート デバイス局：1局	目標位置を直接数値で指定するか、ポジションデータの値で運転できます。その他の運転に必要な値はポジションデータに設定します。
2	ハーフ直値モード	リモート デバイス局：2局	目標位置以外に速度、加減速度、押付け電流値を直接数値で指定して運転を行います。
3	フル直値モード	リモート デバイス局：4局	位置制御に関する全ての値を直接数値で指定して運転を行います。
4	リモート I/Oモード2	リモート デバイス局：1局	リモート I/Oモードの機能に現在位置と現在速度読取り機能を追加したものです。

●フィールドバスノードアドレス（No.85 NADR）

パラメータNo.85にリモート局の局番号を指定します。

設定範囲 1～64 （出荷時は1に設定されています。）

●フィールドバス通信速度（No.86 FBR5）

パラメータNo.86に通信速度を選択します。

パラメータNo.86 設定値	通信速度
0（出荷時設定）	156Kbps
1	625Kbps
2	2.5Mbps
3	5Mbps
4	10Mbps
上記以外	ボーレート設定エラー

●ネットワークタイプ (No.87 NTYP)

パラメータNo.87にネットワークモジュールの種別を指定します。初期値から変更しないでください。

●フィールドバス入出力フォーマット (No.90 FMIO)

PLC内のアドレスは、コントローラに設定した局番とPLCのパラメータで設定する占有局数に対応する入出力ビットレジスタおよび入出力データレジスタに16点（1ワード）単位で各動作モードの設定に従い割付けられます。

パラメータNo.90の設定を変更することによって、PLCの入出力ビットレジスタおよび入出力データレジスタとの通信域で2ワード内のデータをバイト単位で入替えて送受信することができます。

パラメータNo.90 設定値	内容
0	入替えは行いません。PLCにはそのまま送信されます。(例i参照)
1	上位ワードの上位バイトと下位バイトを入替え、また下位ワードの上位バイトと下位バイトを入替えます。(例ii参照)
2	ワードレジスタの場合、上位ワードと下位ワードを入替えます。(例iii参照)
3 (出荷時設定)	上位ワードの上位バイトと下位バイトを入替え、また下位ワードの上位バイトと下位バイトを入替えます。ワードレジスタの場合、さらに上位ワードと下位ワードを入替えます。 (例iv参照)

(例i) 設定値=“0”にした場合

●をON、○をOFFとします。

ACON、PCON 入力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

↑

PLC : RWwnn	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

ACON、PCON 出力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

↓

PLC : RWrmn	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

(例ii) 設定値= “1” にした場合

●をON、○をOFFとします。

ACON、 PCON 入力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	3				4				1				2				C				D				A				B			

PLC : RWwnn	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

ACON、 PCON 出力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	3				4				1				2				C				D				A				B			

PLC : RWmnn	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

(例iii) 設定値= “2” にした場合

●をON、○をOFFとします。

ACON、 PCON 入力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	
ON/OFF	●	○	●	○	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○
16進 データ	A				B				C				D				1				2				3				4				
PLC : RWwnn	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●	○	●	○	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D				

ACON、 PCON 出力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	
ON/OFF	●	○	●	○	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○
16進 データ	A				B				C				D				1				2				3				4				

PLC : RWmn	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●	○	●	○	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

(例iv) 設定値= “3” にした場合

●をON、○をOFFとします。

ACON、 PCON 入力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	●	●	○	○	●	●	○	●	●	○	●	○	●	○	●	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	C				D				A				B				3				4				1				2			

PLC : RWmn	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

ACON、 PCON 出力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	●	●	○	○	●	●	○	●	●	○	●	○	●	○	●	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	C				D				A				B				3				4				1				2			

PLC : RWmn	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

3.11 トラブルシューティング

3.11.1 ステータス LED の表示

ステータスLED（STATUS0／1）点灯パターンでCC-Linkボードの動作状態やネットワークの状態を示します。

トラブルが発生した場合にはステータスLEDの点灯パターンで現在の状態を確認します。

以下にステータスLEDの点灯パターンによる通信状態表示を示します。

○：点灯 ●：消灯 ◎：点滅

STATUS1	STATUS0	状態
○	○	ありえない状態
○	●	・エラー発生（CRCエラーまたは局番設定エラーまたは通信速度設定エラー） ・電源投入またはソフトウェアリセットからCC-Link初期化終了までの間
●	○	正常交信状態
●	●	電源断、リモート局電源部故障または通信ケーブル断線
◎	○	ありえない状態
◎	●	通信中に局番設定または通信速度設定が変化した

3.11.2 アラーム内容と原因・対策

アラーム発生時、リモート I/O モード、リモート I/O モード2では完了ポジション No.（PM1～PM8の4ビット）が簡易アラームコードを示します。

ポジション／簡易直値モードではRWr2に簡易アラームコードが出力されます。

ハーフ直値モード、フル直値モードではRWr6にアラームコードが出力されます。

- ①PLCのモニタ機能等でアラームコードを確認するか、RC用パソコン対応ソフトまたはティーチングボックスを接続してステータスマニタで確認してください。
- ②読み取ったアラームコードからコントローラの取扱説明書のアラーム内容一覧を検索します。
- ③該当のアラームコードの記述に従い対処してください。

次のアラームコードについては下表に従い対処してください。

コード	エラー名称	ID (※)	RES (※2)	原因／対策
0F2	フィールドバスモジュール異常	05	×	原因：フィールドバスモジュールの異常が検出された 対策：パラメータを確認してください。
0F3	フィールドバスモジュール未検出エラー	04	×	原因：モジュールが検出できなかった場合 対策：電源を再投入してください。解消されない場合は弊社までご連絡ください。

(※1) ID→簡易アラームコード

(※2) RES→アラームリセット可／不可 ○：アラームリセット可／×：アラームリセット不可

3.12 CE マーキング

CE マーキングの対応が必要な場合は、別冊の海外規格対応マニュアル (MJ0287) に従ってください。

4. SCON-CA

4.1 動作モードと機能

CC-Link 対応の SCON-CA は次の 9 つの動作モードから選択して運転することができます。
※マスタ局の局情報は ver.1 リモートデバイス局 に設定してください。

動作モードと主要機能

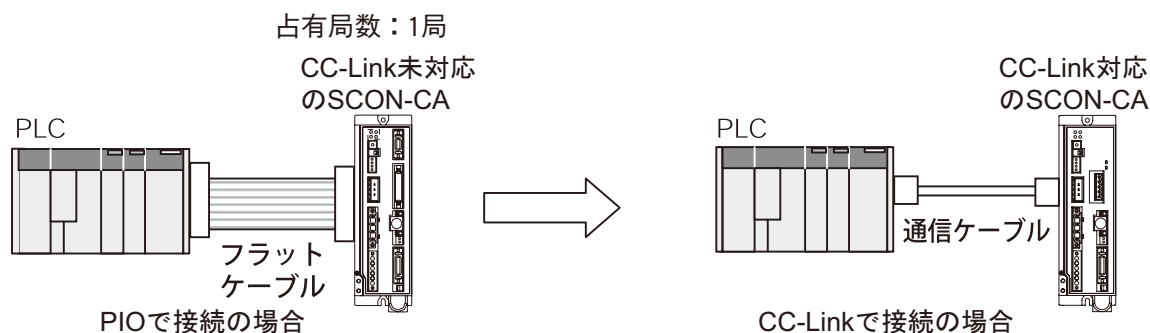
主要機能	リモート I/O モード ^(注3)	ポジション/ 簡易直値 モード	ハーフ直値 モード	フル直値 モード	リモート I/O モード2	ポジション/ 簡易直値 モード2	ハーフ 直値 モード2	リモート I/O モード3	ハーフ 直値 モード3
占有局数	1局	1局	2局	4局	1局	1局	2局	1局	2局
位置データ 指定運転	×	○ ^(注1)	○	○	×	○ ^(注1)	○	×	○
速度・加速度 直接指定	×	×	○	○	×	×	○	×	○
押付け動作	○	○	○	○	○	○	○	○	○
現在位置読取り	×	○	○	○	○	○	○	○	○
現在速度読取り	×	×	○	○	×	×	○	×	○
ポジション No. 指定運転	○	○	×	×	○	○	×	○	×
完了ポジション No. 読取り	○	○	×	×	○	○	×	○	×
接続可能軸数	64	64	—	—	64	64	—	64	—
最大ポジション テーブル数	512	768	使用しない	使用しない	512	768	使用しない	512	使用しない
力制御	△ ^(注2)	×	×	○	△ ^(注2)	○	○	○	×
制振制御	○	○	×	○	○	○	×	○	○
サーボゲイン切替	○	○	○	○	○	○	×	○	○

(注1) 位置データ以外のポジションデータはポジション No. を指定して運転を行います。

(注2) PIO パターンを 6 または 7 に設定した時に使用できます。

(注3) SCON-C のリモート I/O モードとは互換できません。(SCON-C: リモート I/O 局、SCON-CA: リモートデバイス局)

①リモート I/Oモード： PIO (24V入出力) による運転をCC-Linkによって行う方式です。



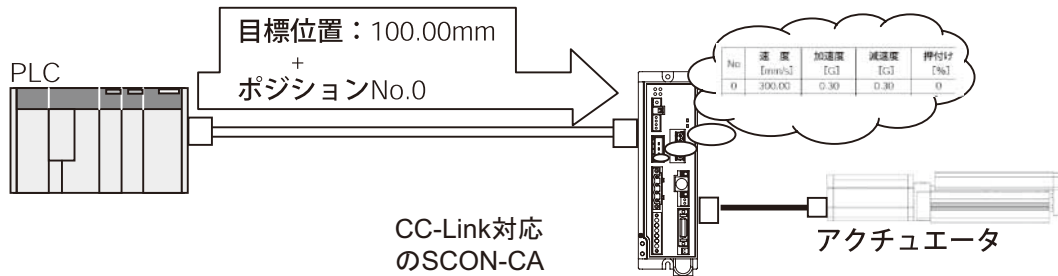
⚠ 注意：SCON-C のリモート I/O モードと互換性はありません。
(SCON-C：リモート I/O 局、SCON-CA：リモートデバイス局)

②ポジション／簡易直値モード：ポジションNo.を指定して運転する方式です。

制御信号の切換えで目標位置を直接数値で指定するか、ポジションデータに登録した値を使用するか選択できます。

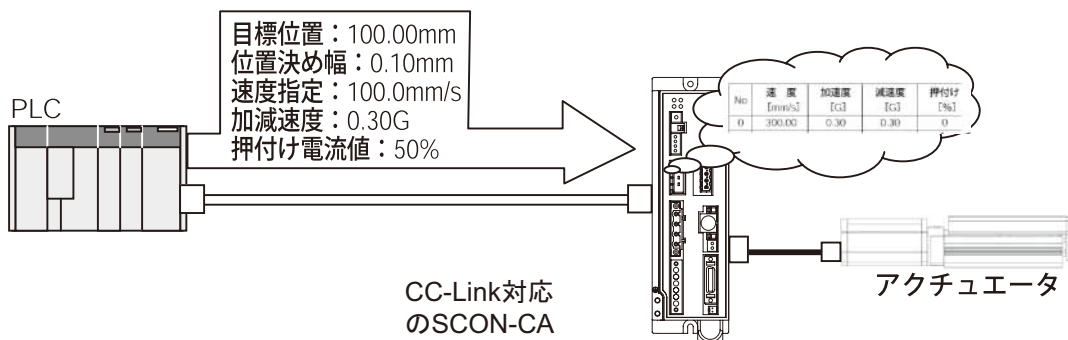
速度、加減速度、位置決め幅等はあらかじめ登録したポジションデータの値を使用します。設定可能なポジションデータの数は最大768点です。

占有局数：1局



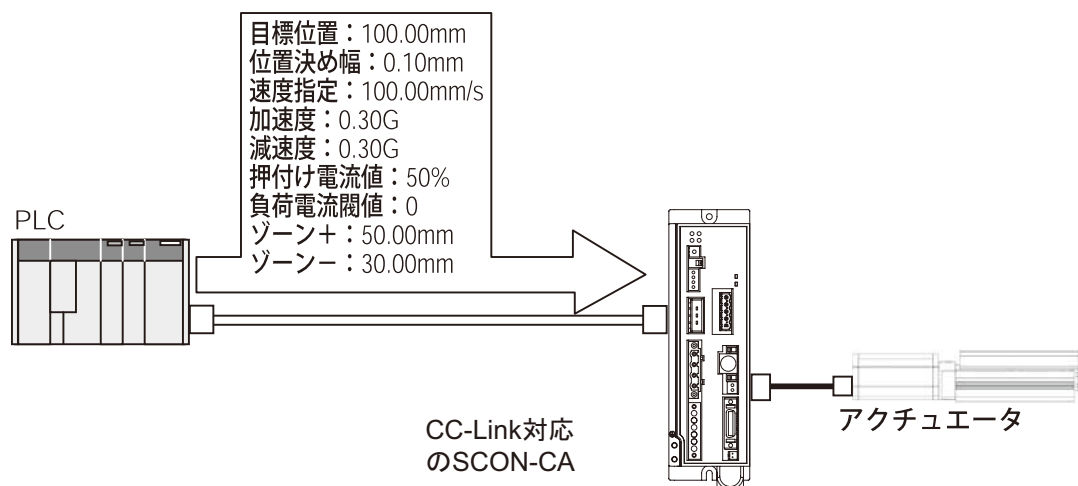
③ハーフ直値モード：目標位置以外に速度、加減速度、押付電流値を直接数値で指定する運転方式です。

占有局数：2局



- ④フル直値モード：位置制御に関する全ての値（目標位置、速度、加減速度等）を直接数値で指定する運転方式です。

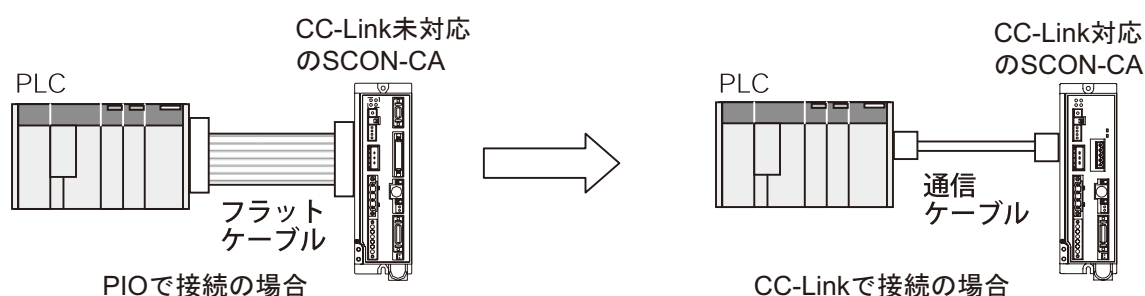
占有局数：4局



- ⑤リモート I/Oモード2：PIO（24V入出力）による運転をCC-Linkによって行う方式です。

①の機能に現在位置と指令電流値読取り機能を追加したものです。

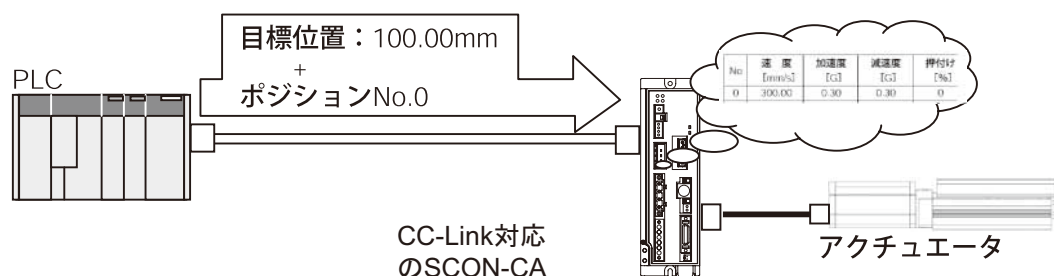
占有局数：1局



- ⑥ポジション／簡易直値モード2：ポジション No. を指定して運転する方式です。

②の教示、ゾーン機能の代わりに、力制御機能を搭載したモードです。

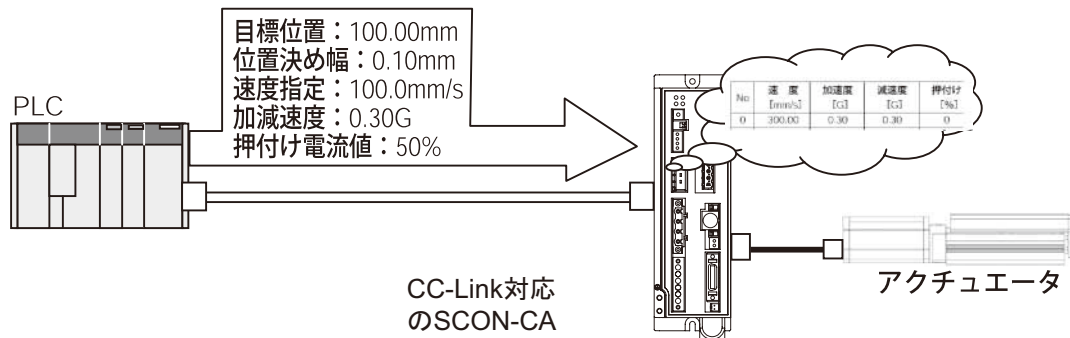
占有局数：1局



⑦ハーフ直直モード2：目標位置以外に速度、加減速度、押付電流値を直接数値で指定する運転方式です。

③の機能である指令電流読取りの代わりに、ロードセルデータの読取りを行います。また力制御機能に対応しています。

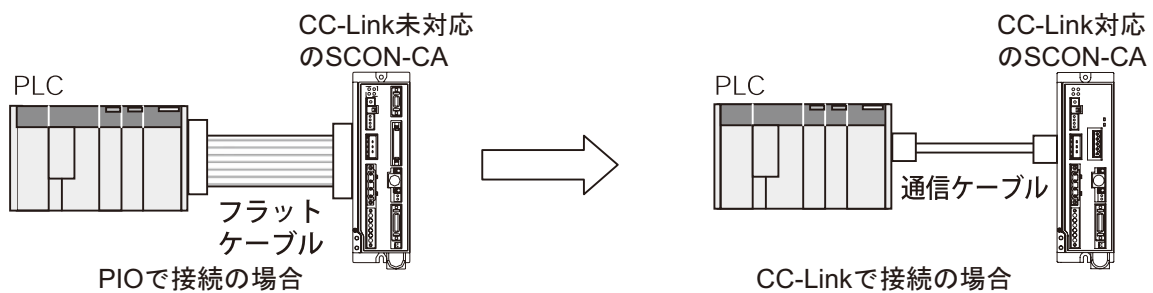
占有局数：2局



⑧リモート I /O モード3：PIO（24V 入出力）による運転を CC-Link 通信によって行う方式です。

①の機能に現在位置とロードセルデータの読取り機能を追加したモードです。

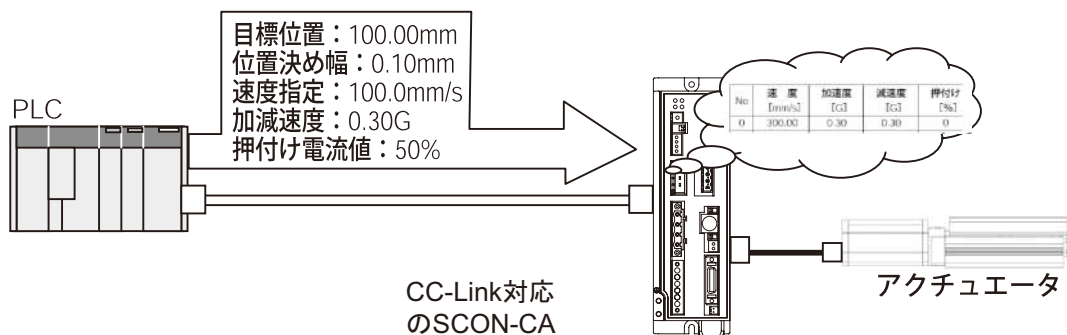
占有局数：1局



⑨ハーフ直直モード3：目標位置以外に速度、加減速度、押付電流値を直接数値で指定する運転方式です。

③のジョグ機能の代わりに、制振制御機能に対応したモードです。

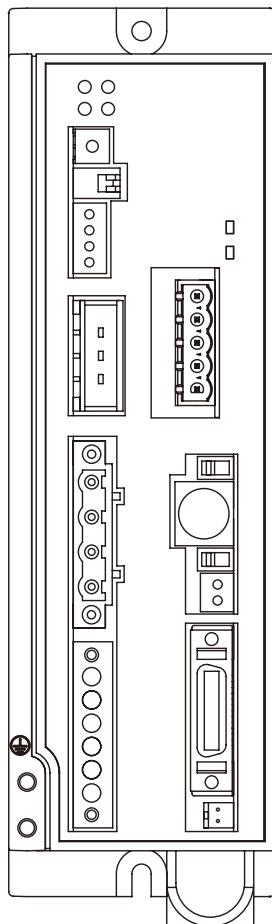
占有局数：2局



4.2 型式

CC-Link 対応の SCON-CA の型式は以下のように表されています。

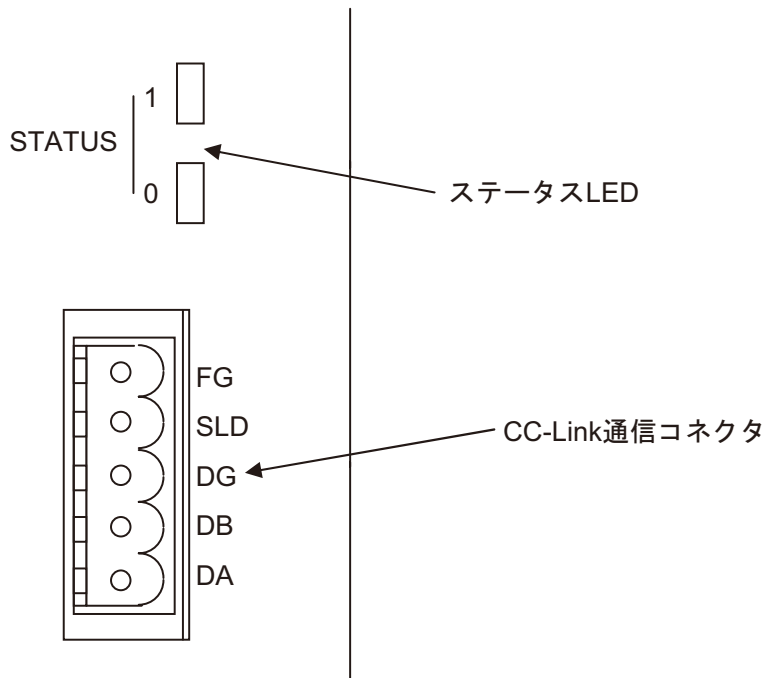
● SCON-CA- □ -CC- □



4.3 CC-Link インタフェース

(1) 各部の名称

CC-Linkに関連する各部の名称を示します。



(2) ステータスLEDの表示

コントローラ前面に設けられた2つのLEDによってボードの動作状態やネットワークの状態を知ることができます。

LED	色	表示状態	表示内容（表示の意味）
STATUS 1	橙	点灯	・ エラー発生 （CRCエラー、局番設定（パラメータ）エラー、ボーレート設定（パラメータ）エラー） ・ 電源投入またはソフトウェアリセットからCC-Link初期化終了までの間
		消灯	・ 正常通信中
		点滅	・ 通信中に局番設定または通信速度設定が変化した
STATUS 0	緑	点灯	・ 通信中
		消灯	・ 通信していない場合

4.4 動作モードの選択（設定）

動作モードはパラメータで設定します。

コントローラ前面のモード切替 SW を MANU 側にし、RC 用パソコン対応ソフト (V8.00.00.00 以降) でパラメータ No.84 “FMODE：フィールドバス動作モード” を設定してください。(4.10 CC-Link 関連パラメータ参照)

設定値	動作モード	占有局数
0 (出荷時設定)	リモート I /O モード	1 局
1	ポジション / 簡易直値モード	1 局
2	ハーフ直値モード	2 局
3	フル直値モード	4 局
4	リモート I /O モード 2	1 局
5	ポジション / 簡易直値モード 2	1 局
6	ハーフ直値モード 2	2 局
7	リモート I /O モード 3	1 局
8	ハーフ直値モード 3	2 局

※これ以外の値を入力すると入力値過大エラーとなります。

(注) マスタ局の局情報は ver.1 リモートデバイス局に設定してください。

4.5 局番の設定

局番はパラメータで設定します。

RC用パソコン対応ソフトでパラメータNo.85 “NADR：フィールドバスノードアドレス” を設定してください。

(4.10 CC-Link 関連パラメータ参照)

設定可能範囲：1～64（出荷時は1に設定されています。）

(注) PLCのCC-Link先頭入出力アドレスは、マスタユニットの装着位置とその前に装着されているユニットの入出力占有点数により決まります。

この先頭入出力アドレスに続けて局番号順にPLC内の入出力アドレスが割り付けられます。

なお、局番設定とPLC内の入出力アドレス設定の詳細はマスタユニットおよび搭載されるPLCの取扱説明書をご参照ください。

4.6 通信速度の設定

通信速度はパラメータで設定します。

PC用パソコン対応ソフトでパラメータNo.86 “FBRS：フィールドバス通信速度”を設定してください。

(4.10 CC-Link 関連パラメータ参照)

設定値	通信速度
0 (出荷時設定)	156kbps
1	625kbps
2	2.5Mbps
3	5Mbps
4	10Mbps

※これ以外の値を入力すると入力値過大エラーとなります。

(注) パラメータの設定後はコントローラの電源再投入を行い、コントローラ前面のモード切替SWをAUTO側に戻してください。

MANU側のままの場合PLCによる運転はできません。

4.7 マスタ局との通信

リモートデバイス局は、1局あたりリモート I/O 点数各2ワードとリモート入出力データレジスタ各4ワードで構成されています。

マスタ局の局情報には動作モードで定められた局数を局No.毎に設定してください。

4.7.1 各動作モードと PLC アドレスの対応

各動作モードのアドレス割付を次に示します。

・PLC 出力→SCON-CA の入力（※ n は各軸の先頭レジスタアドレスです。）

PLC アドレス	SCON-CA の DI および入力データレジスタ				
	リモート I /O モード	ポジション / 簡易直値モード	ハーフ直値 モード	フル直値 モード	リモート I /O モード 2
	占有局数 : 1 局	占有局数 : 1 局	占有局数 : 2 局	占有局数 : 4 局	占有局数 : 1 局
RYn0 ~ nF	ポート番号 0 ~ 15	占有領域	占有領域	占有領域	ポート番号 0 ~ 15
RY (n+1)0 ~ (n+1) F	システム領域	システム領域			システム領域
RY (n+2)0 ~ (n+2) F					システム領域
RY (n+3)0 ~ (n+3) F					
RY (n+4)0 ~ (n+4) F					
RY (n+5)0 ~ (n+5) F					
RY (n+6)0 ~ (n+6) F					
RY (n+7)0 ~ (n+7) F					
RWw(n+0)	占有領域	目標位置	目標位置	目標位置	占有領域
RWw(n+1)		指定ポジション No.	位置決め幅	位置決め幅	
RWw(n+2)					
RWw(n+3)		制御信号			
RWw(n+4)			速度	速度	
RWw(n+5)			加減速度		
RWw(n+6)			押付け電流制限値	ゾーン境界値 +	
RWw(n+7)			制御信号		
RWw(n+8)				ゾーン境界値 -	
RWw(n+9)					
Rww(n+A)				加速度	
RWw(n+B)				減速度	
RWw(n+C)				押付け電流制限値	
RWw(n+D)				負荷電流閾値	
Rww(n+E)				制御信号 1	
RWw(n+F)				制御信号 2	

(注) **占有領域** はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

・ PLC 出力→ SCON-CA の入力（※ n は各軸の先頭レジスタアドレスです。）

PLC アドレス	SCON-CA の DI および入力データレジスタ						
	ポジション / 簡易直値モード 2	ハーフ直値 モード 2	リモート I /O モード 3	ハーフ直値 モード 3			
	占有局数 : 1 局	占有局数 : 2 局	占有局数 : 1 局	占有局数 : 2 局			
RYn0 ~ nF	占有領域	占有領域	ポート番号 0 ~ 15	占有領域			
RY (n+1) 0 ~ (n+1) F	システム領域		システム領域				
RY (n+2) 0 ~ (n+2) F							
RY (n+3) 0 ~ (n+3) F						システム領域	システム領域
RY (n+4) 0 ~ (n+4) F							
RY (n+5) 0 ~ (n+5) F							
RY (n+6) 0 ~ (n+6) F							
RY (n+7) 0 ~ (n+7) F							
RWw (n+0)	目標位置	目標位置	占有領域	目標位置			
RWw (n+1)	指定ポジション No.	位置決め幅		位置決め幅			
RWw (n+2)							
RWw (n+3)	制御信号						
RWw (n+4)		速度		速度			
RWw (n+5)		加減速度		加減速度			
RWw (n+6)		押付け電流制限値		押付け電流制限値			
RWw (n+7)		制御信号		制御信号			
RWw (n+8)							
RWw (n+9)							
Rww (n+A)							
RWw (n+B)							
RWw (n+C)							
RWw (n+D)							
Rww (n+E)							
RWw (n+F)							

（注）占有領域 はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

・ SCON-CA 出力→ PLC 入力側（※ n は各軸の先頭レジスタアドレスです。）

PLC アドレス	SCON-CA の DI および入力データレジスタ					
	リモート I /O モード	ポジション / 簡易直値モード	ハーフ直値 モード	フル直値 モード	リモート I /O モード 2	
	占有局数 :1 局	占有局数 :1 局	占有局数 :2 局	占有局数 :4 局	占有局数 :1 局	
RYn0 ~ nF	ポート番号 0 ~ 15	占有領域	占有領域	占有領域	ポート番号 0 ~ 15	
RY (n+1)0 ~ (n+1) F	システム領域	システム領域			システム領域	
RY (n+2)0 ~ (n+2) F					システム領域	
RY (n+3)0 ~ (n+3) F						
RY (n+4)0 ~ (n+4) F						
RY (n+5)0 ~ (n+5) F						
RY (n+6)0 ~ (n+6) F						
RY (n+7)0 ~ (n+7) F						
RWw(n+0)	占有領域	現在位置	現在位置	現在位置	現在位置	
RWw(n+1)		完了ポジション No. (簡易アラーム ID)	指令電流	指令電流	指令電流	
RWw(n+2)						
RWw(n+3)		状態信号				
RWw(n+4)			現在速度	現在速度		
RWw(n+5)			アラームコード	アラームコード		
RWw(n+6)				占有領域		
RWw(n+7)				カフィード バックデータ		
RWw(n+8)				占有領域		
RWw(n+9)						
Rww(n+A)						
RWw(n+B)						
RWw(n+C)						
RWw(n+D)						
Rww(n+E)				状態信号 1		
RWw(n+F)				状態信号 2		

(注) 占有領域 はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

・ SCON-CA 側出力→ PLC 入力側（※ n は各軸の先頭レジスタアドレスです。）

PLC アドレス	SCON-CA 側 DO および出力データレジスタ						
	ポジション / 簡易直値モード 2	ハーフ直値 モード 3	リモート I /O モード 2	ハーフ直値 モード 3			
	占有局数 : 1 局	占有局数 : 2 局	占有局数 : 1 局	占有局数 : 2 局			
RYn0 ~ nF	占有領域	占有領域	ポート番号 0 ~ 15	占有領域			
RY (n+1) 0 ~ (n+1) F	システム領域		システム領域				
RY (n+2) 0 ~ (n+2) F							
RY (n+3) 0 ~ (n+3) F						システム領域	システム領域
RY (n+4) 0 ~ (n+4) F							
RY (n+5) 0 ~ (n+5) F							
RY (n+6) 0 ~ (n+6) F							
RY (n+7) 0 ~ (n+7) F							
RWw (n+0)	現在位置	現在位置	現在位置	現在位置			
RWw (n+1)							
RWw (n+2)	完了ポジション No. (簡易アラーム ID)	カフィード バックデータ	カフィード バックデータ	指令電流			
RWw (n+3)	状態信号	現在速度 アラームコード 状態信号		現在速度 アラームコード 状態信号			
RWw (n+4)							
RWw (n+5)							
RWw (n+6)							
RWw (n+7)							
RWw (n+8)							
RWw (n+9)							
Rww (n+A)							
RWw (n+B)							
RWw (n+C)							
RWw (n+D)							
Rww (n+E)							
RWw (n+F)							

(注) 占有領域 はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

4.7.2 リモート I / O モード（リモートデバイス局：占有局数 1 局）

PIO（24V 入出力）を使用した場合と同様にポジション No. を指定して運転するモードです。
RC 用パソコン対応ソフトなどのティーチングツールからポジションデータを設定してください。
運転可能なポジション数は、パラメータ No.25 “PIO パターン” の設定によります。
以下に各 PIO パターンの I / O 仕様を示します。（詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照）

パラメータ No.25 の設定値	動作モード	I / O 仕様
0	位置決めモード	位置決め点数 64 点、ゾーン出力 2 点
1	教示モード	位置決め点数 64 点、ゾーン出力 1 点 位置決めおよびジョグ運転が可能 現在位置を指定ポジションに書込み可能
2	256 点モード	位置決め点数 256 点、ゾーン出力 1 点
3	512 点モード	位置決め点数 512 点、ゾーン出力無し
4	電磁弁モード 1	位置決め点数 7 点、ゾーン出力 2 点 ポジション No. 毎の直接運転指令が可能 位置決め完了信号はポジション No. 毎に出力
5	電磁弁モード 2	位置決め点数 3 点、ゾーン出力 2 点 前進／後退／中間位置指令により運転 位置決め完了信号は前進端／後退端／中間位置の個別出力
6	力制御モード 1 (専用ロードセル使用)	位置決め点数 32 点、ゾーン出力 1 点
7	力制御モード 2 (専用ロードセル使用)	位置決め点数 5 点、ゾーン出力 1 点 ポジション No. 毎の直接運転指令が可能 位置決め完了信号はポジション No. 毎に出力

本モードで制御可能なアクチュエータの有効な主要機能は次の表の通りです。

アクチュエータ の機能	PIO パターン							
	0 : 位置決め モード	1 : 教示 モード	2 : 256 点 モード	3 : 512 点 モード	4 : 電磁弁 モード 1	5 : 電磁弁 モード 2	6 : 力制御 モード 1	7 : 力制御 モード 2
原点復帰動作	○	○	○	○	○	×	○	○
位置決め動作	○	○	○	○	○	○	○	○
速度・加減速度設定	○	○	○	○	○	○	○	○
ピッチ送り(インテグ)	○	○	○	○	○	○	○	○
押付け動作	○	○	○	○	○	×	○	○
移動中の速度変更	○	○	○	○	×	○	○	×
異なった加速度、 減速度での動作	○	○	○	○	○	○	○	○
一時停止	○	○	○	○	○	○ (※ 1)	○	○
ゾーン信号出力	○	○	○	×	○	○	○	○
PIO パターン選択 (パラメータで設定)	○	○	○	○	○	○	○	○

○：動作可、×：動作不可

(※ 1) パラメータ No.27 “移動指令種別” を 0 に設定した場合に可能です。
移動指令を OFF にすることによって一時停止が可能です。

(1) PLCアドレス構成（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

パラメータ No.84	SCON-CA 側 DI（ポート番号）	PLC側	SCON-CA 側 DO（ポート番号）	PLC側
0	0～15	RY n0～nF	0～15	RX n0～nF
	システム領域	RY (n+1) 0～(n+1) F	システム領域	RX (n+1) 0～(n+1) F
	占有領域	RWw (n+0)	占有領域	RWr (n+0)
		RWw (n+1)		RWr (n+1)
		RWw (n+2)		RWr (n+2)
		RWw (n+3)		RWr (n+3)

（注）**占有領域** はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力ビットレジスタ各1ワードで構成されます。

●入出力ビットレジスタはビット単位のON/OFF信号で制御します。

PLC出力（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

アドレス	1ワード=16ビット															
RY (n+0)	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 入力ポート 番号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

PLC入力（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

アドレス	1ワード=16ビット															
RX (n+0)	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 出力ポート 番号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

(3) 入出力信号割付

パラメータNo.25の設定によりコントローラの入出力ポートの信号内容が変わります。

(詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)

		パラメータNo.25の設定					
		位置決めモード		教示モード		256点モード	
		0		1		2	
区分	ポート番号	信号名称	記号	信号名称	記号	信号名称	記号
PLC 出力→ SCON-CA 入力	0	指令ポジション No.	PC1	指令ポジション No.	PC1	指令ポジション No.	PC1
	1		PC2		PC2		PC2
	2		PC4		PC4		PC4
	3		PC8		PC8		PC8
	4		PC16		PC16		PC16
	5		PC32		PC32		PC32
	6	使用できません	—	教示モード指令	MODE	使用できません	PC64
	7		—	ジョグ/イン칭ング切替	JISL		PC128
	8		—	＋ジョグ	JOG＋		—
	9	ブレーキ強制解除	BKRL	－ジョグ	JOG－	ブレーキ強制解除	BKRL
	10	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD
	11	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME
	12	一時停止	*STP	一時停止	*STP	一時停止	*STP
	13	位置決めスタート	CSTR	位置決めスタート/ ポジションデータ 取込み指令	CSTR/ PWRT	位置決めスタート	CSTR
	14	リセット	RES	リセット	RES	リセット	RES
	15	サーボON指令	SON	サーボON指令	SON	サーボON指令	SON
SCON-CA 出力→ PLC 入力	0	完了ポジション No.	PM1	完了ポジション No.	PM1	完了ポジション No.	PM1
	1		PM2		PM2		PM2
	2		PM4		PM4		PM4
	3		PM8		PM8		PM8
	4		PM16		PM16		PM16
	5		PM32		PM32		PM32
	6	移動中信号	MOVE	移動中信号	MOVE		PM64
	7	ゾーン1	ZONE1	教示モード信号	MODES		PM128
	8	ポジションゾーン	PZONE	ポジションゾーン	PZONE		PZONE
	9	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS
	10	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND
	11	位置決め完了信号	PEND	位置決め完了信号/ ポジションデータ 取込み完了	PEND/ WEND	位置決め完了信号	PEND
	12	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV
	13	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS
	14	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM
	15	バッテリーアラーム	*BALM	バッテリーアラーム	*BALM	バッテリーアラーム	*BALM

*は正常時ON信号です。

“使用できません”と表記されている信号は制御していません。(ON/OFFは不定です)

		パラメータNo.25の設定					
		512点モード		電磁弁モード1		電磁弁モード2	
		3		4		5	
区分	ポート番号	信号名称	記号	信号名称	記号	信号名称	記号
PLC 出力→ SCON-CA 入力	0	指令ポジション No.	PC1	スタートポジション0	ST0	スタートポジション0	ST0
	1		PC2	スタートポジション1	ST1	スタートポジション1	ST1
	2		PC4	スタートポジション2	ST2	スタートポジション2	ST2
	3		PC8	スタートポジション3	ST3	使用できません	—
	4		PC16	スタートポジション4	ST4		—
	5		PC32	スタートポジション5	ST5		—
	6		PC64	スタートポジション6	ST6		—
	7		PC128	使用できません	—		—
	8		PC256		—		—
	9	ブレーキ強制解除	BKRL	ブレーキ強制解除	BKRL	ブレーキ強制解除	BKRL
	10	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD
	11	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME	使用できません	—
	12	一時停止	*STP	一時停止	*STP		—
	13	位置決めスタート	CSTR	使用できません	—		—
	14	リセット	RES	リセット	RES	リセット	RES
	15	サーボON指令	SON	サーボON指令	SON	サーボON指令	SON
SCON-CA 出力→ PLC 入力	0	完了ポジション No.	PM1	ポジション完了0	PE0	後退端移動指令0	LS0
	1		PM2	ポジション完了1	PE1	後退端移動指令1	LS1
	2		PM4	ポジション完了2	PE2	後退端移動指令2	LS2
	3		PM8	ポジション完了3	PE3	使用できません	—
	4		PM16	ポジション完了4	PE4		—
	5		PM32	ポジション完了5	PE5		—
	6		PM64	ポジション完了6	PE6		—
	7		PM128	ゾーン1	ZONE1	ゾーン1	ZONE1
	8		PM256	ポジションゾーン	PZONE	ポジションゾーン	PZONE
	9	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS
	10	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND
	11	位置決め完了信号	PEND	位置決め完了信号	PEND	使用できません	—
	12	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV
	13	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS
	14	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM
	15	バッテリーアラーム	*BALM	バッテリーアラーム	*BALM	バッテリーアラーム	*BALM

*は正常時ON信号です。

“使用できません”と表記されている信号は制御していません。(ON/OFFは不定です)

		パラメータ No.25 の設定			
		力制御モード 1		力制御モード 2	
		6		7	
区分	ポート 番号	信号名称	記号	信号名称	記号
PLC 出力→ SCON-CA 入力	0	指令ポジション No.	PC1	スタートポジション 0	ST0
	1		PC2	スタートポジション 1	ST1
	2		PC4	スタートポジション 2	ST2
	3		PC8	スタートポジション 3	ST3
	4		PC16	スタートポジション 4	ST4
	5	使用できません	—	使用できません	—
	6		—		—
	7		—		—
	8	ロードセルキャリ ブレーション指令	CLBR	ロードセルキャリ ブレーション指令	CLBR
	9	ブレーキ強制解除	BKRL	ブレーキ強制解除	BKRL
	10	運転モード	RMOD	運転モード	RMOD
	11	原点復帰	HOME	原点復帰	HOME
	12	一時停止	*STD	一時停止	*STD
	13	位置決めスタート	CSTR	使用できません	—
	14	リセット	RES	リセット	RES
	15	サーボ ON 指令	SON	サーボ ON 指令	SON
SCON-CA 出力 →PLC 入力	0	完了ポジション No.	PM1	ポジション完了 0	PE0
	1		PM2	ポジション完了 1	PE1
	2		PM4	ポジション完了 2	PE2
	3		PM8	ポジション完了 3	PE3
	4		PM16	ポジション完了 4	PE4
	5	トルクレベルステータス	TRQS	トルクレベルステータス	TRQS
	6	負荷出力判定ステータス	LOAD	負荷出力判定ステータス	LOAD
	7	ロードセルキャリ ブレーション完了	CEND	ロードセルキャリ ブレーション完了	CEND
	8	ポジションゾーン	PZONE	ポジションゾーン	PZONE
	9	運転モード状態	RMDS	運転モード状態	RMDS
	10	原点復帰完了	HEND	原点復帰完了	HEND
	11	位置決め完了信号	PEND	位置決め完了信号	PEND
	12	運転準備完了	SV	運転準備完了	SV
	13	非常停止	*EMGS	非常停止	*EMGS
	14	アラーム	*ALM	アラーム	*ALM
	15	バッテリーアラーム	*BALM	バッテリーアラーム	*BALM

* は正常時 ON 信号です。

“使用できません” と表記されている信号は制御していません。(ON / OFF は不定です)

4.7.3 ポジション／簡易直値モード（リモートデバイス局：占有局数 1 局）

ポジション No. を指定して運転する方式です。制御信号（PMOD 信号）の切換えで目標位置を直接数値で指定するか、ポジションデータに登録した値を使用するか選択できます。

目標位置以外の速度、加減速度、位置決め幅等はコントローラ内のポジションテーブルの値が使用されます。コントローラ本体の取扱説明書を参照してポジションデータを設定してください。

設定可能なポジションデータの数最大 768 点です。

本モードで制御可能なアクチュエータの有効な主要機能は次の表の通りです。

アクチュエータの機能	○：直接制御 △：間接制御 ×：無効	備考
原点復帰動作	○	
位置決め動作	○	
速度・加減速度設定	△	ポジションデータの 設定が必要です。
ピッチ送り（イン칭ング）	△	
押付け動作	△	
移動中の速度変更	△	
異なった加速度、減速度での動作	△	
一時停止	○	
ゾーン信号出力	△	ゾーンの設定は ポジションデータ、または パラメータに行います。
PIO パターン選択	×	

(1) PLC アドレス構成（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

パラメータ No.84	SCON-CA 側 入力レジスタ	PLC 側	SCON-CA 側 出力レジスタ	PLC 側
1	占有領域	RY n0 ~ nF	占有領域	RXn0 ~ nF
	システム領域	RY (n + 1) 0 ~ (n + 1) F	システム領域	RX (n + 1) 0 ~ (n + 1) F
	目標位置	RWw (n + 0)	現在位置	RWr (n + 0)
		RWw (n + 1)		RWr (n + 1)
	指定ポジション No.	RWw (n + 2)	完了ポジション No. (簡易アラームコード)	RWr (n + 2)
	制御信号	RWw (n + 3)	状態信号	RWr (n + 3)

(注) **占有領域** はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力データレジスタ各 4 ワードで構成されます。

●制御信号および状態信号はビット単位の ON / OFF 信号です。

●目標位置および現在位置は 2 ワード (32 ビット) のバイナリデータで、PLC では - 999999 ~ + 999999 (単位 : 0.01mm) の数値が扱えますが、位置データは当該アクチュエータのソフトストロークの範囲内 (0 ~ 有効ストローク長) で設定してください。

●指定ポジション No. および完了ポジション No. は 1 ワード (16 ビット) のバイナリデータで、PLC では 0 ~ 767 までの数値が扱えますが、パソコンソフトなどのティーチングツールであらかじめ運転条件を設定したポジション No. を指定してください。

PLC出力

アドレス (※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。)

		1ワード=16ビット															
RWw (n+0)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (下位ワード)																	

RWw (n+1)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (上位ワード)																	

目標位置が負数の場合は、2の補数で表されます。

		1ワード=16ビット															
RWw (n+2)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指定ポジション No.								PC512	PC256	PC128	PC64	PC32	PC16	PC8	PC4	PC2	PC1

RWw (n+3)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号		BKRL	RMOD			PMOD	MODE	PWRT	JOG+	JOG-	JVEL	JISL	SON	RES	STP	HOME	CSTR

PLC入力

アドレス（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

	1ワード=16ビット															
RWr (n+0)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																

RWr (n+1)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

現在位置が負数の場合は、2の補数で表されます。

RWr (n+2)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
完了ポジション No.	—	—	—	—	—	—	PM512	PM256	PM128	PM64	PM32	PM16	PM8	PM4	PM2	PM1

RWr (n+3)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号	EMGS	PWR	ZONE1	ZONE2	PZONE	MODES	WEND	RMDS	BALM	—	PSFL	SV	ALM	MOVE	HEND	PEND

(3) 入出力信号割付 (※表中のONの表記は該当のビットが“1”を表し、OFFは“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 出 力	目標位置	32ビット データ	—	32ビット符号付整数 目標位置を絶対座標上の位置で指定してください。 単位は0.01mmで指定可能範囲は、－999999 ～999999となります。 (例) ＋25.40mmなら2540と指定します。 パラメータのソフトリミットの内側（0.2mm） を超えた値を入力するとソフトリミットの内 側（0.2mm）までの移動に制限されます。 ※16進数で入力する場合、負数は2の補数で 入力してください。	4.9 (1)
	指定 ポジション No.	16ビット データ	PC1～ PC512	16ビット整数 運転にはパソコン対応ソフトなどのティーチ ングツールであらかじめ運転条件を設定した ポジションデータが必要です。 本レジスタでデータを入力したポジション No. を指定してください。 指定可能範囲は0～767となります。 範囲外の値の指定、未設定のポジション No. の指定はスタート信号をONした際にア ラームとなります。	4.9 (1)
	制御信号	b15	BKRL	ブレーキ強制解除：ONでブレーキ解除	4.7.11 (18)
		b14	RMOD	運転モード：OFFでAUTOモード、ONでMANUモード	4.7.11 (19)
		b13	—	使用できません	—
		b12			
		b11	PMOD	ポジション／簡易直値切替： OFFでポジションモード、ONで簡易直値モード	4.7.11 (20)
		b10	MODE	教示モード指令： OFFで通常モード、ONで教示モード	4.7.11 (16)
		b9	PWRT	ポジションデータ取り込み指令： ONでポジションデータ取込み	4.7.11 (17)
		b8	JOG＋	＋ジョグ：ONで反原点方向移動	4.7.11 (13)
		b7	JOG－	－ジョグ：ONで原点方向移動	4.7.11 (13)
		b6	JVEL	ジョグ速度／イン칭ング距離切替え： OFFでパラメータNo.26 “ジョグ速度”、パ ラメータNo.48 “イン칭ング距離” ONでパラメータNo.47 “ジョグ速度2”、パラ メータNo.49 “イン칭ング距離2” の設定値を使用する。	4.7.11 (14)
		b5	JISL	ジョグ／イン칭ング切替え： OFFでジョグ動作、ONでイン칭ング動作	4.7.11 (15)
		b4	SON	サーボON指令：ONでサーボON	4.7.11 (5)
		b3	RES	リセット：ONでリセット実行	4.7.11 (4)
		b2	STP	一時停止：ONで一時停止指令	4.7.11 (11)
		b1	HOME	原点復帰：ONで原点復帰指令	4.7.11 (6)
		b0	CSTR	位置決めスタート：ONで移動指令	4.7.11 (7)

(※表中のONの表記は該当のビットが“1”を表し、OFFは“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 入 力	現在位置	32ビット	—	現在位置32ビット符号付整数 単位は0.01mmです。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023（10進数） =10.23mm ※16進数で読取する場合、負数は2の補数表示 となります。	4.9（1）
	完了 ポジション No. （簡易アラーム コード）	16ビット	PM1～ PM512	16ビット整数 目標位置まで移動し、位置決め幅内に入る位 置決め完了したポジション No. が出力されま す。 一度もポジション移動を行ってない場合及び 移動中は“0”が出力されます。 アラームが発生した場合（状態信号の ALM が ON の場合）には簡易アラームコード（コ ントローラ本体の取扱説明書参照）が出力さ れます。	4.9（1）
	状態記号	b15	EMGS	非常停止：ONで非常停止状態	4.7.11（2）
		b14	PWR	コントローラ準備完了：準備完了でON	4.7.11（1）
		b13	ZONE2	ゾーン2：現在位置がゾーン設定内にあるときON	4.7.11（12）
		b12	ZONE1	ゾーン1：現在位置がゾーン設定内にあるときON	4.7.11（12）
		b11	PZONE	ポジションゾーン： 現在位置がポジションゾーン設定内にあるときON	4.7.11（12）
		b10	MODES	教示モード信号：教示モード選択中でON	4.7.11（16）
		b9	WEND	ポジションデータ取込み完了：取込み完了でON	4.7.11（17）
		b8	RMDS	運転モード状態： 現在の状態がAUTOモードでOFF、MANUモードでON	4.7.11（19）
		b7	BALM	アブソリュートバッテリー電圧低下警告：電圧低下で ON	4.7.11（28）
		b6	—	使用できません	—
		b5	PSFL	押付け空振り：押付け動作空振りでON	4.7.11（23）
		b4	SV	運転準備完了：サーボONでON	4.7.11（5）
		b3	ALM	アラーム：アラーム発生でON	4.7.11（3）
		b2	MOVE	移動中信号：アクチュエータ移動中でON	4.7.11（9）
		b1	HEND	原点復帰完了：原点復帰完了でON	4.7.11（6）
		b0	PEND	位置決め完了信号：位置決め完了でON	4.7.11（10）

4.7.4 ハーフ直値モード（リモートデバイス局：占有局数2局）

PLC から目標位置、位置決め幅、速度、加減速度、押付電流値を直接数値で指定する運転方式です。入出力データレジスタに各値を設定してください。ゾーン機能を使用する場合にはパラメータ No.1,2,23,24 に設定してください。

本モードで制御可能なアクチュエータの有効な主要機能は次の表の通りです。

アクチュエータの機能	○：直接制御 △：間接制御 ×：無効	備考
原点復帰動作	○	
位置決め動作	○	
速度・加減速度設定	○	
ピッチ送り（イン칭ング）	○	
押付け動作	○	
移動中の速度変更	○	
異なった加速度、減速度での動作	×	
一時停止	○	
ゾーン信号出力	△	パラメータに設定が必要です。
PIO パターン選択	×	

(1) PLCアドレス構成（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

パラメータ No.84	SCON-CA 側 入力レジスタ	PLC 側	SCON-CA 側 出力レジスタ	PLC 側
2	占有領域	R _Y n0 ~ nF	占有領域	R _X n0 ~ nF
		R _Y (n+1) 0 ~ (n+1) F		R _X (n+1) 0 ~ (n+1) F
		R _Y (n+2) 0 ~ (n+2) F		R _X (n+2) 0 ~ (n+2) F
	システム領域	R _Y (n+3) 0 ~ (n+3) F	システム領域	R _X (n+3) 0 ~ (n+3) F
	目標位置	R _W w (n+0)	現在位置	R _W r (n+0)
		R _W w (n+1)		R _W r (n+1)
	位置決め幅	R _W w (n+2)	指令電流	R _W r (n+2)
		R _W w (n+3)		R _W r (n+3)
	速度	R _W w (n+4)	現在速度	R _W r (n+4)
	加減速度	R _W w (n+5)		R _W r (n+5)
	押付け電流制限値	R _W w (n+6)	アラームコード	R _W r (n+6)
	制御信号	R _W w (n+7)	状態信号	R _W r (n+7)

(注) **占有領域** はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

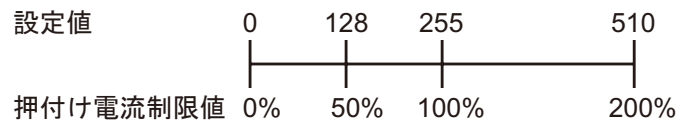
システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力データレジスタ各8ワードで構成されます。

- 制御信号および状態信号はビット単位のON/OFF信号です。
- 目標位置および現在位置は2ワード（32ビット）のバイナリデータで、PLCでは－999999～＋999999（単位：0.01mm）の数値が扱えますが、位置データは当該アクチュエータのソフトストロークの範囲内（0～有効ストローク長）で設定してください。
- 位置決め幅を設定してください。位置決め幅は2ワード（32ビット）のバイナリデータで、PLCでは1～＋999999（単位：0.01mm）の数値が扱えます。
- 指定速度は1ワード（16ビット）のバイナリデータで、PLCでは0～＋65535（単位：1.0mm/sec）の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大速度を超えない値に設定してください。
- 加減速度は1ワード（16ビット）のバイナリデータで、PLCでは1～300（単位：0.01G）の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大加速度および最大減速度を超えない値に設定してください。
- 押付け電流制限値は1ワード（16ビット）のバイナリデータで、PLCでは0（0%）～510（200%）の数値が扱えますが、当該アクチュエータの押付け電流制限値の指定可能範囲内（アクチュエータのカタログまたは取扱説明書参照）で設定してください。



- 指令電流は2ワード（32ビット）のバイナリデータ（単位：1mA）です。
- 現在速度は2ワード（32ビット）のバイナリデータ（単位：0.01mm/sec）です。
- アラームコードは1ワード（16ビット）のバイナリデータです。

PLC出力

アドレス（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

	1ワード=16ビット															
RWw (n+0)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (下位ワード)																
RWw (n+1)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (上位ワード)																
目標位置が負数の場合は、2の補数で表されます。																
RWw (n+2)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
RWw (n+3)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (上位ワード)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	524,288	262,144	131,072	65,536
RWw (n+4)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
速度	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
RWw (n+5)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
加減速度	—	—	—	—	—	—	—	256	128	64	32	16	8	4	2	1
RWw (n+6)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
押付け電流 制限値	—	—	—	—	—	—	—	256	128	64	32	16	8	4	2	1
RWw (n+7)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号	BKRL	RMOD	DIR	PUSH	GSL1	GSL0	—	JOG+	JOG—	JVEL	JISL	SON	RES	STP	HOME	DSTR

PLC入力

アドレス（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

		1ワード=16ビット															
RWr (n+0)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																	
RWr (n+1)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																	

現在位置が負数の場合は、2の補数で表されます。

RWr (n+2)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (下位ワード)		32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1
RWr (n+3)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (上位ワード)														524,288	262,144	131,072	65,536

RWr (n+4)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (下位ワード)																	
RWr (n+5)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (上位ワード)																	

現在速度が負数の場合は、2の補数で表されます。

RWr (n+6)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
アラーム コード																	
RWr (n+7)		b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号		EMGS	PWR	ZONE2	ZONE1				RMDS	BALM		PSFL	SV	ALM	MOVE	HEND	PEND

(3) 入出力信号割付 (※表中のONの表記は該当のビットが“1”を表し、OFFは“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 出力	目標位置	32ビットデータ	—	32ビット符号付整数 目標位置を絶対座標上の位置で指定してください。 単位は0.01mmで指定可能範囲は、－999999～999999となります。 (例) +25.41mmなら2541と指定します。 パラメータのソフトリミットの内側（0.2mm）を超えた値を入力するとソフトリミットの内側（0.2mm）までの移動に制限されます。 ※16進数で入力する場合、負数は2の補数で入力してください。	4.9（2）
	位置決め幅	32ビットデータ	—	32ビット整数 単位は0.01mmで指定可能範囲は1～999999です。 (例) 25.40mmなら2540と指定します。 本レジスタは動作種別により2種類の意味があります。 ①位置決め動作の場合、目標位置からどの程度の範囲で位置決め完了とみなすかの許容範囲となります。 ②押付け動作時は押付け幅の値となります。 通常動作か押付け動作かの指定は、制御信号のPUSHで設定してください。	4.9（2）
	速度	16ビットデータ	—	16ビット整数 移動時の速度を指定してください。 単位は1.0mm/secで指定可能範囲は、0～65535となります。 (例) 254.0mm/secなら254と指定します。 最大速度以上の値で移動指令を行うとアラームとなります。	4.9（2）
	加減速度	16ビットデータ	—	16ビット整数 移動時の加減速度を指定してください。（加速度と減速度は同じ値となります。） 単位は0.01Gで指定可能範囲は1～300です。 (例) 0.30Gなら30と指定します。 0または最大加速度、最大減速度を超えた値で移動指令を行うとアラームとなります。	4.9（2）

(※表中の ON の表記は該当のビットが “1” を表し、OFF は “0” を表します)

信号種別		ビット	記号	内容		詳細															
P L C 出力	押し付け電流制限値	16 ビットデータ	—	16 ビット整数 押し付け動作時電流制限を指定してください。 指定可能範囲は 0（0%）～ 510（200%）です。 各アクチュエータにより実際の指定可能範囲は異なります。（各アクチュエータのカタログまたは取扱説明書をご参照ください。） 最大押し付け電流値以上の値で移動指令を行うとアラームとなります。		4.9（2）															
	制御信号	b15	BKRL	ブレーキ強制解除：ON でブレーキ解除		4.7.11（18）															
		b14	RMOD	運 転 モード：OFF で AUTO モード、ON で MANU モード		4.7.11（19）															
		b13	DIR	押し付け方向指定： OFF で目標位置から位置決め幅を減算した位置方向 ON で目標位置に位置決め幅を加算した位置方向		4.7.11（22）															
		b12	PUSH	押し付け指定：OFF で位置決め動作、ON で押し付け動作		4.7.11（21）															
		b11	GSL1	サーボゲインパラメータセット選択 1	使用するサーボゲインパラメータセット選択	4.7.11（33）															
		b10	GSL0	サーボゲインパラメータセット選択 0	<table><tr><th>GSL1</th><th>GSL0</th><th>機能</th></tr><tr><td>OFF</td><td>OFF</td><td>パラメータセット 0 選択</td></tr><tr><td>OFF</td><td>ON</td><td>パラメータセット 1 選択</td></tr><tr><td>ON</td><td>OFF</td><td>パラメータセット 2 選択</td></tr><tr><td>ON</td><td>ON</td><td>パラメータセット 3 選択</td></tr></table>		GSL1	GSL0	機能	OFF	OFF	パラメータセット 0 選択	OFF	ON	パラメータセット 1 選択	ON	OFF	パラメータセット 2 選択	ON	ON	パラメータセット 3 選択
					GSL1		GSL0	機能													
					OFF		OFF	パラメータセット 0 選択													
					OFF		ON	パラメータセット 1 選択													
		ON	OFF	パラメータセット 2 選択																	
		ON	ON	パラメータセット 3 選択																	
		b9	—	使用できません		—															
		b8	JOG +	＋ジョグ：ON で反原点方向移動		4.7.11（13）															
		b7	JOG －	－ジョグ：ON で原点方向移動		4.7.11（13）															
		b6	JVER	ジョグ速度／イン칭ング距離切替え： OFF でパラメータ No.26 “ジョグ速度”、パラメータ No.48 “イン칭ング距離” ON でパラメータ No.47 “ジョグ速度 2”、パラメータ No.49 “イン칭ング距離 2” の設定値を使用する。		4.7.11（14）															
		b5	JISL	ジョグ／イン칭ング切替え： OFF でジョグ動作、ON でイン칭ング動作		4.7.11（15）															
		b4	SON	サーボ ON 指令：ON でサーボ ON		4.7.11（5）															
		b3	RES	リセット：ON でリセット実行		4.7.11（4）															
		b2	STP	一時停止：ON で一時停止指令		4.7.11（11）															
b1	HOME	原点復帰：ON で原点復帰指令		4.7.11（6）																	
b0	DSTR	位置決め指令：ON で移動指令		4.7.11（8）																	

(※表中のONの表記は該当のビットが“1”を表し、OFFは“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 入 力	現在位置	32ビット データ	—	32ビット符号付整数 単位は0.01mmです。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023（10進数） =10.23mm ※16進数で読取る場合、負数は2の補数表示 となります。	4.9（2）
	指令電流	32ビット データ	—	32ビット整数 現在指令している電流値を示します。 単位はmAです。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023（10進数） =1023mA	4.9（2）
	現在速度	32ビット データ	—	32ビット符号付整数 現在速度を示します。 正数：反原点方向へ移動中 負数：原点方向へ移動中 単位は0.01mm/secです。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023（10進数） =10.23mm/sec ※16進数で読取る場合、負数は2の補数表示 となります。	4.9（2）
	アラーム コード	16ビット データ	—	16ビット整数 アラームが発生した場合にはアラームコード が出力されます。 アラームが発生していない場合は0 _H です。 アラームの詳細内容はコントローラの取扱説 明書をご参照してください。	4.9（2）
	状態信号	b15	EMGS	非常停止：ONで非常停止状態	4.7.11（2）
		b14	PWR	コントローラ準備完了：準備完了でON	4.7.11（1）
		b13	ZONE2	ゾーン2：現在位置がゾーン設定内にあるときON	4.7.11（12）
		b12	ZONE1	ゾーン1：現在位置がゾーン設定内にあるときON	4.7.11（12）
		b11	—	使用できません	—
		b10			
		b9			
		b8	RMDS	運転モード状態：現在の状態がAUTOモードで OFF、MANUモードでON	4.7.11（19）
		b7	BALM	アブソリュートバッテリー電圧低下警告：電圧低下でON	4.7.11（28）
		b6	—	使用できません	—
		b5	PSFL	押付け空振り：押付け動作空振りでON	4.7.11（23）
		b4	SV	運転準備完了：サーボONでON	4.7.11（5）
		b3	ALM	アラーム：アラーム発生でON	4.7.11（3）
		b2	MOVE	移動中信号：アクチュエータ移動中でON	4.7.11（9）
		b1	HEND	原点復帰完了：原点復帰完了でON	4.7.11（6）
b0	PEND	位置決め完了信号：位置決め完了でON	4.7.11（10）		

4.7.5 フル直値モード（リモートデバイス局：占有局数 4 局）

PLC から位置制御に関する全ての値（目標位置、速度等）を直接数値で指定する運転方式です。
入出力データレジスタに各値を設定してください。

本モードで制御可能なアクチュエータの有効な主要機能は次の表の通りです。

アクチュエータの機能	○：直接制御 ×：無効
原点復帰動作	○
位置決め動作	○
速度・加減速度設定	○
ピッチ送り（イン칭ング）	○
押付け動作	○
移動中の速度変更	○
異なった加速度、減速度での動作	○
一時停止	○
ゾーン信号出力	○
PIO パターン選択	×

(1) PLCアドレス構成（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

パラメータ No.84	SCON-CA 入力側 レジスタ	PLC 側	SCON-CA 出力側 レジスタ	PLC 側
3	占有領域	RYn0 ~ nF	占有領域	RXn0 ~ nF
		RY (n+1) 0 ~ (n+1) F		RX (n+1) 0 ~ (n+1) F
		RY (n+2) 0 ~ (n+2) F		RX (n+2) 0 ~ (n+2) F
		RY (n+3) 0 ~ (n+3) F		RX (n+3) 0 ~ (n+3) F
		RY (n+4) 0 ~ (n+4) F		RX (n+4) 0 ~ (n+4) F
		RY (n+5) 0 ~ (n+5) F		RX (n+5) 0 ~ (n+5) F
		RY (n+6) 0 ~ (n+6) F		RX (n+6) 0 ~ (n+6) F
	システム領域	RY (n+7) 0 ~ (n+7) F	システム領域	RX (n+7) 0 ~ (n+7) F
	目標位置	RWw (n+0)	現在位置	RWr (n+0)
		RWw (n+1)		RWr (n+1)
	位置決め幅	RWw (n+2)	指令電流	RWr (n+2)
		RWw (n+3)		RWr (n+3)
	速度	RWw (n+4)	現在速度	RWr (n+4)
		RWw (n+5)		RWr (n+5)
	ゾーン境界値 +	RWw (n+6)	アラームコード	RWr (n+6)
		RWw (n+7)	占有領域	RWr (n+7)
	ゾーン境界値 -	RWw (n+8)	カフィード バックデータ	RWr (n+8)
		RWw (n+9)		RWr (n+9)
	加速度	RWw (n+A)	占有領域	RWr (n+A)
	減速度	RWw (n+B)		RWr (n+B)
	押付け電流制限値	RWw (n+C)		RWr (n+C)
	負荷電流 閾値	RWw (n+D)		RWr (n+D)
	制御信号 1	RWw (n+E)	状態信号 1	RWr (n+E)
	制御信号 2	RWw (n+F)	状態信号 2	RWr (n+F)

(注) 占有領域 はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

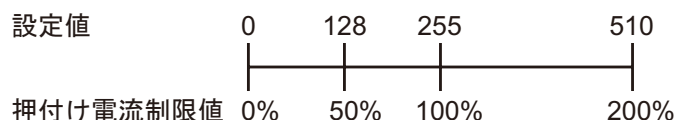
システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力データレジスタ各16ワードで構成されます。

- 制御信号1、制御信号2および状態信号はビット単位のON/OFF信号です。
- 目標位置および現在位置は2ワード（32ビット）のバイナリデータで、PLCでは－999999～＋999999（単位：0.01mm）の数値が扱えますが、位置データは当該アクチュエータのソフトストロークの範囲内（0～有効ストローク長）で設定してください。
- 位置決め幅を設定してください。位置決め幅は2ワード（32ビット）のバイナリデータで、PLCでは1～＋999999（単位：0.01mm）の数値が扱えます。
- 速度は2ワード（32ビット）のバイナリデータで、PLCでは0～＋999999（単位：0.01mm/sec）の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大速度を超えない値に設定してください。
- 加速度および減速度は1ワード（16ビット）のバイナリデータで、PLCでは1～300（単位：0.01G）の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大加速度および最大減速度を超えない値に設定してください。
- 押付け電流制限値は1ワード（16ビット）のバイナリデータで、PLCでは0(0%)～510(200%)の数値が扱えますが、当該アクチュエータの押付け電流制限値の指定可能範囲内（アクチュエータのカタログまたは取扱説明書参照）で設定してください。



- 負荷電流閾値を設定してください。負荷電流閾値は1ワード（16ビット）のバイナリデータで、PLCでは0(0%)～510(200%)の数値が扱えます。（押付け電流制限値の図（上図）参照）
- ゾーン境界値＋、ゾーン境界値－は2ワード（32ビット）のバイナリデータで、PLCでは－999999～＋999999（単位：0.01mm）の数値が扱えますが、ゾーン境界値＋よりゾーン境界値－を小さな値に設定してください。
- 指令電流は2ワード（32ビット）のバイナリデータ（単位：1mA）です。
- 現在速度は2ワード（32ビット）のバイナリデータ（単位：0.01mm/sec）です。
- アラームコードは1ワード（16ビット）のバイナリデータです。
- カフィードバックデータは2ワード（32ビット）のバイナリデータ（単位：0.01N）です。

PLC出力

アドレス（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

	1ワード=16ビット																
RWw (n+0)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0	
目標位置 (下位ワード)																	
RWw (n+1)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0	
目標位置 (上位ワード)																	

目標位置が負数の場合は、2の補数で表されます。

RWw (n+2)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1

RWw (n+3)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (上位ワード)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	524,288	262,144	131,072	65,536

RWw (n+4)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
速度 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1

RWw (n+5)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
速度 (上位ワード)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	524,288	262,144	131,072	65,536

RWw (n+6)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
ゾーン境界値+ (下位ワード)																

RWw (n+7)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
ゾーン境界値+ (上位ワード)																

ゾーン境界値が負数の場合は、2の補数で表されます。

アドレス（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

	1ワード=16ビット															
RWw (n+8)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
ゾーン境界値— (下位ワード)																

RWw (n+9)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
ゾーン境界値— (上位ワード)																

ゾーン境界値—が負数の場合は、2の補数で表されます。

RWw (n+A)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
加速度								256	128	64	32	16	8	4	2	1

RWw (n+B)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
減速度								256	128	64	32	16	8	4	2	1

RWw (n+C)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
押付け 電流制限値								256	128	64	32	16	8	4	2	1

RWw (n+D)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
負荷電流閾値								256	128	64	32	16	8	4	2	1

RWw (n+E)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号1			NTC1	NTC0			ASO1	ASO0	MOD1	MOD0	GSL1	GSL0	INC	DIR	PUSH	

RWw (n+F)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号2	BKRL	RMOD					CLBR	JOG+	JOG—	JVEL	JISL	SON	RES	STP	HOME	DSTR

PLC入力

アドレス（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

1ワード=16ビット

RWr (n+0)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																

RWr (n+1)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

現在位置が負数の場合は、2の補数で表されます。

RWr (n+2)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1

RWr (n+3)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (上位ワード)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	524,288	262,144	131,072	65,536

RWr (n+4)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (下位ワード)																

RWr (n+5)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (上位ワード)																

現在速度が負数の場合は、2の補数で表されます。

RWr (n+6)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
アラームコード																

RWr(n + 7)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
使用できません																

RWr(n + 8)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
カフィードバックデータ (下位ワード)																

RWr(n + 9)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
カフィードバックデータ (上位ワード)																

カフィードバックデータが負数の場合は、2 の補数で表されます。

RWr(n + A) ~ RWr(n + D)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
使用できません																

RWr(n + E)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号 1															CEND	BALM

RWr(n + F)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号 2	EMGS	PWR	ZONE2	ZONE1	PZONE	LOAD	TRQS	RMDS	GHMS	PUSHS	PSFL	SV	ALM	MOVE	HEND	PEND

(3) 入出力信号割付（※表中のONの表記は該当のビットが“1”を表し、OFFは“0”を表します）

アドレス		ビット	記号	機能	詳細
P L C 出 力	目標位置	32ビット データ	—	32ビット符号付整数 目標位置を絶対座標上の位置で指定してください。 単位は0.01mmで指定可能範囲は、－999999 ～999999となります。 (例) +25.41mmなら2541と指定します。 パラメータのソフトリミットの内側（0.2mm） を超えた値を入力するとソフトリミットの内 側（0.2mm）までの移動に制限されます。 ※16進数で入力する場合、負数は2の補数で 入力してください。	4.9 (3)
	位置決め幅	32ビット データ	—	32ビット整数 単位は0.01mmで指定可能範囲は1～999999 です。 (例) 25.40mmなら2540と指定します。 本レジスタは動作種別により2種類の意味が あります。 ①位置決め動作の場合、目標位置からどの程 度の範囲で位置決め完了とみなすかの許容 範囲となります。 ②押付け動作時は押付け幅の値となります。 通常動作か押付け動作かの指定は、制御信 号のPUSHで設定してください。	4.9 (3)
	速度	32ビット データ	—	32ビット整数 移動時の速度を指定してください。 単位0.01mm/secで指定可能範囲は、0～ 999999となります。 (例) 25.41mm/secなら2541と指定します。 最大速度以上の値で移動指令を行うとアラーム となります。	4.9 (3)
	ゾーン 境界値＋ ／ゾーン 境界値－	32ビット データ	—	32ビット符号付整数 パラメータで指定されるゾーン境界とは別に、 原点復帰後に有効なゾーン信号を出力します。 現在位置がこの土境界値の内側にあるときは、 状態信号のPZONEがONとなります。 (例) +25.40mmなら2540と指定します。 指定単位は0.01mmで、指定範囲は－999999～ 999999 となります。 ゾーン境界値＋＞ゾーン境界値－の関係を満た す値を入力してください。 当機能を使用しない場合は、土を同じ値にしてく ださい。 ※16進数で入力する場合、負数は2の補数で入 力してください。	4.9 (3)

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

アドレス		ビット	記号	機能			詳細	
P L C 出力	加速度	16 ビットデータ	—	16 ビット整数 移動時の加速度および減速度を指定してください。 単位は 0.01G で指定可能範囲は 1 ～ 300 です。 (例) 0.30G なら 30 と指定します。0 または最大加速度、最大減速度を超えた値で移動指令を行うとアラームとなります。			4.9(3)	
	減速度	16 ビットデータ	—					
	押付け電流制限値	16 ビットデータ	—	16 ビット整数 押付け動作時電流制限を指定してください。 指定可能範囲は 0 (0%) ～ 510 (200%) です。各アクチュエータにより実際の指定可能範囲は異なります。(各アクチュエータのカタログまたは取扱説明書をご参照ください。) 最大押付け電流値以上の値で移動指令を行うとアラームとなります。			4.9(3)	
	負荷電流 閾値	16 ビットデータ	—	16 ビット整数 負荷電流が設定値を超えたか超えないか判定を行う場合、電流のしきい値を本レジスタで指定してください。 指定可能範囲は 0 (0%) ～ 510 (200%) です。判定を行わない場合は 0 を入力してください。			4.9(3)	
	制御信号 1	b15	—	使用できません			—	
		b14						
		b13	NTC1	制振制御 モード選択 1	使用する制振制御パラメータ セット選択			4.7.11(33)
		b12	NTC0	制振制御 モード選択 0	NTC1	NTC0	機能	
					OFF	OFF	制振制御未使用	
					OFF	ON	パラメータセット 1 選択	
					ON	OFF	パラメータセット 2 選択	
		ON	ON	パラメータセット 3 選択				
b11		—	使用できません			—		
b10								
b9	ASO1	停止モード 1	待機時の停止モードを選択			4.7.11(31)		
			ASO1	ASO0	機能			
			OFF	OFF	無効 (常にサーボ ON)			
			OFF	ON	パラメータ No.36 の設定 時間でサーボ OFF			
b8	ASO0	停止モード 0	ON	OFF	パラメータ No.37 の設定 時間でサーボ OFF			
			ON	ON	パラメータ No.38 の設定 時間でサーボ OFF			

(※表中の ON の表記は該当のビットが “1” を表し、OFF は “0” を表します)

アドレス		ビット	記号	機能			詳細	
P L C 出 力	制御信号 1	b7	MOD1	加減速モード：OFF,OFF で台形パターン OFF,ON で S 字モーション ON,OFF で一次遅れフィルタ			4.7.11 (30)	
		b6	MOD0					
		b5	GSL1	サーボゲイン パラメータ セット選択 1	サーボゲイン切替えのパラメータ セット選択			4.7.11 (33)
		b4	GSL0		サーボゲイン パラメータ セット選択 0	GSL1	GSL0	
				OFF		OFF	パラメータセット 0 選択	
				OFF		ON	パラメータセット 1 選択	
				ON		OFF	パラメータセット 2 選択	
				ON		ON	パラメータセット 3 選択	
		b3	INC	インクリメンタル指定：OFF で絶対位置指令、 ON で相対位置指令			4.7.11 (24)	
		b2	DIR	押付け方向指定：OFF で目標位置から位置決め 幅を減算した位置方向 ON で目標位置に位置決 め幅を加算した位置方向			4.7.11 (22)	
		b1	PUSH	押付け指定： OFF で位置決め動作、ON で押付け動作			4.7.11 (21)	
		b0	—	使用できません			—	
	制御信号 2	b15	BKRL	ブレーキ強制解除：ON でブレーキ解除			4.7.11 (18)	
		b14	RMOD	運転モード： OFF で AUTO モード、ON で MANU モード			4.7.11 (19)	
		b13	—	使用できません			—	
		b12						
		b11						
		b10						
		b9	CLBR	ロードセキリブレーション指令：ON でセキリブレーション実行			4.7.11 (32)	
		b8	JOG +	+ジョグ：ON で反原点方向移動			4.7.11 (13)	
		b7	JOG -	-ジョグ：ON で原点方向移動			4.7.11 (13)	
		b6	JVEL	ジョグ速度／インテング距離切替え：OFF で パラメータ No.26 “ジョグ速度”、パラメータ No.48 “インテング距離” ON でパラメータ No.47 “ジョグ速度 2”、パラメータ No.49 “イ ンテング距離 2” の設定値を使用する。			4.7.11 (14)	
		b5	JISL	ジョグ／インテング切替え：OFF でジョグ動作、 ON でインテング動作			4.7.11 (15)	
		b4	SON	サーボ ON 指令：ON でサーボ ON			4.7.11 (5)	
		b3	RES	リセット：ON でリセット実行			4.7.11 (4)	
		b2	STP	一時停止：ON で一時停止指令			4.7.11 (7)	
		b1	HOME	原点復帰：ON で原点復帰指令			4.7.11 (6)	
		b0	DSTR	位置決めスタート：ON で移動指令			4.7.11 (8)	

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	信号名	内容	詳細
P L C 入 力	現在位置	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 単位は 0.01mm です。 (例) 読取り値 : 000003FFH=1023 (10 進数) =10.23mm ※ 16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表 示となります。	4.9(3)
	指令電流	32 ビット データ	—	32 ビット整数 現在指令している電流値を示します。 単位は mA です。 (例) 読取り値 : 000003FFH=1023 (10 進数) =1023mA	4.9(3)
	現在速度	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 現在速度を示します。 正数 : 反原点方向へ移動中 負数 : 原点方向へ移動中 単位は 0.01mm/sec です。 (例) 読取り値 : 000003FFH=1023 (10 進数) =10.23mm/sec ※ 16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表 示となります。	4.9(3)
	アラーム コード	16 ビット データ	—	16 ビット整数 アラームが発生した場合にはアラームコード が出力されます。 アラームが発生していない場合は 0 です。 アラームの詳細内容はコントローラの取扱説 明書をご参照してください。	4.9(3)
	カフィード バックデータ	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 現在のロードセルの測定値を示します。 単位は 0.01N です。 ※ 16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表 示となります。	4.9(3)
	状態信号 1	b15	—	使用できません	—
		b14	—		
		b13	—		
		b12	—		
		b11	—		
		b10	—		
		b9	—		
		b8	—		
		b7	—		
		b6	—		
		b5	—		
b4		—			
b3		—			
b2		—			
b1		CEND	ロードセルキャリブレーション完了 : 完了で ON		
b0	BALM	アブソリュートバッテリー電圧低下警告 : 電圧低下で ON	4.7.11(28)		

(※表中の ON の表記は該当のビットが “1” を表し、OFF は “0” を表します)

信号種別		ビット	信号名	内容	詳細
P L C 入 力	状態信号 2	b15	EMGS	非常停止：ON で非常停止状態	4.7.11(2)
		b14	PWR	コントローラ準備完了：準備完了で ON	4.7.11(1)
		b13	ZONE2	ゾーン 2：現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	4.7.11(12)
		b12	ZONE1	ゾーン 1：現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	4.7.11(12)
		b11	PZONE	ポジションゾーン：現在位置がポジション ゾーン設定内にあるとき ON	4.7.11(12)
		b10	LOAD	負荷出力判定： ON で到達、OFF で未達 (詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)	4.7.11(26)
		b9	TRQS	トルクレベル： ON で到達、OFF で未達 (詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)	4.7.11(27)
		b8	RMDS	運転モード状態： 現在の状態が AUTO モードで OFF、MANU モードで ON	4.7.11(19)
		b7	GHMS	原点復帰中：原点復帰中で ON	4.7.11(6)
		b6	PUSHS	押付け動作中：押付け動作中で ON	4.7.11(25)
		b5	PSFL	押付け空振り：押付け動作空振りで ON	4.7.11(23)
		b4	SV	運転準備完了：サーボ ON で ON	4.7.11(5)
		b3	ALM	アラーム：アラーム発生で ON	4.7.11(3)
		b2	MOVE	移動中信号：アクチュエータ移動中で ON	4.7.11(9)
		b1	HEND	原点復帰完了：原点復帰完了で ON	4.7.11(6)
		b0	PEND	位置決め完了信号：位置決め完了で ON	4.7.11(10)

4.7.6 リモート I /O モード 2（リモートデバイス局：占有局数 1 局）

PIO（24V 入出力）を使用した場合と同様にポジション No. を指定して運転するモードです。
RC 用パソコン対応ソフトなどのティーチングツールからポジションデータを設定してください。
運転可能なポジション数は、パラメータ No.25 “PIO パターン” の設定によります。
本モードはリモート I /O モードの内容に現在位置の読取り機能と指令電流値の読取り機能を追加したものです。

以下に各 PIO パターンの特長を示します。（詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照）

パラメータ No.25 の設定値	動作モード	I /O 仕様
0	位置決めモード	位置決め点数 64 点、ゾーン出力 2 点
1	教示モード	位置決め点数 64 点、ゾーン出力 1 点 位置決めおよびジョグ運転が可能 現在位置を指定ポジションに書込み可能
2	256 点モード	位置決め点数 256 点、ゾーン出力 1 点
3	512 点モード	位置決め点数 512 点、ゾーン出力無し
4	電磁弁モード 1	位置決め点数 7 点、ゾーン出力 2 点 ポジション No. 毎の直接運転指令が可能 位置決め完了信号はポジション No. 毎に出力
5	電磁弁モード 2	位置決め点数 3 点、ゾーン出力 2 点 前進／後退／中間位置指令により運転 位置決め完了信号は前進端／後退端／中間位置の個別出力
6	力制御モード 1 (専用ロードセル使用)	位置決め点数 32 点、ゾーン出力 1 点
7	力制御モード 2 (専用ロードセル使用)	位置決め点数 5 点、ゾーン出力 1 点 ポジション No. 毎の直接運転指令が可能 位置決め完了信号はポジション No. 毎に出力

本モードで制御可能なアクチュエータの有効な主要機能は次の表の通りです。

アクチュエータ の機能	PIO パターン							
	0 : 位置決め モード	1 : 教示 モード	2 : 256 点 モード	3 : 512 点 モード	4 : 電磁弁 モード 1	5 : 電磁弁 モード 2	6 : 力制御 モード 1	7 : 力制御 モード 2
原点復帰動作	○	○	○	○	○	×	○	○
位置決め動作	○	○	○	○	○	○	○	○
速度・加減速度設定	○	○	○	○	○	○	○	○
ピッチ送り(インテグ)	○	○	○	○	○	○	○	○
押付け動作	○	○	○	○	○	×	○	○
移動中の速度変更	○	○	○	○	×	○	○	×
異なった加速度、 減速度での動作	○	○	○	○	○	○	○	○
一時停止	○	○	○	○	○	○ (※ 1)	○	○
ゾーン信号出力	○	○	○	×	○	○	○	○
PIO パターン選択 (パラメータで設定)	○	○	○	○	○	○	○	○

○：動作可、×：動作不可

(※ 1) パラメータ No.27 “移動指令種別” を 0 に設定した場合に可能です。
移動指令を OFF にすることによって一時停止が可能です。

(1) PLCアドレス構成（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

パラメータ No.84	SCON-CA 側 DI および入力レジスタ	PLC側	SCON-CA 側 DO および出力レジスタ	PLC側
4	ポート番号0～15	RY n0～nF	ポート番号0～15	RX n0～nF
	システム領域	RY (n+1) 0～(n+1) F	システム領域	RX (n+1) 0～(n+1) F
	占有領域	RWw (n+0)	現在位置	RWr (n+0)
		RWw (n+1)		RWr (n+1)
		RWw (n+2)	指令電流	RWr (n+2)
		RWw (n+3)		RWr (n+3)

(注) **占有領域** はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力ビットレジスタ各1ワードで構成されます。

各軸の入出力信号は、入出力データレジスタ各4ワードで構成されます。

●入出力ビットレジスタはビット単位のON/OFF信号で制御します。

●現在位置は2ワード（32ビット）のバイナリデータ（単位：0.01mm）です。

●指令電流は2ワード（32ビット）のバイナリデータ（単位：1mA）です。

PLC出力（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

アドレス	1ワード＝16ビット															
RY (n+0)	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 入力ポート 番号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

PLC入力（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

アドレス

RX (n+0)	1ワード=16ビット															
	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 出力ポート番号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

アドレス

RWr (n+0)	1ワード=16ビット															
	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																

RWr (n+1)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

負数の場合は、2の補数で表されます。

RWr (n+2)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1

RWr (n+3)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (上位ワード)													524,288	262,144	131,072	65,536

(3) 入出力信号割付

各 PIO パターンの信号割付は、4.7.2 (3) リモート I /O モード入出力信号割付けをご参照してください。

指令電流、現在位置の読取り機能の信号割付を次に示します。

信号種別		ビット	信号名	内容	詳細
P L C 入 力	現在位置	32 ビット データ	—	32 ビット符号付整数 単位は 0.01mm です。 (例) 読取り値 : 000003FF H=1023 (10 進数) =10.23mm ※ 16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表 示となります。	—
	指令電流	32 ビット データ	—	32 ビット整数 現在指令している電流値を示します。 単位は 1mA です。 (例) 読取り値 : 000003FF H=1023 (10 進数) =1023mA	—

4.7.7 ポジション／簡易直値モード2（リモートデバイス局：占有局数1局）

本モードは、力制御（ロードセル値のフィードバック押付け）を使用し、かつポジション No. を指定して運転する方式です。制御信号（PMOD 信号）の切換えで目標位置を直接数値で指定するか、ポジションデータに登録した値を使用するか選択できます。

目標位置以外の速度、加減速度、位置決め幅等はコントローラ内のポジションテーブルの値が使用されます。コントローラ本体の取扱説明書を参照してポジションデータを設定してください。設定可能なポジションデータの数最大 768 点です。

本モードで制御可能なアクチュエータの有効な主要機能は次の表の通りです。

アクチュエータの機能	○：直接制御 △：間接制御 ×：無効	備考
原点復帰動作	○	
位置決め動作	○	
速度・加減速度設定	△	ポジションデータの 設定が必要です。
ピッチ送り（イン칭ング）	△	
押付け動作	△	
移動中の速度変更	△	
異なった加速度、 減速度での動作	△	
一時停止	○	
ゾーン信号出力	△	ゾーンの設定は ポジションデータ、または パラメータに行います。
PIO パターン選択	×	

(1) PLCアドレス構成（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

パラメータ No.84	SCON-CA 側 入力レジスタ	PLC 側	SCON-CA 側 出力レジスタ	PLC 側
5	占有領域	RY n0 ~ nF	占有領域	RXn0 ~ nF
	システム領域	RY (n + 1) 0 ~ (n + 1) F	システム領域	RX (n + 1) 0 ~ (n + 1) F
	目標位置	RWw (n + 0)	現在位置	RWr (n + 0)
		RWw (n + 1)		RWr (n + 1)
	指定ポジション No.	RWw (n + 2)	完了ポジション No. (簡易アラームコード)	RWr (n + 2)
	制御信号	RWw (n + 3)	状態信号	RWr (n + 3)

(注) **占有領域** はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力データレジスタの各 4 ワードで構成されます。

●制御信号および状態信号はビット単位の ON / OFF 信号です。

●目標位置および現在位置は 2 ワード (32 ビット) のバイナリデータで、PLC では - 999999 ~ + 999999 (単位 : 0.01mm) の数値が扱えますが、位置データは当該アクチュエータのソフトストロークの範囲内 (0 ~ 有効ストローク長) で設定してください。

●指定ポジション No. および完了ポジション No. は 1 ワード (16 ビット) のバイナリデータで、PLC では 0 ~ 767 までの数値が扱えますが、パソコンソフトなどのティーチングツールであらかじめ運転条件を設定したポジション No. を指定してください。

PLC出力

アドレス (※ n は各軸の先頭レジスタアドレスです。)

RWw (n + 0)	1 ワード = 16 ビット															
	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (下位ワード)																

RWw (n + 1)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (上位ワード)																

目標位置が負数の場合は、2の補数で表されます。

RWw (n + 2)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指定ポジション No.							PC512	PC256	PC128	PC64	PC32	PC16	PC8	PC4	PC2	PC1

RWw (n + 3)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号	BKRL	RMOD			PMOD		CLBR	JOG+	JOG-	JVEL	JISL	SON	RES	STP	HOME	CSTR

PLC入力

アドレス（※ n は各軸の先頭レジスタアドレスです。）

1 ワード = 16 ビット																
RWr (n + 0)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																

RWr (n + 1)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

現在位置が負数の場合は、2の補数で表されます。

RWr (n + 2)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
完了ポジション No.							PM512	PM256	PM128	PM64	PM32	PM16	PM8	PM4	PM2	PM1

RWr (n + 3)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号	EMGS	PWR	CEND	ZONE1	PZONE/ZONE2	LOAD	TRQS	RMDS	BALM	PUSHS	PSFL	SV	ALM	MOVE	HEND	PEND

(3) 入出力信号割付 (※表中のONの表記は該当のビットが“1”を表し、OFFは“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 出 力	目標位置	32ビットデータ	—	32ビット符号付整数 目標位置を絶対座標上の位置で指定してください。 単位は0.01mmで指定可能範囲は、－999999～999999となります。 (例)＋25.40mmなら2540と指定します。 パラメータのソフトリミットの内側（0.2mm）を超えた値を入力するとソフトリミットの内側（0.2mm）までの移動に制限されます。 ※16進数で入力する場合、負数は2の補数で入力してください。	4.9（1）
	指定 ポジション No.	16ビットデータ	PC1～PC512	16ビット整数 運転にはパソコン対応ソフトなどのティーチングツールであらかじめ運転条件を設定したポジションデータが必要です。 本レジスタでデータを入力したポジションNo.を指定してください。 指定可能範囲は0～767となります。 範囲外の値の指定、未設定のポジションNo.の指定はスタート信号をONした際にアラームとなります。	4.9（1）
	制御信号	b15	BKRL	ブレーキ強制解除：ONでブレーキ解除	4.7.11(18)
		b14	RMOD	運転モード：OFFでAUTOモード、ONでMANUモード	4.7.11(19)
		b13	—	使用できません	—
		b12			
		b11	—	ポジション／簡易直値切替： OFFでポジションモード、ONで簡易直値モード	4.7.11(20)
		b10	—	使用できません	—
		b9	CLBR	ロードセルキャリブレーション指令： ONでキャリブレーション実行	4.7.11(32)
		b8	JOG＋	＋ジョグ：ONで反原点方向移動	4.7.11(13)
		b7	JOG－	－ジョグ：ONで原点方向移動	4.7.11(13)
		b6	JVEL	ジョグ速度／イン칭ング距離切替え： OFFでパラメータNo.26“ジョグ速度”、パラメータNo.48“イン칭ング距離” ONでパラメータNo.47“ジョグ速度2”、パラメータNo.49“イン칭ング距離2” の設定値を使用する。	4.7.11(14)
		b5	JISL	ジョグ／イン칭ング切替え： OFFでジョグ動作、ONでイン칭ング動作	4.7.11(15)
		b4	SON	サーボON指令：ONでサーボON	4.7.11(5)
		b3	RES	リセット：ONでリセット実行	4.7.11(4)
		b2	STP	一時停止：ONで一時停止指令	4.7.11(7)
		b1	HOME	原点復帰：ONで原点復帰指令	4.7.11(6)
		b0	CSTR	位置決めスタート：ONで移動指令	4.7.11(7)

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

アドレス		ビット	記号	機能	詳細
P L C 入 力	現在位置	32 ビット	—	現在位置 32 ビット符号付整数 単位は 0.01mm です。 (例) 読取り値 : 000003FFH=1023 (10 進数) =10.23mm ※ 16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示となります。	4.9 (1)
	完了 ポジション No. (簡易アラーム コード)	16 ビット データ	PM1~ PM512	16 ビット整数 目標位置まで移動し、位置決め幅内に入る位置決め完了したポジション No. が出力されます。 一度もポジション移動を行ってない場合及び移動中は“0”が出力されます。 アラームが発生した場合 (状態信号の ALM が ON の場合) には簡易アラームコード (コントローラ本体の取扱説明書参照) が出力されます。	4.9 (1)
	制御信号	b15	EMGS	非常停止 : ON で非常停止状態	4.7.11 (2)
		b14	PWR	コントローラ準備完了 : 準備完了で ON	4.7.11 (1)
		b13	CEND	ロードセルキャリブレーション完了 : 完了で ON	4.7.11 (32)
		b12	ZONE1	ゾーン 1 : 現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	4.7.11 (12)
		b11	PZONE / ZONE 2	パラメータ No.149 で PZONE と ZONE2 を切り替えます。 No.149=0 ポジションゾーン : 現在位置がポジションゾーン設定内にあるとき ON No.149=1 ゾーン 2 : 現在位置がゾーン設定内にあるとき ON	4.7.11 (12)
		b10	LOAD	負荷出力判定 : ON で到達、OFF で未達 (詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)	4.7.11 (26)
		b9	TRQS	トルクレベル : ON で到達、OFF で未達 (詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照)	4.7.11 (27)
		b8	RMDS	運転モード状態 : 現在の状態が AUTO モードで OFF、MANU モードで ON	4.7.11 (19)
		b7	BALM	アブソリュートバッテリー電圧低下警告 : 電圧低下で ON	4.7.11 (28)
		b6	PUSHS	押付け動作中 : 押付け動作中で ON	4.7.11 (23)
		b5	PSFL	押付け空振り : 押付け動作空振りで ON	4.7.11 (23)
		b4	SV	運転準備完了 : サーボ ON で ON	4.7.11 (5)
		b3	ALM	アラーム : アラーム発生で ON	4.7.11 (3)
		b2	MOVE	移動中信号 : アクチュエータ移動中で ON	4.7.11 (9)
		b1	HEND	原点復帰完了 : 原点復帰完了で ON	4.7.11 (6)
		b0	PEND	位置決め完了信号 : 位置決め完了で ON	4.7.11 (10)

4.7.8 ハーフ直値モード2（リモートデバイス局：占有局数2局）

本モードは、力制御（ロードセル値のフィードバック押付け）を使用し、かつ PLC から目標位置、位置決め幅、速度、加減速度、押付け電流値を直接数値で指定する運転方式です。

入出力エリアに各値を設定してください。ゾーン機能を使用する場合にはパラメータ No.1,2,23,24 に設定してください。

本モードで制御可能なアクチュエータの有効な主要機能は次の表の通りです。

アクチュエータの機能	○：直接制御 △：間接制御 ×：無効	備考
原点復帰動作	○	
位置決め動作	○	
速度・加減速度設定	○	
ピッチ送り（イン칭ング）	○	
押付け動作	○	
移動中の速度変更	○	
異なった加速度、減速度での動作	×	
一時停止	○	
ゾーン信号出力	△	パラメータに設定が必要です。
PIO パターン選択	×	

(1) PLCチャネル構成（※nは各軸のノードアドレスです。）

パラメータ No.84	SCON-CA 側 入力レジスタ	PLC側	SCON-CA 側 出力レジスタ	PLC側
6	占有領域	RY n0～nF	占有領域	RX n0～nF
		RY (n+1) 0～(n+1) F		RX (n+1) 0～(n+1) F
		RY (n+2) 0～(n+2) F		RX (n+2) 0～(n+2) F
	システム領域	RY (n+3) 0～(n+3) F	システム領域	RX (n+3) 0～(n+3) F
	目標位置	RWw (n+0)	現在位置	RWr (n+0)
		RWw (n+1)		RWr (n+1)
	位置決め幅	RWw (n+2)	カフィードバック データ	RWr (n+2)
		RWw (n+3)		RWr (n+3)
	速度	RWw (n+4)	現在速度	RWr (n+4)
	加減速度	RWw (n+5)		RWr (n+5)
	押付け電流制限値	RWw (n+6)	アラームコード	RWr (n+6)
	制御信号	RWw (n+7)	状態信号	RWr (n+7)

(注) **占有領域** はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

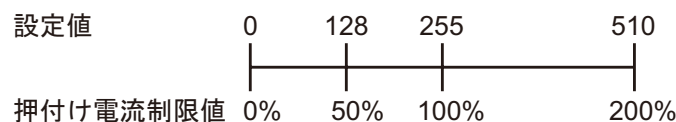
システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力エリアの各 8 ワードで構成されます。

- 制御信号および状態信号はビット単位のON/OFF信号です。
- 目標位置および現在位置は2ワード（32ビット）のバイナリデータで、PLCでは-999999～+999999（単位：0.01mm）の数値が扱えますが、位置データは当該アクチュエータのソフトストロークの範囲内（0～有効ストローク長）で設定してください。
- 位置決め幅を設定してください。位置決め幅は2ワード（32ビット）のバイナリデータで、PLCでは1～+999999（単位：0.01mm）の数値が扱えます。
- 指定速度は1ワード（16ビット）のバイナリデータで、PLCでは0～+65535（単位：1.0mm/sec）の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大速度を超えない値に設定してください。
- 加減速度は1ワード（16ビット）のバイナリデータで、PLCでは1～300（単位：0.01G）の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大加速度および最大減速度を超えない値に設定してください。
- 押付け電流制限値は1ワード（16ビット）のバイナリデータで、PLCでは0（0%）～510（200%）の数値が扱えますが、当該アクチュエータの押付け電流制限値の指定可能範囲内（アクチュエータのカタログまたは取扱説明書参照）で設定してください。



- カフィードバックデータは2ワード（32ビット）のバイナリデータ（単位：0.01N）です。
- 現在速度は2ワード（32ビット）のバイナリデータ（単位：0.01mm/sec）です。
- アラームコードは1ワード（16ビット）のバイナリデータです。

PLC出力

アドレス（※ n は各軸の先頭レジスタアドレスです。）

RWw (n + 0)	1 ワード = 16 ビット															
	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (下位ワード)																

RWw (n + 1)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (上位ワード)																

目標位置が負数の場合は、2の補数で表されます。

RWw (n + 2)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1

RWw (n + 3)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (上位ワード)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	524,288	262,144	131,072	65,536

RWw (n + 4)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
速度	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1

RWw (n + 5)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
加減速度	—	—	—	—	—	—	—	256	128	64	32	16	8	4	2	1

RWw (n + 6)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
押付け電流 制限値	—	—	—	—	—	—	—	256	128	64	32	16	8	4	2	1

RWw (n + 7)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号	BKRL	RMOD	DIR	PUSH	—	—	CLBR	JOG+	JOG-	JVEL	JISL	SON	RES	STP	HOME	DSTR

PLC入力

アドレス（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

	1ワード= 16ビット															
iRWr (n + 0)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																

iRWr (n + 1)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

現在位置が負数の場合は、2の補数で表されます。

iRWr (n + 2)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
カフィードバック データ (下位ワード)																

iRWr (n + 3)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
カフィードバック データ (上位ワード)																

カフィードバックデータが負数の場合は、2の補数で表されます。

iRWr (n + 4)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (下位ワード)																

iRWr (n + 5)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (上位ワード)																

現在速度が負数の場合は、2の補数で表されます。

iRWr (n + 6)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
アラーム コード																

iRWr (n + 7)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号	EMGS	PWR	ZONE2	ZONE1	—	—	CEND	RMDS	BALM	PUSHS	PSFL	SV	ALM	MOVE	HEND	PEND

(3) 入出力信号割付 (※表中のONの表記は該当のビットが“1”を表し、OFFは“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 出力	目標位置	32ビット データ	—	32ビット符号付整数 目標位置を絶対座標上の位置で指定してください。 単位は0.01mmで指定可能範囲は、－999999～999999となります。 (例) +25.41mmなら2541と指定します。 パラメータのソフトリミットの内側（0.2mm）を超えた値を入力するとソフトリミットの内側（0.2mm）までの移動に制限されます。 ※16進数で入力する場合、負数は2の補数で入力してください。	4.9 (2)
	位置決め幅	32ビット データ	—	32ビット整数 単位は0.01mmで指定可能範囲は1～999999です。 (例) 25.40mmなら2540と指定します。 本レジスタは動作種別により2種類の意味があります。 ①位置決め動作の場合、目標位置からどの程度の範囲で位置決め完了とみなすかの許容範囲となります。 ②押付け動作時は押付け幅の値となります。 通常動作か押付け動作かの指定は、制御信号のPUSHで設定してください。	4.9 (2)
	速度	16ビット データ	—	16ビット整数 移動時の速度を指定してください。 単位は1.0mm/secで指定可能範囲は、0～65535となります。 (例) 254.0mm/secなら254と指定します。 最大速度以上の値で移動指令を行うとアラームとなります。	4.9 (2)
	加減速度	16ビット データ	—	16ビット整数 移動時の加減速度を指定してください。(加速度と減速度は同じ値となります。) 単位は0.01Gで指定可能範囲は1～300です。 (例) 0.30Gなら30と指定します。 0または最大加速度、最大減速度を超えた値で移動指令を行うとアラームとなります。	4.9 (2)

(※表中のONの表記は該当のビットが“1”を表し、OFFは“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 出 力	押付け電流制限値	16ビットデータ	—	16ビット整数 押付け動作時電流制限を指定してください。 指定可能範囲は0（0%）～510（200%）です。 各アクチュエータにより実際の指定可能範囲は異なります。（各アクチュエータのカタログまたは取扱説明書をご参照ください。） 最大押付け電流値以上の値で移動指令を行うとアラームとなります。	4.9（2）
	制御信号	b15	BKRL	ブレーキ強制解除：ONでブレーキ解除	4.7.11（18）
		b14	RMOD	運転モード：OFFでAUTOモード、ONでMANUモード	4.7.11（19）
		b13	DIR	押付け方向指定： OFFで目標位置から位置決め幅を減算した位置方向 ONで目標位置に位置決め幅を加算した位置方向	4.7.11（22）
		b12	PUSH	押付け指定：OFFで位置決め動作、ONで押付け動作	4.7.11（21）
		b11	—	使用できません	—
		b10			
		b9	CLBR	ロードセルキャリブレーション指令：ONでキャリブレーション実行	4.7.11（32）
		b8	JOG＋	＋ジョグ：ONで反原点方向移動	4.7.11（13）
		b7	JOG－	－ジョグ：ONで原点方向移動	4.7.11（13）
		b6	JVEL	ジョグ速度／イン칭ング距離切替え： OFFでパラメータNo.26“ジョグ速度”、パラメータNo.48“イン칭ング距離” ONでパラメータNo.47“ジョグ速度2”、パラメータNo.49“イン칭ング距離2” の設定値を使用する。	4.7.11（14）
		b5	JISL	ジョグ／イン칭ング切替え： OFFでジョグ動作、ONでイン칭ング動作	4.7.11（15）
		b4	SON	サーボON指令：ONでサーボON	4.7.11（5）
		b3	RES	リセット：ONでリセット実行	4.7.11（4）
		b2	STP	一時停止：ONで一時停止指令	4.7.11（7）
		b1	HOME	原点復帰：ONで原点復帰指令	4.7.11（6）
b0	DSTR	位置決め指令：ONで移動指令	4.7.11（8）		

(※表中のONの表記は該当のビットが“1”を表し、OFFは“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
PLC入力	現在位置	32ビットデータ	—	32ビット符号付整数 単位は0.01mmです。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023（10進数） =10.23mm ※16進数で読取る場合、負数は2の補数表示となります。	4.9 (2)
	カフィードバックデータ	32ビットデータ	—	32ビット符号付整数 現在のロードセルの測定値を示します。 単位は0.01Nです。 ※16進数で読取る場合、負数は2の補数表示となります。	4.9 (3)
	現在速度	32ビットデータ	—	32ビット符号付整数 現在速度を示します。 正数：反原点方向へ移動中 負数：原点方向へ移動中 単位は0.01mm/secです。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023（10進数） =10.23mm/sec ※16進数で読取る場合、負数は2の補数表示となります。	4.9 (2)
	アラームコード	16ビットデータ	—	16ビット整数 アラームが発生した場合にはアラームコードが出力されます。 アラームが発生していない場合は0 _H です。 アラームの詳細内容はコントローラの取扱説明書をご参照してください。	4.9 (2)
	状態信号	b15	EMGS	非常停止：ONで非常停止状態	4.7.11 (2)
		b14	PWR	コントローラ準備完了：準備完了でON	4.7.11 (1)
		b13	ZONE2	ゾーン2：現在位置がゾーン設定内にあるときON	4.7.11 (12)
		b12	ZONE1	ゾーン1：現在位置がゾーン設定内にあるときON	4.7.11 (12)
		b11	—	使用できません	—
		b10			
		b9	CEND	ロードセルキャリブレーション完了：完了でON	4.7.11 (32)
		b8	RMDS	運転モード状態： 現在の状態がAUTOモードでOFF、MANUモードでON	4.7.11 (19)
		b7	BALM	アブソリュートバッテリー電圧低下警告：電圧低下でON	4.7.11 (28)
		b6	PUSHS	押付け動作中 ONで押付け動作中	4.7.11 (25)
		b5	PSFL	押付け空振り：押付け動作空振りでON	4.7.11 (23)
		b4	SV	運転準備完了：サーボONでON	4.7.11 (5)
b3		ALM	アラーム：アラーム発生でON	4.7.11 (3)	
b2		MOVE	移動中信号：アクチュエータ移動中でON	4.7.11 (9)	
b1		HEND	原点復帰完了：原点復帰完了でON	4.7.11 (6)	
b0	PEND	位置決め完了信号：位置決め完了でON	4.7.11 (10)		

4.7.9 リモート I /O モード 3（リモートデバイス局：占有局数 1 局）

本モードは、力制御（ロードセル値のフィードバック押付け）を使用し、かつ PIO（24V 入出力）を使用した場合と同様にポジション No. を指定して運転するモードです。

RC 用パソコン対応ソフトなどのティーチングツールからポジションデータを設定してください。運転可能なポジション数は、パラメータ No.25 “PIO パターン” の設定によります。

本モードはリモート I /O モードの内容に現在位置の読取り機能とカフィードバックデータの読取り機能を追加したものです。

以下に各 PIO パターンの特長を示します。（詳細はコントローラ本体の取扱説明書参照）

パラメータ No.25 の設定値	動作モード	I /O 仕様
0	位置決めモード	位置決め点数 64 点、ゾーン出力 2 点
1	教示モード	位置決め点数 64 点、ゾーン出力 1 点 位置決めおよびジョグ運転が可能 現在位置を指定ポジションに書込み可能
2	256 点モード	位置決め点数 256 点、ゾーン出力 1 点
3	512 点モード	位置決め点数 512 点、ゾーン出力無し
4	電磁弁モード 1	位置決め点数 7 点、ゾーン出力 2 点 ポジション No. 毎の直接運転指令が可能 位置決め完了信号はポジション No. 毎に出力
5	電磁弁モード 2	位置決め点数 3 点、ゾーン出力 2 点 前進／後退／中間位置指令により運転 位置決め完了信号は前進端／後退端／中間位置の個別出力
6	力制御モード 1 (専用ロードセル使用)	位置決め点数 32 点、ゾーン出力 1 点
7	力制御モード 2 (専用ロードセル使用)	位置決め点数 5 点、ゾーン出力 1 点 ポジション No. 毎の直接運転指令が可能 位置決め完了信号はポジション No. 毎に出力

本モードで制御可能なアクチュエータの有効な主要機能は次の表の通りです。

アクチュエータ の機能	PIO パターン							
	0： 位置決め モード	1： 教示 モード	2： 256 点 モード	3： 512 点 モード	4： 電磁弁 モード 1	5： 電磁弁 モード 2	6： 力制御 モード 1	7： 力制御 モード 2
原点復帰動作	○	○	○	○	○	×	○	○
位置決め動作	○	○	○	○	○	○	○	○
速度・加減速度設定	○	○	○	○	○	○	○	○
ピッチ送り(インチング)	○	○	○	○	○	○	○	○
押付け動作	○	○	○	○	○	×	○	○
移動中の速度変更	○	○	○	○	×	○	○	×
異なった加速度、 減速度での動作	○	○	○	○	○	○	○	○
一時停止	○	○	○	○	○	○ (※ 1)	○	○
ゾーン信号出力	○	○	○	×	○	○	○	○
PIO パターン選択 (パラメータで設定)	○	○	○	○	○	○	○	○

○：動作可、×：動作不可

(※ 1) パラメータ No.27 “移動指令種別” を 0 に設定した場合に可能です。

移動指令を OFF にすることによって一時停止が可能です。

(1) PLCアドレス構成（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

パラメータ No.84	SCON-CA 側 DI および入力レジスタ	PLC側	SCON-CA 側 DO および出力レジスタ	PLC側
7	ポート番号0～15	RY n0～nF	ポート番号0～15	RX n0～nF
	システム領域	RY (n+1) 0～(n+1) F	システム領域	RX (n+1) 0～(n+1) F
	占有領域	RWw (n+0)	現在位置	RWr (n+0)
		RWw (n+1)		RWr (n+1)
		RWw (n+2)	カフィードバック データ	RWr (n+2)
		RWw (n+3)		RWr (n+3)

(注) **占有領域** はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力ビットレジスタ各 1 ワードで構成されます。

各軸の入出力信号は、入出力ビットレジスタ各 4 ワードで構成されます。

●ポート番号で制御するチャンネルはビット単位のON/OFF信号で制御します。

●現在位置は2ワード（32ビット）のバイナリデータ（単位：0.01mm）です。

●カフィードバックデータは2ワード（32ビット）のバイナリデータ（単位：0.01N）です。

PLC出力（※ n は各軸の先頭レジスタアドレスです。）

アドレス RY (n + 0)	1 ワード = 16 ビット															
	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 入力ポート 番号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

PLC入力（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

アドレス

	1ワード= 16ビット															
iRX (n + 0)	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
コントローラ 出力ポート番号	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

iRWr (n + 0)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																

iRWr (n + 1)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

現在位置が負数の場合は、2の補数で表されます。

iRWr (n + 2)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
カフィードバック データ (下位ワード)																

iRWr (n + 3)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
カフィードバック データ (上位ワード)																

カフィードバックデータが負数の場合は、2の補数で表されます。

(3) 入出力信号割付

各PIOパターンの信号割付は、4.7.2 (3) リモート I/Oモード入出力信号割付けをご参照してください。

指令電流、現在位置の読取り機能の信号割付を次に示します。

信号種別		ビット	信号名	内容	詳細
P L C 入 力	現在位置	32ビット データ	—	32ビット符号付整数 単位は0.01mmです。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023 (10進数) =10.23mm ※16進数で読取る場合、負数は2の補数表示 となります。	—
	カフィード バック データ	32ビット データ	—	32 ビット符号付整数 現在のロードセルの測定値を示します。 単位は0.01N です。 ※ 16 進数で読取る場合、負数は 2 の補数表示 となります。	—

4.7.10 ハーフ直値モード3（リモートデバイス局：占有局数2局）

本モードはハーフ直値モードの機能に加え、運転時サーボゲインパラメータの変更、および、制振制御パラメータセットの変更を可能とした運転方式です。

入出力エリアに各値を設定してください。ゾーン機能を使用する場合にはパラメータ No.1,2,23,24 に設定してください。

本モードで制御可能なアクチュエータの有効な主要機能は次の表の通りです。

アクチュエータの機能	○：直接制御 △：間接制御 ×：無効	備考
原点復帰動作	○	
位置決め動作	○	
速度・加減速度設定	○	
ピッチ送り（イン칭ング）	○	
押付け動作	○	
移動中の速度変更	○	
異なった加速度、減速度での動作	×	
一時停止	○	
ゾーン信号出力	△	パラメータに設定が必要です。
PIO パターン選択	×	

(1) PLCアドレス構成（※nは各軸の先頭レジスタアドレスです。）

パラメータ No.84	SCON-CA 側 入力レジスタ	PLC側	SCON-CA 側 出力レジスタ	PLC側
8	占有領域	RY n0～nF	占有領域	RX n0～nF
		RY (n+1) 0～ (n+1) F		RX (n+1) 0～ (n+1) F
		RY (n+2) 0～ (n+2) F		RX (n+2) 0～ (n+2) F
	システム領域	RY (n+3) 0～ (n+3) F	システム領域	RX (n+3) 0～ (n+3) F
	目標位置	RWw (n+0)	現在位置	RWr (n+0)
		RWw (n+1)		RWr (n+1)
	位置決め幅	RWw (n+2)	指令電流	RWr (n+2)
		RWw (n+3)		RWr (n+3)
	速度	RWw (n+4)	現在速度	RWr (n+4)
	加減速度	RWw (n+5)		RWr (n+5)
	押付け電流制限値	RWw (n+6)	アラームコード	RWr (n+6)
	制御信号	RWw (n+7)	状態信号	RWr (n+7)

(注) **占有領域** はリモートデバイス局数の設定により占有される領域です。

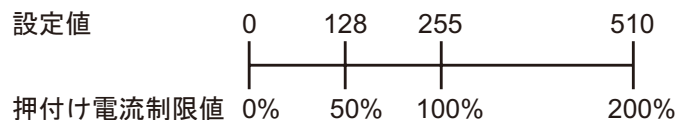
システム領域 はリモートデバイス局のシステム領域です。

他の目的に使用できません。またデータレジスタの重複使用にご注意ください。

(2) 軸毎の入出力信号割付

各軸の入出力信号は、入出力エリアの各 8 ワードで構成されます。

- 制御信号および状態信号はビット単位のON/OFF信号です。
- 目標位置および現在位置は2ワード（32ビット）のバイナリデータで、PLCでは-999999～+999999（単位：0.01mm）の数値が扱えますが、位置データは当該アクチュエータのソフトストロークの範囲内（0～有効ストローク長）で設定してください。
- 位置決め幅を設定してください。位置決め幅は2ワード（32ビット）のバイナリデータで、PLCでは1～+999999（単位：0.01mm）の数値が扱えます。
- 指定速度は1ワード（16ビット）のバイナリデータで、PLCでは0～+65535（単位：1.0mm/sec）の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大速度を超えない値に設定してください。
- 加減速度は1ワード（16ビット）のバイナリデータで、PLCでは1～300（単位：0.01G）の数値が扱えますが、当該アクチュエータの最大加速度および最大減速度を超えない値に設定してください。
- 押付け電流制限値は1ワード（16ビット）のバイナリデータで、PLCでは0（0%）～510（200%）の数値が扱えますが、当該アクチュエータの押付け電流制限値の指定可能範囲内（アクチュエータのカタログまたは取扱説明書参照）で設定してください。



- 指令電流は2ワード（32ビット）のバイナリデータ（単位：1mA）です。
- 現在速度は2ワード（32ビット）のバイナリデータ（単位：0.01mm/sec）です。
- アラームコードは1ワード（16ビット）のバイナリデータです。

PLC出力

アドレス（※ n は各軸の先頭レジスタアドレスです。）

iRWw (n + 0)	1ワード = 16ビット															
	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (下位ワード)																

iRWw (n + 1)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
目標位置 (上位ワード)																

目標位置が負数の場合は、2の補数で表されます。

iRWw (n + 2)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1

iRWw (n + 3)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
位置決め幅 (上位ワード)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	524,288	262,144	131,072	65,536

iRWw (n + 4)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
速度	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1

iRWw (n + 5)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
加減速度	—	—	—	—	—	—	—	256	128	64	32	16	8	4	2	1

iRWw (n + 6)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
押付け電流 制限値	—	—	—	—	—	—	—	256	128	64	32	16	8	4	2	1

iRWw (n + 7)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
制御信号	BKRL	RMOD	DIR	PUSH	GSL1	GSL0	NTC1	NTC0	MOD1	MOD0	—	SON	RES	STP	HOME	DSTR

PLC入力

アドレス（※ n は各軸の先頭レジスタアドレスです。）

RWr (n + 0)	1 ワード = 16 ビット															
	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (下位ワード)																

RW (n + 1)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在位置 (上位ワード)																

現在位置が負数の場合は、2の補数で表されます。

RW (n + 2)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (下位ワード)	32,768	16,384	8,192	4,096	2,048	1,024	512	256	128	64	32	16	8	4	2	1

RW (n + 3)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
指令電流 (上位ワード)													524,288	262,144	131,072	65,536

RW (n + 4)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (下位ワード)																

RW (n + 5)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
現在速度 (上位ワード)																

現在速度が負数の場合は、2の補数で表されます。

RW (n + 6)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
アラーム コード																

RW (n + 7)	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
状態信号	EMGS	PWR	ZONE2	ZONE1				RMDS	BALM		PSFL	SV	ALM	MOVE	HEND	PEND

(3) 入出力信号割付 (※表中のONの表記は該当のビットが“1”を表し、OFFは“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 出 力	目標位置	32ビット データ	—	32ビット符号付整数 目標位置を絶対座標上の位置で指定してください。 単位は0.01mmで指定可能範囲は、－999999～999999となります。 (例) +25.41mmなら2541と指定します。 パラメータのソフトリミットの内側（0.2mm）を超えた値を入力するとソフトリミットの内側（0.2mm）までの移動に制限されます。 ※16進数で入力する場合、負数は2の補数で入力してください。	4.9（2）
	位置決め幅	32ビット データ	—	32ビット整数 単位は0.01mmで指定可能範囲は1～999999です。 (例) 25.40mmなら2540と指定します。 本レジスタは動作種別により2種類の意味があります。 ①位置決め動作の場合、目標位置からどの程度の範囲で位置決め完了とみなすかの許容範囲となります。 ②押付け動作時は押付け幅の値となります。 通常動作か押付け動作かの指定は、制御信号のPUSHで設定してください。	4.9（2）
	速度	16ビット データ	—	16ビット整数 移動時の速度を指定してください。 単位は1.0mm/secで指定可能範囲は、0～65535となります。 (例) 254.0mm/secなら254と指定します。 最大速度以上の値で移動指令を行うとアラームとなります。	4.9（2）
	加減速度	16ビット データ	—	16ビット整数 移動時の加減速度を指定してください。（加速度と減速度は同じ値となります。） 単位は0.01Gで指定可能範囲は1～300です。 (例) 0.30Gなら30と指定します。 0または最大加速度、最大減速度を超えた値で移動指令を行うとアラームとなります。	4.9（2）

(※表中の ON の表記は該当のビットが“1”を表し、OFF は“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容			詳細		
P L C 出 力	押付け電流制限値	16 ビット	—	16 ビット整数 押付け動作時電流制限を指定してください。指定可能範囲は 0 (0%) ～ 510 (200%) です。各アクチュエータにより実際の指定可能範囲は異なります。(各アクチュエータのカタログまたは取扱説明書をご参照ください。) 最大押付け電流値以上の値で移動指令を行うとアラームとなります。			4.9 (2)		
	制御信号	b15	BKRL	ブレーキ強制解除：ON でブレーキ解除			4.7.11 (18)		
		b14	RMOD	運転モード：OFF で AUTO モード、ON で MANU モード			4.7.11 (19)		
		b13	DIR	押付け方向指定： OFF で目標位置から位置決め幅を減算した位置方向 ON で目標位置に位置決め幅を加算した位置方向			4.7.11 (22)		
		b12	PUSH	押付け指定：OFF で位置決め動作、ON で押付け動作			4.7.11 (21)		
		b11	GSL1	サーボゲイン パラメータ セット選択 1	使用するサーボゲインパラメータセット選択			4.7.11 (33)	
					GSL1	GSL0	機能		
		b10	GSL0	サーボゲイン パラメータ セット選択 0	OFF	OFF	パラメータセット 0 選択		
					OFF	ON	パラメータセット 1 選択		
					ON	OFF	パラメータセット 2 選択		
					ON	ON	パラメータセット 3 選択		
		b9	NTC1	制振制御 モード選択 1	使用する制振制御 パラメータセット選択				4.7.11 (29)
					NTC1	NTC0	機能		
		b8	NTC0	制振制御 モード選択 0	OFF	OFF	制振制御未使用		
					OFF	ON	パラメータセット 1 選択		
					ON	OFF	パラメータセット 2 選択		
					ON	ON	パラメータセット 3 選択		
		b7	MOD1	加減速モード：OFF、OFF で台形パターン OFF、ON で S 字モーション ON、OFF で一次遅れフィルタ			4.7.11 (30)		
		b6	MOD0						
		b5	—	使用できません。			—		
		b4	SON	サーボ ON 指令：ON でサーボ ON			4.7.11 (5)		
		b3	REF	リセット：ON でリセット実行			4.7.11 (4)		
		b2	STP	一時停止：ON で一時停止指令			4.7.11 (7)		
	b1	HOME	原点復帰：ON で原点復帰指令			4.7.11 (6)			
	b0	DSTR	位置決め指令：ON で移動指令			4.7.11 (8)			

(※表中のONの表記は該当のビットが“1”を表し、OFFは“0”を表します)

信号種別		ビット	記号	内容	詳細
P L C 入 力	現在位置	32ビット データ	—	32ビット符号付整数 単位は0.01mmです。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023 (10進数) =10.23mm ※16進数で読取る場合、負数は2の補数表示 となります。	4.9 (2)
	指令電流	32ビット データ	—	32ビット整数 現在指令している電流値を示します。 単位はmAです。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023 (10進数) =1023mA	4.9 (2)
	現在速度	32ビット データ	—	32ビット符号付整数 現在速度を示します。 正数：反原点方向へ移動中 負数：原点方向へ移動中 単位は0.01mm/secです。 (例) 読取り値：000003FF _H =1023 (10進数) =10.23mm/sec ※16進数で読取る場合、負数は2の補数表示 となります。	4.9 (2)
	アラーム コード	16ビット データ	—	16ビット整数 アラームが発生した場合にはアラームコード が出力されます。 アラームが発生していない場合は0 _H です。 アラームの詳細内容はコントローラの取扱説 明書をご参照してください。	4.9 (2)
	状態信号	b15	EMGS	非常停止：ONで非常停止状態	4.7.11 (2)
		b14	PWR	コントローラ準備完了：準備完了でON	4.7.11 (1)
		b13	ZONE2	ゾーン2：現在位置がゾーン設定内にあるときON	4.7.11 (12)
		b12	ZONE1	ゾーン1：現在位置がゾーン設定内にあるときON	4.7.11 (12)
		b11	—	使用できません	—
		b10			
		b9			
		b8	RMDS	運転モード状態： 現在の状態がAUTOモードでOFF、MANUモードでON	4.7.11 (19)
		b7	BALM	アブソリュートバッテリー電圧低下警告：電圧低下で ON	4.7.11 (28)
		b6	—	使用できません	—
		b5	PSFL	押付け空振り：押付け動作空振りでON	4.7.11 (23)
		b4	SV	運転準備完了：サーボONでON	4.7.11 (5)
		b3	ALM	アラーム：アラーム発生でON	4.7.11 (3)
		b2	MOVE	移動中信号：アクチュエータ移動中でON	4.7.11 (9)
		b1	HEND	原点復帰完了：原点復帰完了でON	4.7.11 (6)
b0	PEND	位置決め完了信号：位置決め完了でON	4.7.11 (10)		

4.7.11 入出力信号の制御と機能

※ ON の表記はビット信号の“1”を表し、OFF は“0”を表します。

ポジション／簡易直値モード 1, 2、ハーフ直値モード 1～3 およびフル直値モードに使用される入出力信号の制御と機能を以下に示します。リモート I /O モード 1～3 の入出力信号については、コントローラ本体の取扱説明書をご参照ください。

(1) コントローラ準備完了 (PWR) PLC入力信号

電源投入後、コントローラが制御可能になるとONになります。

■機能

アラームの状態やサーボの状態等にかかわらず、電源投入後、コントローラの初期化が正常に終了し、制御が可能になるとONになります。

アラーム状態にあっても、コントローラが制御可能状態であればONになります。

(2) 非常停止 (EMGS) PLC入力信号

コントローラが非常停止状態になるとONになります。

■機能

非常停止状態（モータ駆動電源がしゃ断状態）になるとONになります。非常停止状態が解除されればOFFになります。

(3) アラーム (ALM) PLC入力信号

コントローラの保護回路（機能）が異常を検出するとONになります。

■機能

異常を検出して保護回路（機能）が動作した時にONになる信号です。

アラームの原因が解除され、リセット (RES) 信号をONにすると動作解除レベルのアラームの場合はOFFになります。（コールドスタートレベルのアラームの場合は電源の再投入が必要です）

アラームを検出すると、コントローラ前面の状態表示LED (4.3 CC-Link インタフェース参照) が赤色点灯します。

(4) リセット (RES) PLC出力信号

この信号は2つの機能を持っており、コントローラのアラームのリセットおよび一時停止中の残移動量をキャンセルすることができます。

■機能

①アラームが発生中に、アラームの原因を取り除いた後、この信号をOFFからONにするとアラーム (ALM) 信号をリセットすることができます。（コールドスタートレベルのアラームの場合は電源の再投入が必要です）

②一時停止中にこの信号をOFFからONにすると、残りの移動量をキャンセルすることができます。

- (5) サーボON指令 (SON) PLC出力信号
運転準備完了 (SV) PLC入力信号

SON信号をONにするとサーボONとなります。

サーボONするとコントローラ前面の状態表示LED (4.3 CC-Link インタフェース参照) が緑色点灯します。

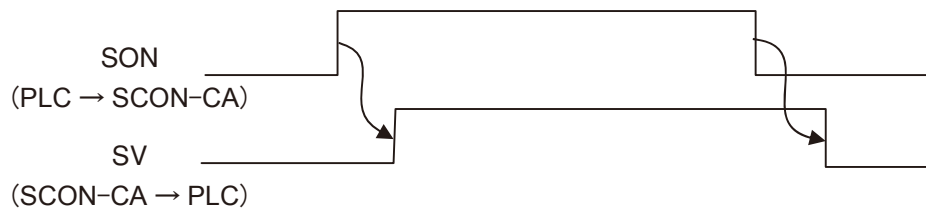
SV信号は、このLEDと同期しています。

■機能

SON信号によりコントローラのサーボON/OFFが可能です。

SV信号がONの間、コントローラはサーボON状態となり運転が可能となります。

SON信号とSV信号の関係は次のとおりです。



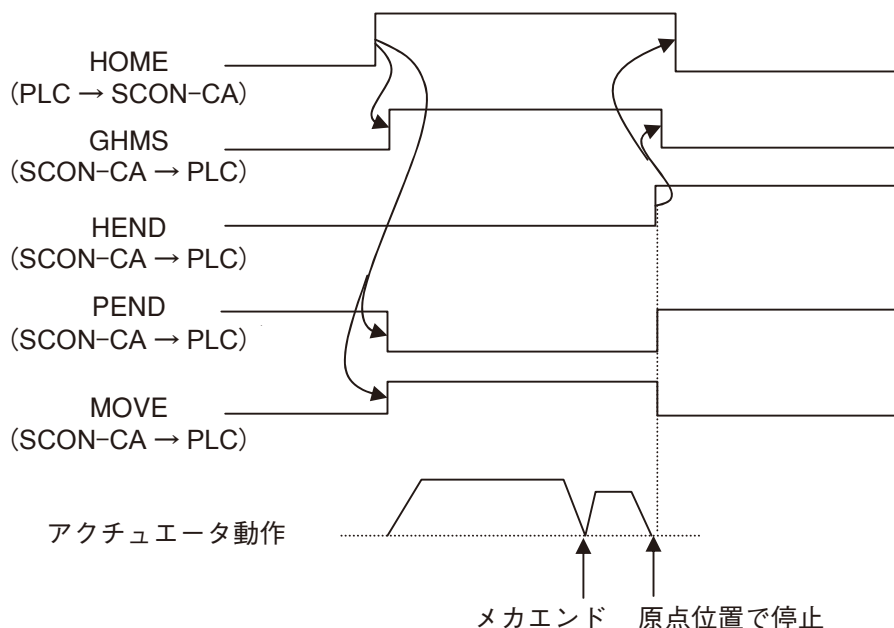
(6) 原点復帰	(HOME)	PLC出力信号
原点復帰完了	(HEND)	PLC入力信号
原点復帰中	(GHMS)	PLC入力信号

HOME信号をONすると、この指令は立上り（ONエッジ）で処理され、自動で原点復帰動作が行われます。原点復帰中はGHMS信号がONとなります。

原点復帰を完了するとHEND信号がONとなり、GHMS信号がOFFとなります。

HEND信号がONになったらHOME信号をOFFにしてください。HEND信号は一旦ONになると電源がOFFされるか、再度のHOME信号が入力されるまでOFFとなりません。

原点復帰完了後もHOME信号をONすると原点復帰を行うことができます。



⚠ 注意：リモート I / O モード 1 ～ 3、およびポジション／簡易直値モード 1, 2 では、電源投入時に原点復帰を行わずにポジションへの位置決め指令をした場合、電源投入後の最初の 1 回に限り自動的に原点復帰を行った後、位置決めを実行します。
ハーフ直値モード 1 ～ 3 およびフル直値モードでは、電源投入時に原点復帰を行わずにポジションへの位置決め指令をした場合、「エラーコード 83 ALARM HOME ABS (原点復帰未完了状態での絶対位置移動指令)」のアラーム（動作解除レベル）となりますので、ご注意ください。

(7) 位置決めスタート (CSTR): ポジション／簡易直値モード 1, 2 で使用 PLC出力信号

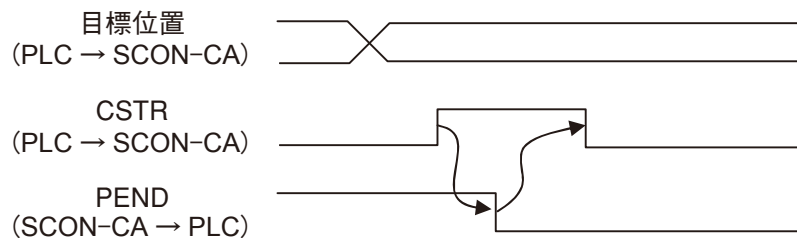
この指令は立上り (ONエッジ) で処理され、指定されたポジション No. の目標位置またはPLCの目標位置レジスタで設定した位置に位置決めします。

指定されたポジション No. の目標位置を使用するか、PLCの目標位置レジスタの設定を使用するかは制御信号のb11: ポジション／簡易直値切替 (PMOD) 信号によります。

- ・ PMOD=OFF : 指定したポジション No. 内の目標位置データを使用
- ・ PMOD=ON : PLCの目標位置レジスタの設定値を使用

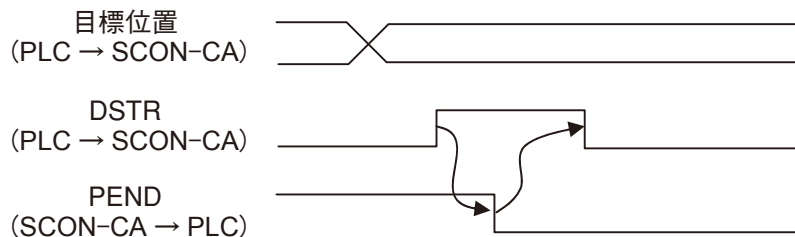
電源投入後、一度も原点復帰動作を行っていない状態 (HEND信号がOFF の状態) でこの指令を行った場合は、自動的に原点復帰動作を実行した後に目標位置に位置決めします。

本信号は位置決め完了信号 (PEND) 信号がOFFになったことを確認してOFFにしてください。

(8) 位置決め指令 (DSTR): ハーフ直値モード 1 ～ 3 およびフル直値モードで使用 PLC出力信号

この指令は立上り (ONエッジ) で処理され、PLCの目標位置レジスタに入力されている目標位置に位置決めします。電源投入後、一度も原点復帰動作を行っていない状態 (HEND信号がOFFの状態) でこの指令を行うとアラーム (動作解除レベル) となります。

本信号は位置決め完了 (PEND) 信号がOFFになったことを確認してOFFにしてください。

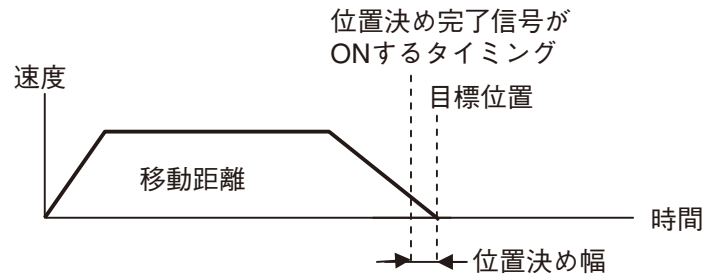
(9) 移動中信号 (MOVE) PLC入力信号

本信号はアクチュエータのスライダまたはロッドが移動中にONになります。(原点復帰動作、押付け動作およびジョグ動作も含みます)

位置決め完了後、原点復帰完了後、押付け動作完了後または一時停止中にOFFとなります。

(10) 位置決め完了信号 (PEND) PLC入力信号

本信号は目標位置まで移動して、位置決め幅内に到達した場合および押付けが完了した場合にONになります。



サーボOFFからサーボONとなった時、その場を目標位置として位置決めが行われます。従って本信号はONとなり、その後原点復帰 (HOME) 信号、位置決めスタート (CSTR) 信号または位置決め指令 (DSTR) 信号による位置決め動作の開始でOFFとなります。

⚠ 注意：目標位置に停止している時にサーボOFF状態や非常停止状態になると、PEND信号は一旦OFFになります。
次に再度サーボON状態に復帰した時、位置決め幅以内であればONに戻ります。
またCSTR信号またはDSTR信号がONのままでは位置決め完了してもPEND信号は、ONになりません。

(11) 一時停止 (STP) PLC出力信号

本信号をONにすると軸移動が減速停止します。OFFにすると軸移動が再開されます。動作再開時の加速度および停止時の減速度は、ポジション／簡易直値モード1, 2では指定ポジションNo. レジスタで設定しているポジションNo. の加減速度の値となり、ハーフ直値モード1～3では加減速度レジスタの値となります。フル直値モードでは加速度レジスタおよび減速度レジスタの値となります。

(12) ゾーン1 (ZONE1)	PLC入力信号
ゾーン2 (ZONE2)	PLC入力信号
ポジションゾーン (PZONE)	PLC入力信号

アクチュエータの現在位置が設定した領域の範囲内にある場合はONになり、範囲外にある場合はOFFになります。

① ゾーン1、ゾーン2

ゾーンの設定はユーザパラメータで設定します。

ZONE1信号はパラメータNo.1 “ゾーン境界1+側” および2 “ゾーン境界1-側” で設定します。

ZONE2信号はパラメータNo.23 “ゾーン境界2+側” および24 “ゾーン境界2-側” で設定します。

ZONE1信号およびZONE2信号は原点復帰完了後に有効となり、その後はサーボOFF中でも有効です。

② ポジションゾーン

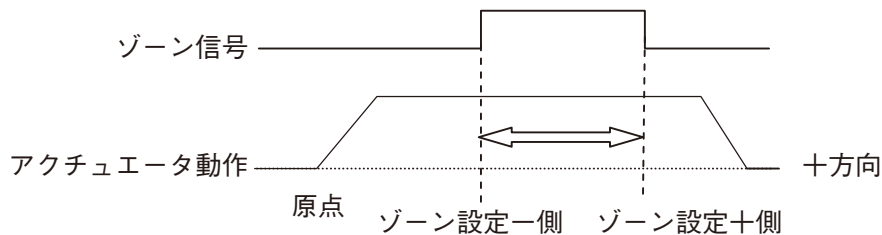
ゾーンの設定はポジションテーブル、入出力データレジスタで設定します。

ポジション／簡易直値モード 1, 2 の場合は PZONE 信号をポジションテーブルで設定します。

フル直値モードの場合は PZONE 信号をゾーン境界値レジスタで設定します。

(※) ハーフ直値モード 1 ～ 3 は PZONE 信号はありません。

PZONE 信号は原点復帰完了後の移動指令で有効となり、その後はサーボ OFF 中でも有効です。



- (13) 十ジョグ (JOG+) PLC出力信号
ージョグ (JOG-) PLC出力信号

ジョグ動作またはイン칭ング動作での起動指令です。

十指令の時は反原点方向への動作で、ー指令の時は原点方向への動作です。

①ジョグ動作

ジョグ動作は、ジョグ／イン칭ング切替え (JISL) 信号がOFFの時に動作可能です。

JOG+がONの間は反原点方向へ動作を行い、OFFになると減速停止します。

JOG-がONの間は原点方向への動作を行い、OFFになると減速停止します。

動作は次のパラメータの設定値で行います。

- ・速度は、ジョグ速度／イン칭ング距離切替え (JVEL) 信号で指定されたパラメータの値で動作します。

JVEL信号=OFFの場合は、パラメータNo.26 “PIOジョグ速度” の値で動作します。

JVEL信号=ONの場合は、パラメータNo.47 “PIOジョグ速度2” の値で動作します。

- ・加減速度は、定格加減速度（アクチュエータ依存）で動作します。
- ・JOG+とJOG-信号が両方共にONになると減速停止します。

②イン칭ング動作

イン칭ング動作は、JISL信号がONの時に動作可能です。

1回のON入力により、イン칭ング距離分の移動を行います。

JOG+がONで反原点方向へ動作を行い、JOG-がONで原点方向への動作を行います。

動作は次のパラメータの設定値で行います。

- ・速度は、JVEL信号で指定されたパラメータの値で動作します。
JVEL信号=OFFの場合は、パラメータNo.26 “PIOジョグ速度” の値で動作します。
JVEL信号=ONの場合は、パラメータNo.47 “PIOジョグ速度2” の値で動作します。
- ・移動距離は、JVEL信号で指定されたパラメータの値で動作します。
JVEL信号=OFFの場合は、パラメータNo.48 “PIOイン칭ング距離” の値で動作します。
JVEL信号=ONの場合は、パラメータNo.49 “PIOイン칭ング距離2” の値で動作します。
- ・加減速度は、定格加減速度（アクチュエータ依存）で動作します。

通常動作中は、十ジョグ信号、ージョグ信号をONしても通常動作を続けます。（ジョグ信号は無視されます）

一時停止中は、十ジョグ信号、ージョグ信号をONしても動作しません。

（注）原点復帰完了前はソフトウェアストロークリミットが無効のため、メカエンドに衝突する危険がありますのでご注意ください。

(14) ジョグ速度／イン칭距離切換え (JVEL) PLC出力信号

ジョグ動作が選択されている時のジョグ速度またはイン칭動作が選択されている時のイン칭距離を指定するパラメータの切換え信号です。

次のような関係になります。

JVEL信号	ジョグ動作：JISL=OFF	イン칭動作：JISL=ON
OFF	パラメータNo.26 “ジョグ速度”	パラメータNo.26 “ジョグ速度” パラメータNo.48 “イン칭距離”
ON	パラメータNo.47 “ジョグ速度2”	パラメータNo.47 “ジョグ速度2” パラメータNo.49 “イン칭距離2”

(15) ジョグ／イン칭切替え (JISL) PLC出力信号

ジョグ動作とイン칭動作の切替信号です。

JISL=OFF：ジョグ動作

JISL=ON：イン칭動作

JISL信号が、ジョグ移動中にON（イン칭）に切り替わった場合、減速停止しイン칭機能となります。

JISL信号が、イン칭移動中にOFF（ジョグ）に切り替わった場合、移動完了後にジョグ機能となります。

JISL信号とジョグ速度／イン칭距離切換え (JVEL) 信号のON／OFFの関係は以下の表のようになります。

		ジョグ動作	イン칭動作
JISL		OFF	ON
JVEL=OFF	速度	パラメータNo.26 “ジョグ速度”	パラメータNo.26 “ジョグ速度”
	移動距離	—	パラメータNo.48 “イン칭距離”
	加減速度	定格値（アクチュエータ依存）	定格値（アクチュエータ依存）
JVEL=ON	速度	パラメータNo.47 “ジョグ速度2”	パラメータNo.47 “ジョグ速度2”
	移動距離	—	パラメータNo.49 “イン칭距離2”
	加減速度	定格値（アクチュエータ依存）	定格値（アクチュエータ依存）
動作		JOG＋／JOG－がONの時	JOG＋／JOG－の立上り（ONエッジ）を検出した時

(16) 教示モード指令 (MODE) PLC出力信号
 教示モード信号 (MODES) PLC入力信号

MODE信号をONにすると、通常運転モードから教示モードに切替わります。

各軸のコントローラは教示モードに切替わるとMODES信号がONとなります。

PLC側では、MODES信号がONになったことを確認してから教示操作を行ってください。

(注) 通常運転モードから教示モードに切替えるためには、以下の状態となっている必要があります。

- ・アクチュエータの動作（モータ）が停止中
- ・+ジョグ（JOG+）信号および-ジョグ（JOG-）信号がOFF
- ・ポジションデータ取込み指令（PWRT）信号および位置決めスタート（CSTR）信号がOFF

(注) PWRT信号がOFFになっていないと通常運転モードに戻りません。

(17) ポジションデータ取込み指令 (PWRT) PLC出力信号
 ポジションデータ取込み完了 (WEND) PLC入力信号

PWRT 信号は教示モード信号 (MODES) が ON の時に有効です。

PWRT 信号を ON にしてください（※ 1）、この時点の現在位置データが、PLC の指定ポジション No. レジスタに設定しているポジション No. の位置欄に書き込まれます。（※ 2）

書き込みが完了すると WEND 信号が ON になります。

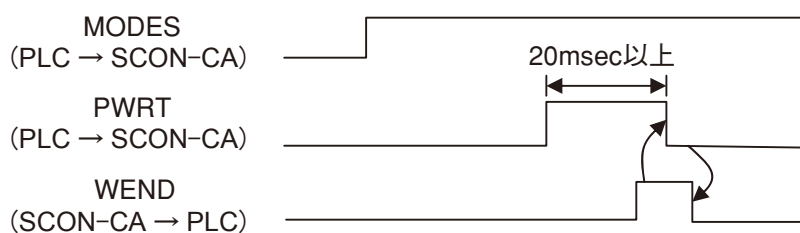
上位側 PLC では WEND 信号が ON になった後に PWRT 信号を OFF にしてください。

WEND 信号が ON する前に PWRT 信号を OFF すると WEND 信号は ON になりません。

PWRT 信号を OFF にすると WEND 信号が OFF になります。

(※ 1) 20msec 以上連続で ON にしてください。20msec 以下の場合は書き込みが行われない場合があります。

(※ 2) 位置以外のデータが未定義であればパラメータ初期値が書き込まれます。（コントローラ本体の取扱説明書参照）



(18) ブレーキ強制解除 (BKRL) PLC出力信号

本信号をONにすることでブレーキを強制的に解除させることができます。

(19) 運転モード (RMOD)

PLC出力信号

運転モード状態 (RMDS)

PLC入力信号

RMOD信号とコントローラ前面のMODEスイッチにより次の様に運転モードが選択されます。
また現在AUTO/MANUのどちらに設定されているかRMDS信号で確認することができます。
次にRMOD信号とMODEスイッチの組合せによる運転モードを示します。

	コントローラMODE スイッチがAUTO側	コントローラMODE スイッチがMANU側
RMOD信号がOFF (AUTOモード指定)	AUTOモード (RMDS=OFF)	MANUモード (RMDS=ON)
RMOD信号がON (MANUモード指定)	MANUモード (RMDS=ON)	MANUモード (RMDS=ON)

(注) MANUモードではPLCから運転を行うことはできません。

(20) ポジション／簡易直値切替 (PMOD)

PLC出力信号

移動時の目標位置をコントローラのポジションテーブルに登録されている値を使用するか、PLCの目標位置レジスタで指定されている値を使用するかを切替えます。

PMOD=OFF：ポジションテーブル使用

PMOD=ON：目標位置レジスタの値使用

(21) 押付け指定 (PUSH)

PLC出力信号

本信号をONにしてから移動指令を行うと押付け動作となります。

本信号をOFFに設定すると通常位置決め動作となります。

(本信号の設定タイミングは、4.9 運転の (2) ハーフ直値モード1～3での運転参照)

(22) 押付け方向指定 (DIR)

PLC出力信号

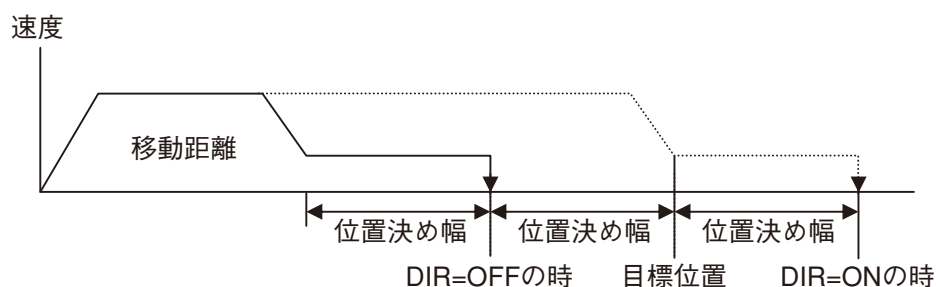
押付けを行う方向を指定します。

本信号をOFFにすると目標位置から位置決め幅を減算した値に向かって、押付けを行います。

本信号をONにすると目標位置に位置決め幅を加算した値に向かって、押付けを行います。

通常位置決め動作の場合は、本信号は無効になります。

(本信号の設定タイミングは、4.9 運転の (2) ハーフ直値モード1～3での運転参照)



(23) 押付け空振り (PSFL) PLC入力信号

押付け動作を行ったが、コントローラのポジションテーブルの位置決め幅またはPLCの位置決め幅レジスタで設定した距離を移動してもワークに押し当たらなかった時にONとなります。

(本信号の設定タイミングは、4.9 運転の (2) ハーフ直値モード 1 ～ 3 での運転参照)

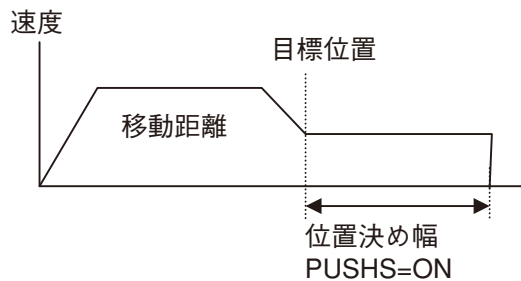
(24) インクリメンタル指定 (INC) PLC出力信号

本信号がONの場合に移動指令を行うと現在の位置を基準とし、PLCの目標位置レジスタに入力された値の移動を行います。(インクリメンタル移動)

本信号がOFFの場合にはPLCの目標位置レジスタの値の位置に移動します。

(25) 押付け動作中 (PUSHS) PLC入力信号

本信号は押付け動作中にONとなります。



本信号は、押付け空振りまたは一時停止または次の移動指令またはサーボOFFになるとOFFとなります。

(本信号の設定タイミングは、4.9 運転の (2) ハーフ直値モード 1 ～ 3 での運転参照)

(26) 負荷出力判定 (LOAD) PLC入力信号

本信号は押付け動作の場合だけ有効です。

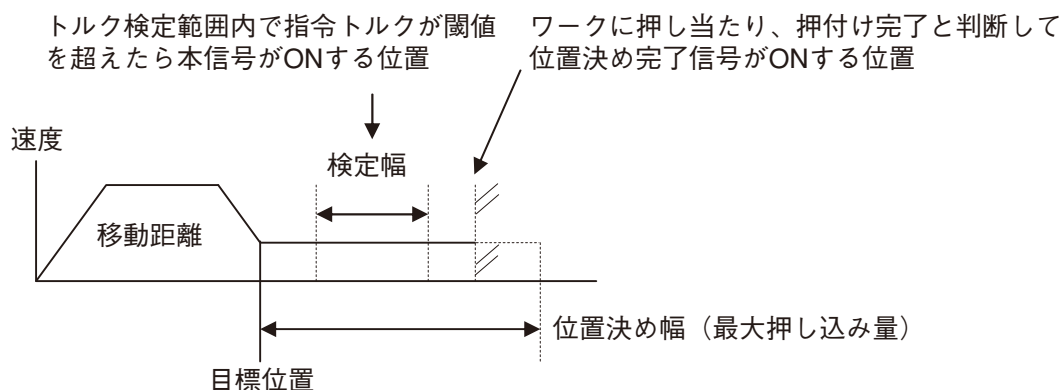
圧入用途で使用するには、押付け動作中に設定した負荷閾値に達したかを知る必要があります。

負荷閾値と検定幅範囲はPLCのレジスタで設定し、検定幅範囲内で指令トルク（モータ電流）が閾値を超えた時、本信号はONします。

本信号は、指令トルクが合計された一定時間、閾値を超えたかで判断を行います。

この処理手順は押し付け判定と同じです。負荷出力の判定時間はパラメータNo.50 “負荷出力判定時間” で任意に変更することが可能です。

本信号は次の移動指令を受けるまで保持されます。



- ・ 押付け速度はパラメータ No.34 “押付け速度” で設定します。
出荷時はアクチュエータ特性により個別設定されています。
ワークの材質、形状などを考慮して適切な速度を指定してください。
- ・ パラメータ No.50 “負荷出力判定時間” を設定します。
- ・ 閾値検定幅は PLC のゾーン境界値+レジスタ、ゾーン境界値-レジスタで設定します。
- ・ 閾値は PLC の負荷電流閾値レジスタで設定します。
- ・ 位置決め幅は、PLC の位置決め幅レジスタで設定します。
ワークの機械的バラつきを考慮して最後方の位置より少し長めに設定してください。
詳細は、コントローラ本体の取扱説明書を参照願います。

⚠ 警告：アクチュエータは、電流制限値で決定される停止時押付け電流でワークを押し続けています。
停止している状態ではありませんので、この時の取扱いには充分気をつけてください。

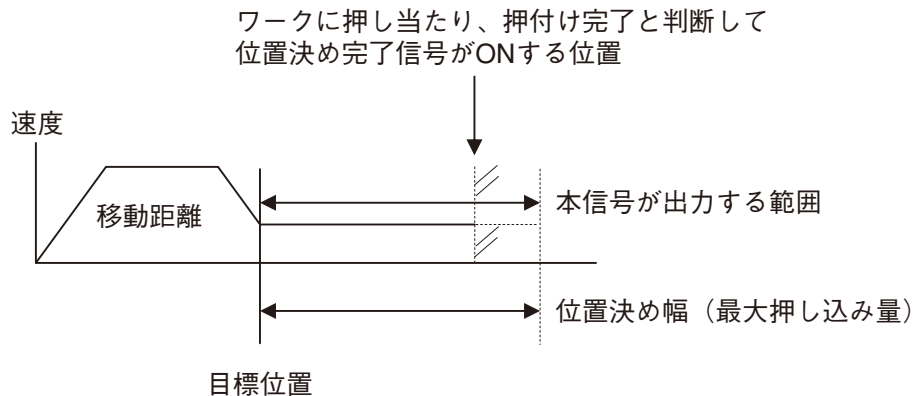
(27) トルクレベル (TRQS) PLC入力信号

本信号は押付け動作の場合だけ有効です。

押付け動作中（位置決め幅移動中）にモータ電流が負荷閾値に達した場合、本信号がONします。

電流をレベルで監視しているので、電流が変化すれば本信号のON、OFFの状態も変化します。

押付けに使える速度はモータとリードによって異なるため、パラメータを調整する必要があります。



- ・ 押付け速度はパラメータ No.34 “押付け速度” で設定します。
出荷時はアクチュエータ特性により個別設定されています。
ワークの材質、形状などを考慮して適切な速度を指定してください。
- ・ パラメータ No.50 “負荷出力判定時間” を設定します。
- ・ 閾値はPLCの負荷電流閾値レジスタで設定します。
- ・ 位置決め幅は、PLCの位置決め幅レジスタで設定します。
ワークの機械的バラつきを考慮して最後方の位置より少し長めに設定してください。
詳細は、コントローラ本体の取扱説明書を参照願います。

⚠ 警告：アクチュエータは、電流制限値で決定される停止時押付け電流でワークを押し続けています。
停止している状態ではありませんので、この時の取扱いには充分気をつけてください。

(28) アブソリュートバッテリー電圧低下警告 (BALM) PLC 入力信号

アブソリュート仕様で、アブソリュートバッテリー電圧正常時、または、インクリメンタル仕様の場合には OFF になります。

アブソリュートバッテリー電圧が3.1Vまで低下すると本信号はONします。そのまま使用を続け、2.5Vまで低下すると、コントローラは位置情報を保持できなくなります。

(アブソリュート仕様で本信号がONしたら、速やかにバッテリーを交換してください。)

(29) 制振制御モード選択 0, 1 (NTC0, NTC1) PLC 出力信号

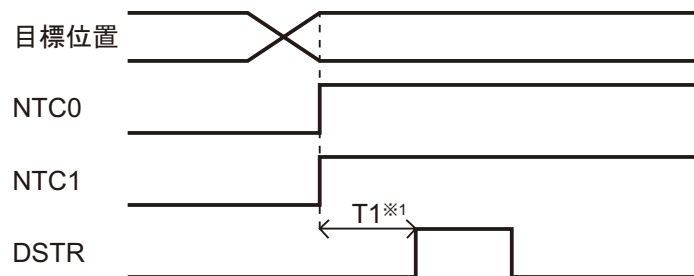
制振制御機能は、当社アクチュエータによって引き起こされる負荷の振動を抑制します。振動数を測定し、パラメータセットに設定します。(最大3種)

設定されたパラメータセットの中から1種類を本信号の組合わせで選択して使用します。詳細はコントローラ本体の取扱説明書を参照願います。

NTC1	NTC0	機能	備考
OFF	OFF	制振制御を使用しない	出荷時設定
OFF	ON	パラメータセット1選択	
ON	OFF	パラメータセット2選択	
ON	ON	パラメータセット3選択	

入カタイミング

下図に NTC0・NTC1 信号入カタイミングを示します。



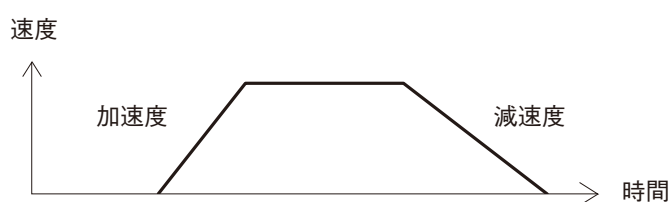
※1 T1: 0ms 以上にする

⚠ 注意：移動指令 (DSTR) 認識時に NTC0・NTC1 信号状態を取り込む為、移動中に NTC0・NTC1 信号の ON・OFF を行っても無視されます。

(30) 加減速モード (MOD1、MOD0) PLC 入力信号

加減速パターン特性を選択するための信号です。いずれかをアクチュエータの移動指令前に選択してください。

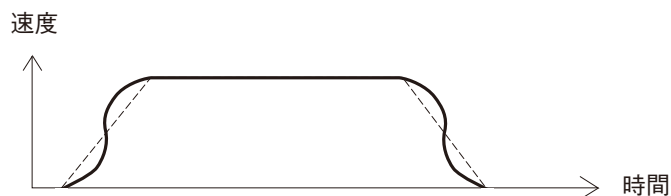
MOD1	MOD0	パターン名	備考
OFF	OFF	台形パターン	出荷時設定
OFF	ON	S字モーション	
ON	OFF	一次遅れフィルタ	
ON	ON	使用できません。	

台形パターン

※加速度、減速度はポジションデータの「加速度」「減速度」欄で設定します。

S字モーション

加速時に最初は緩やかで途中から急激に立ち上がるようなカーブを描きます。タクトタイムが要求されるため加減速度を高く設定したいが、移動開始時や停止直前時は緩やかにしたい用途にご使用ください。



※S字モーションの度合いはパラメータNo.56 “S字モーション比率設定” で設定します。設定単位は%で、設定範囲は0～100です。

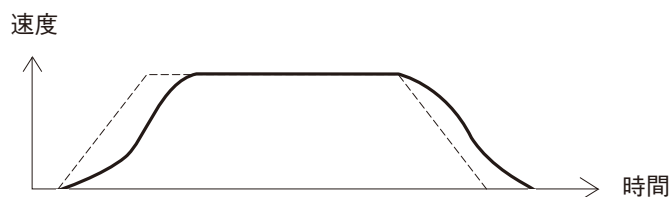
(上図は100%設定時のイメージグラフです。)

0を設定するとS字モーションは無効となります。

但し、パソコンなどのティーチングツール操作でのジョグ、インチング動作には反映されません。

一次遅れフィルタ

直線加減速（台形パターン）より緩やかな加減速カーブを描きます。加減速時にワークに微振動を与えたくない用途にご使用ください。



※一次遅れの度合いはパラメータ No.55 “位置指令一次フィルタ時定数” で設定します。最小入力単位は 0.1msec で、設定範囲は 0.0 ～ 100.0 です。

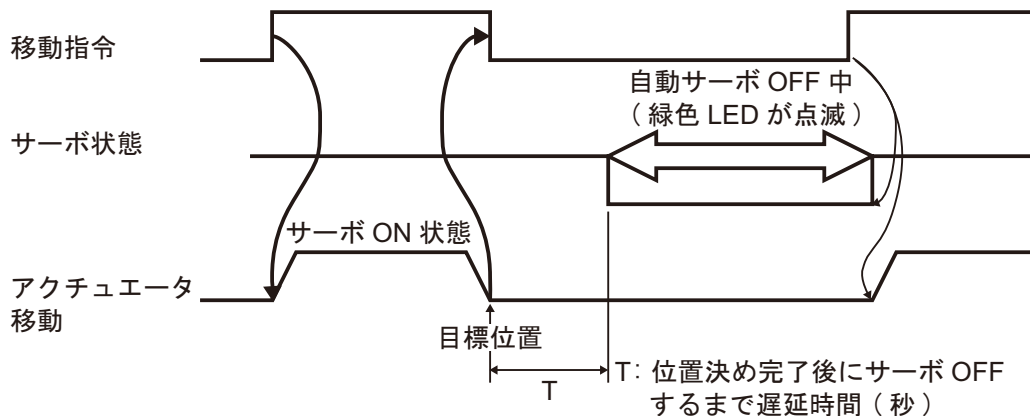
0を設定すると一次遅れフィルタは無効となります。

但し、パソコンなどのティーチングツール操作でのジョグ、インチング動作には反映されません。

(31) 停止モード選択 (ASO1, ASO0) PLC 出力信号

位置決め完了し、次のポジションへ移動するまでの待機時の停止モードを選択します。
停止時間が長い場合、自動的にサーボ OFF して電力消費量を低減します。
詳細はコントローラ本体の取扱説明書を参照願います。

ASO1	ASO0	停止モード	備考
OFF	OFF	無効	(出荷時設定)
OFF	ON	自動サーボ OFF 方式 T はパラメータ No.36 が有効	
ON	OFF	自動サーボ OFF 方式 T はパラメータ No.37 が有効	
ON	ON	自動サーボ OFF 方式 T はパラメータ No.38 が有効	

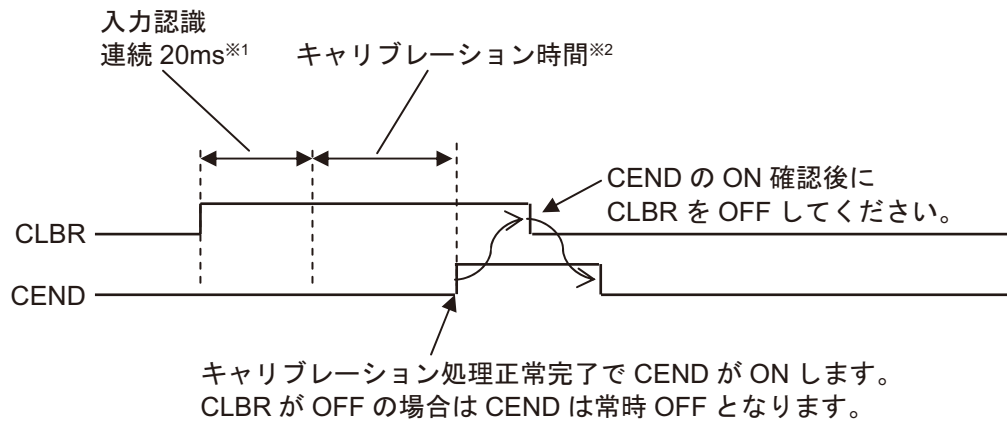
(32) ロードセルキャリブレーション指令 (CLBR) PLC 出力信号
ロードセルキャリブレーション完了 (CEND) PLC 入力信号

ロードセルは工場出荷時、無負荷の状態を ON とするよう設定していますが、負荷を取り付けた状態を基準 (ON) としたい場合などには、キャリブレーションを行ってください。

その他にも必要な場合 (再調整、点検等)、状況に応じて実施してください。

- ① 運転を停止してください (軸動作中、押付け中、一時停止中はキャリブレーションできず 0E1: ロードセルキャリブレーション異常アラームとなります)。
- ② ロードセルキャリブレーション信号 (CLBR) を 20ms 以上連続 ON してください。
- ③ キャリブレーションが完了するとキャリブレーション完了信号 (CEND) が ON しますので、その後 CLBR 信号を OFF してください。
キャリブレーションが正常に終了しなかった場合、0E1: ロードセルキャリブレーション異常アラームとなります。

⚠ 注意： CLBR 信号が ON 状態では、通常運転指令は受け付けられません。



※ 1 この間に CLBR を OFF した場合は、入力認識前のためキャリブレーション処理を行いません。

※ 2 この間に CLBR を OFF した場合、アラームとなります。

(33) サーボゲインパラメータセット選択 (GSL0, GSL1) PLC 出力信号

あらかじめサーボゲインパラメータ（6 個）を 4 セット登録しておくことで、ポジション移動ごとに選択したセットで運転可能です。

詳細はコントローラ本体の取扱説明書を参照願います。

GSL1	GSL0	機能	備考
OFF	OFF	パラメータセット 0 選択	出荷時設定
OFF	ON	パラメータセット 1 選択	
ON	OFF	パラメータセット 2 選択	
ON	ON	パラメータセット 3 選択	

4.8 入出力信号のタイミング

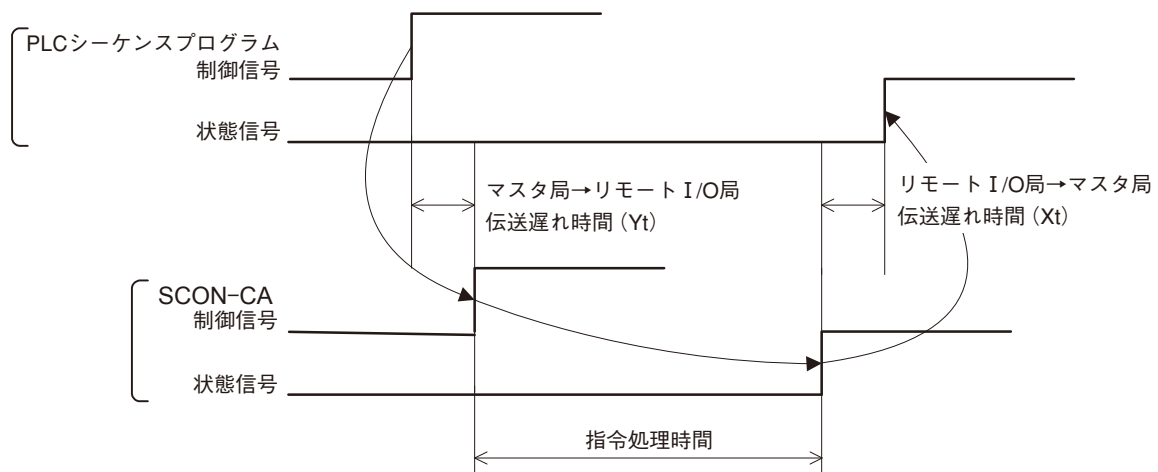
PLC のシーケンスプログラムでアクチュエータの運転を行うためにいずれかの制御信号を ON し、その応答（状態）信号が PLC に帰ってくるまでの最大応答時間は次の式で表されます。

最大応答時間（msec）＝ $Y_t + X_t + 2 \times$ 指令処理時間（動作時間等）

Y_t ：マスタ局→リモート I/O局伝送遅れ時間
 X_t ：リモート I/O局→マスタ局伝送遅れ時間

} フィールドネットワーク伝送遅れ時間

マスタ局→リモート I/O局伝送遅れ時間（ Y_t ）、リモート I/O局→マスタ局伝送遅れ時間（ X_t ）については、CC-Linkマスタユニットおよび搭載されるPLCの取扱説明書をご参照ください。



4.9 運転

次にポジション／簡易直値モード 1, 2、ハーフ直値モード 1～3 およびフル直値モードの基本動作例のタイミングを示します。

リモート I /O モード 1～3 およびリモート I /O モード 2 についてはコントローラの取扱説明書をご参照ください。

(リモート I /O モード 2, 3 の現在位置、指令電流またはカフィードバックデータの読取りは適宜 PLC のレジスタから読取ってください。)

(1) ポジション／簡易直値モード 1, 2 での運転

PLC の目標位置レジスタに位置データを書込み、速度、加減速度、位置決め幅、押付け電流制限値等はポジションテーブルで指定して運転します。

●動作例（通常位置決め動作）

(準備) 目標位置以外のポジションデータ（速度、加減速度、位置決め幅等）をポジションテーブルに設定します。

ポジション／簡易直値切替 (PMOD) 信号を ON します。

- ① 目標位置データを目標位置レジスタに設定します。
- ② 速度、加減速度等を設定したポジション No. を指定ポジション No. レジスタに設定します。
- ④ 位置決め完了 (PEND) 信号が ON になっているまたは、移動中信号 (MOVE) が OFF の状態で、位置決めスタート (CSTR) 信号を ON にします。
 - ①、② で設定したデータは CSTR 信号の立上りエッジでコントローラに読み込まれます。
- ④ CSTR 信号が ON になった後、tpdf 後に PEND が OFF します。
- ⑤ PEND 信号が OFF または MOVE 信号が ON になったことを確認してから CSTR 信号を OFF にします。目標位置レジスタの値は CSTR 信号を OFF にするまで変更しないでください。
- ⑥ PEND 信号が OFF になると同時に MOVE 信号が ON になります。
- ⑦ 現在位置データは常時更新されています。残移動量がポジションデータで設定された位置決め幅の範囲内になると、CSTR 信号が OFF の場合に PEND 信号が ON になり、完了ポジション No. が完了ポジション No. レジスタに出力されます。

従って、位置決め完了時の完了ポジション No. レジスタの読み取りは、PEND 信号が ON になり適当な時間（残移動量移動時間）をおいてから確認してください。

また現在位置データは停止中でも振動等により多少変化することがあります。
- ⑧ 移動中に目標位置データを変更することが可能です。

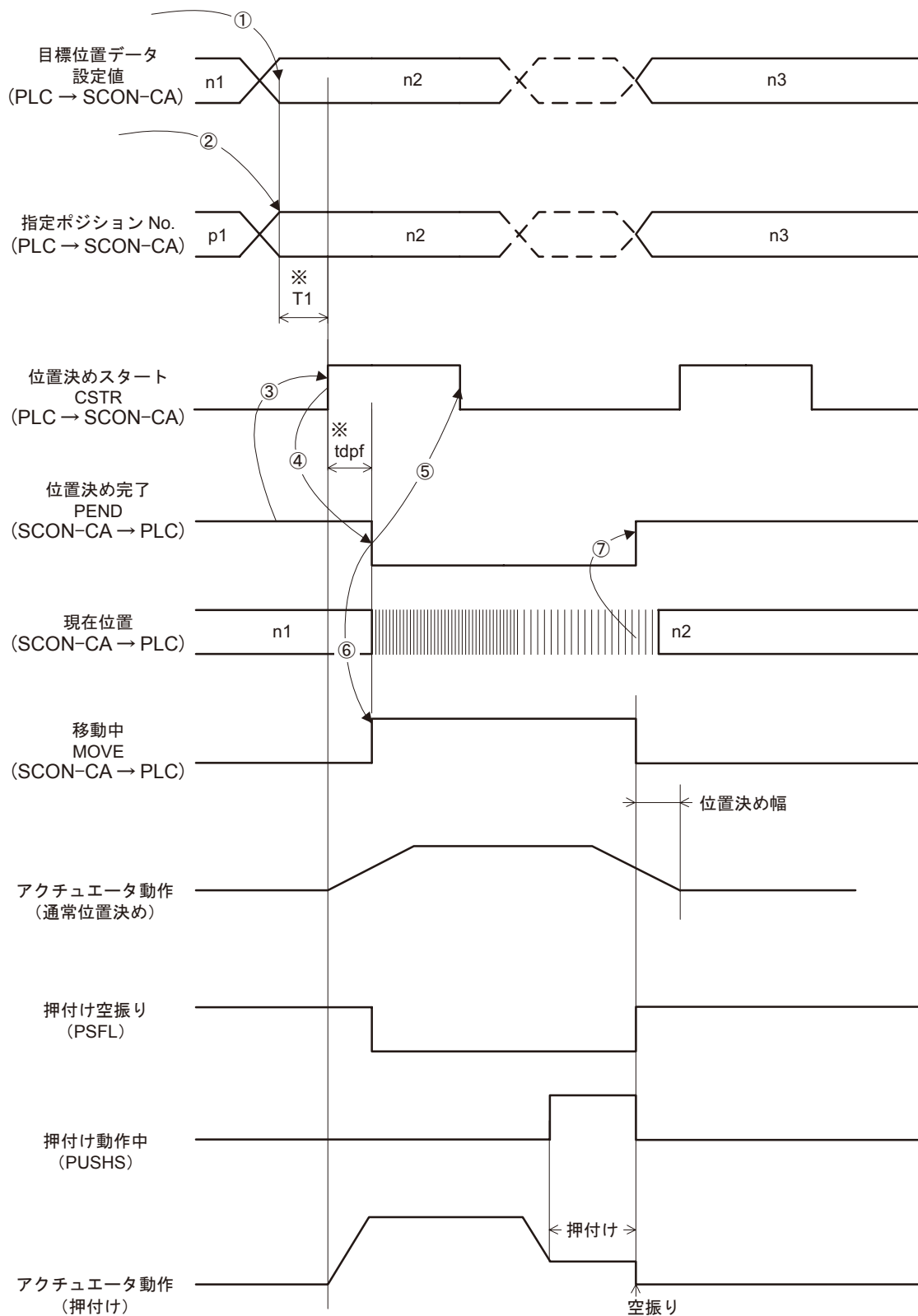
目標位置を変更するには、目標位置データの変更を行って PLC のスキャンタイム以上経過してから CSTR 信号を ON にします。

CSTR 信号は PLC のスキャンタイム以上経過してから値を変更してください。

●動作例（押付け動作）

押付け動作は（準備）の段階でポジションデータの押付け欄に電流制限値を設定します。

押付け欄に値を設定したポジション No. に位置決めを行うと押付け動作となります。



※ $T1$: 上位コントローラのスキャンタイムを考慮し、 $T1 \geq 0\text{ms}$ となるようにしてください。

※ $Yt + Xt \leq tdpf \leq Yt + Xt + 3 \text{ (msec)}$

(2) ハーフ直値モード 1～3 での運転

PLCの目標位置レジスタ、位置決め幅レジスタ、指定速度レジスタ、加減速度レジスタおよび押付け電流制限指定レジスタにデータを指定して運転します。

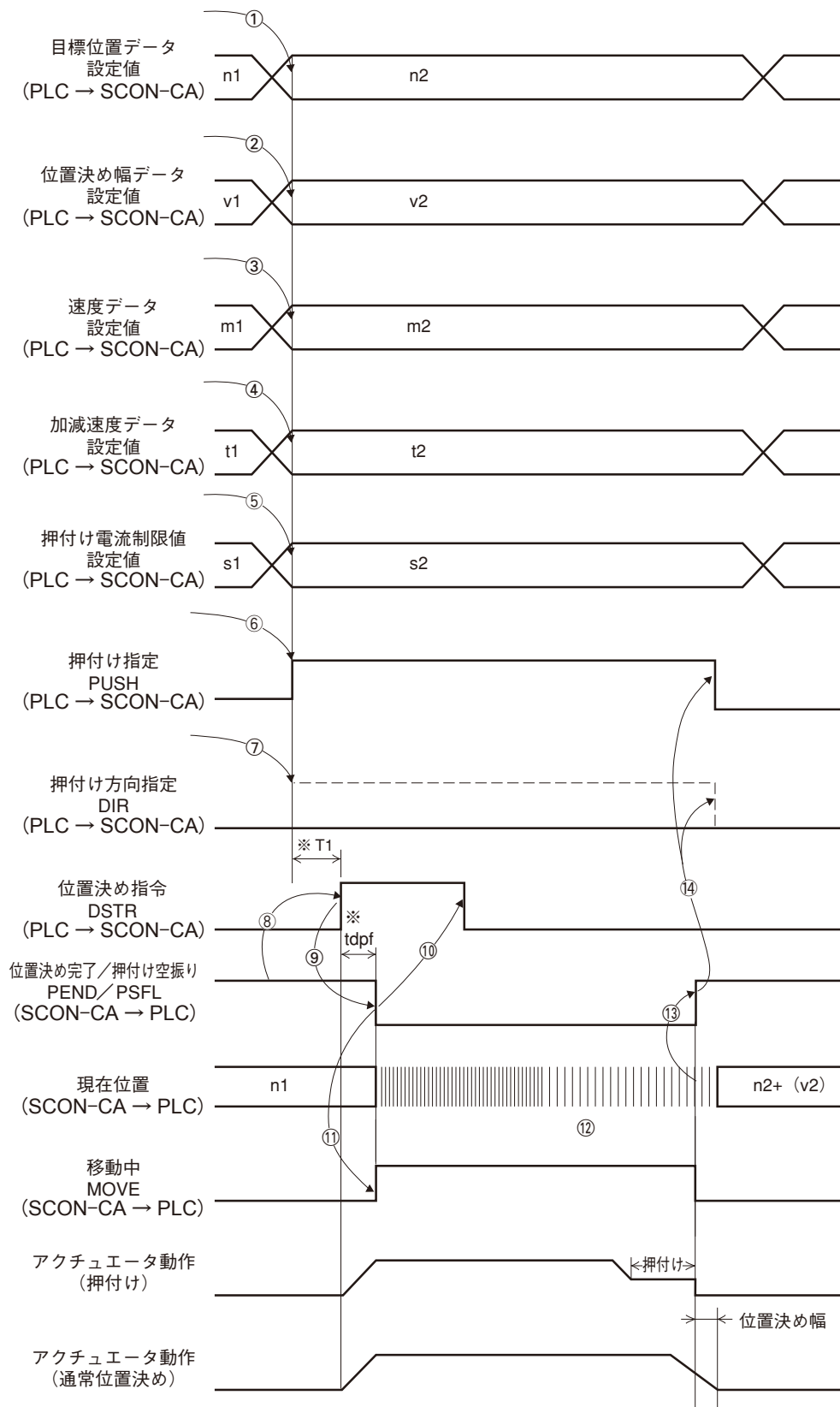
●動作例（押付け動作）

- ①目標位置データを目標位置レジスタに設定します。
- ②位置決め幅データを位置決め幅レジスタに設定します。
- ③速度データを速度レジスタに設定します。
- ④加減速度データを加減速度レジスタに設定します。
- ⑤押付け電流制限データを押付け電流制限値レジスタに設定します。
- ⑥押付け指定（PUSH）信号をONにします。
- ⑦押付け方向指定（DIR）信号で押付け方向を指定します。（4.7.7（22）参照）
- ⑧位置決め完了（PEND）信号がONになっているまたは、移動中信号（MOVE）がOFFの状態で、位置決め指令（DSTR）信号をONにします。
 - ①～⑤で設定したデータはDSTR信号の立上りエッジでコントローラに読み込まれます。
 - ⑨DSTR信号がONになった後、tpdf後にPENDがOFFします。
 - ⑩PEND信号がOFF またはMOVE信号がONになったことを確認してからDSTR信号をOFFにします。各レジスタの値はDSTR信号をOFFにするまで変更しないでください。
 - ⑪PEND信号がOFFになると同時にMOVE信号がONになります。
 - ⑫現在位置データは常時更新されています。
 - ⑬PEND信号はDSTR信号がOFFで、モータの電流が⑤で設定した電流制限値に達するとONになります。（押付け完了）
 - ②で設定した位置決め幅に達しても、モータの電流が⑤で設定した電流制限値に到達しない場合は、押付け空振り（PSFL）信号がONになります。この場合、PEND信号はONになりません。（押付け空振り）
 - ⑭PEND信号またはPSFL信号がONとなった後、PUSH信号をOFFにします。

●動作例（通常位置決め動作）

通常位置決め動作は、⑥の信号をOFFに設定します。

残移動量がポジションデータで設定された位置決め幅の範囲内になると、DSTR信号がOFFの場合にPEND信号がONになります。



※ $T1$: 上位コントローラのスキャンタイムを考慮し、 $T1 \geq 0\text{ms}$ となるようにしてください

※ $Yt + Xt \leq \text{tdpf} \leq Yt + Xt + 2$ (msec)

(3) フル直値モードでの運転

PLCの目標位置レジスタ、位置決め幅レジスタ等位置決めに必要な条件を全てレジスタに指定して運転します。

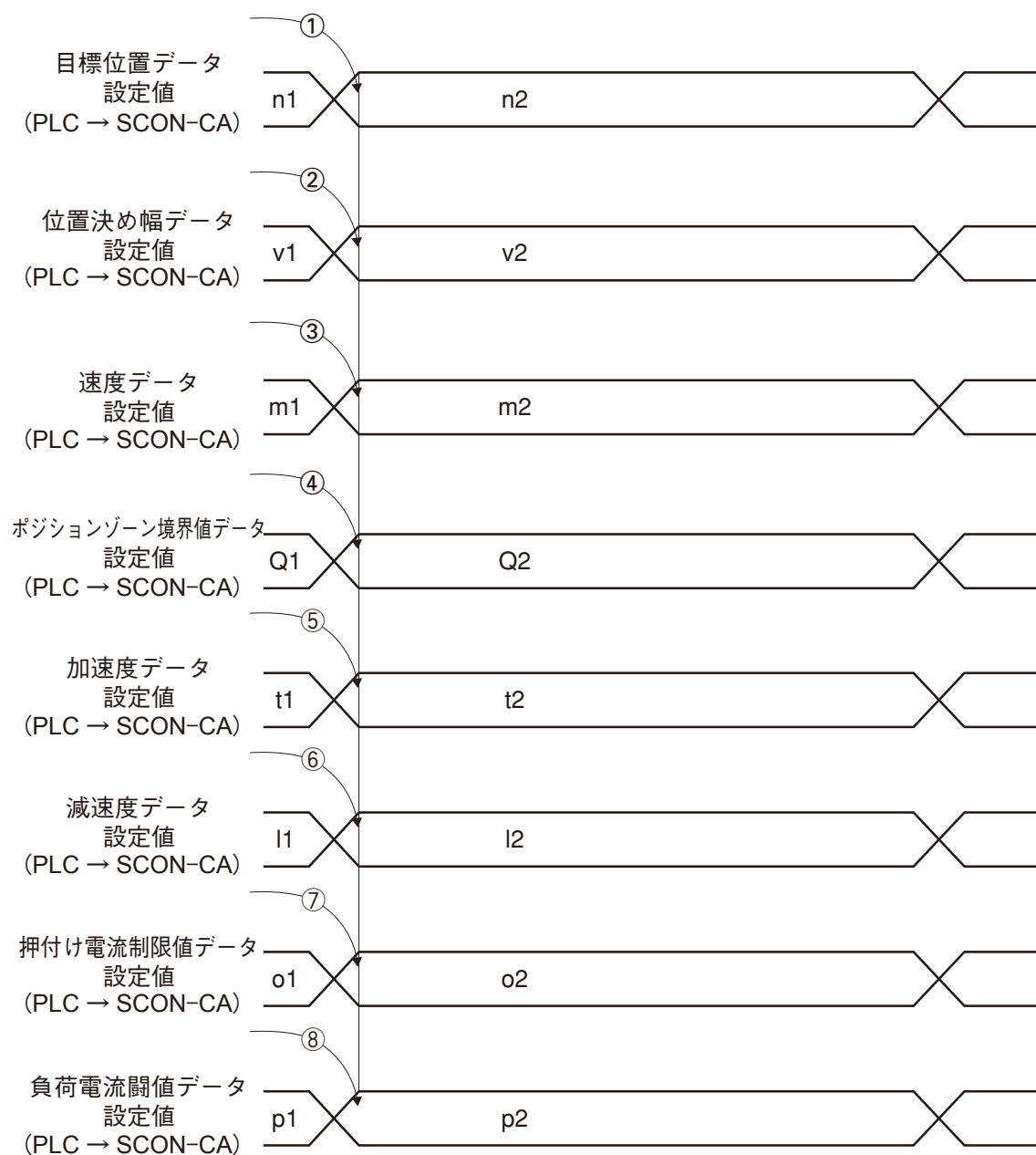
●動作例（押付け動作）

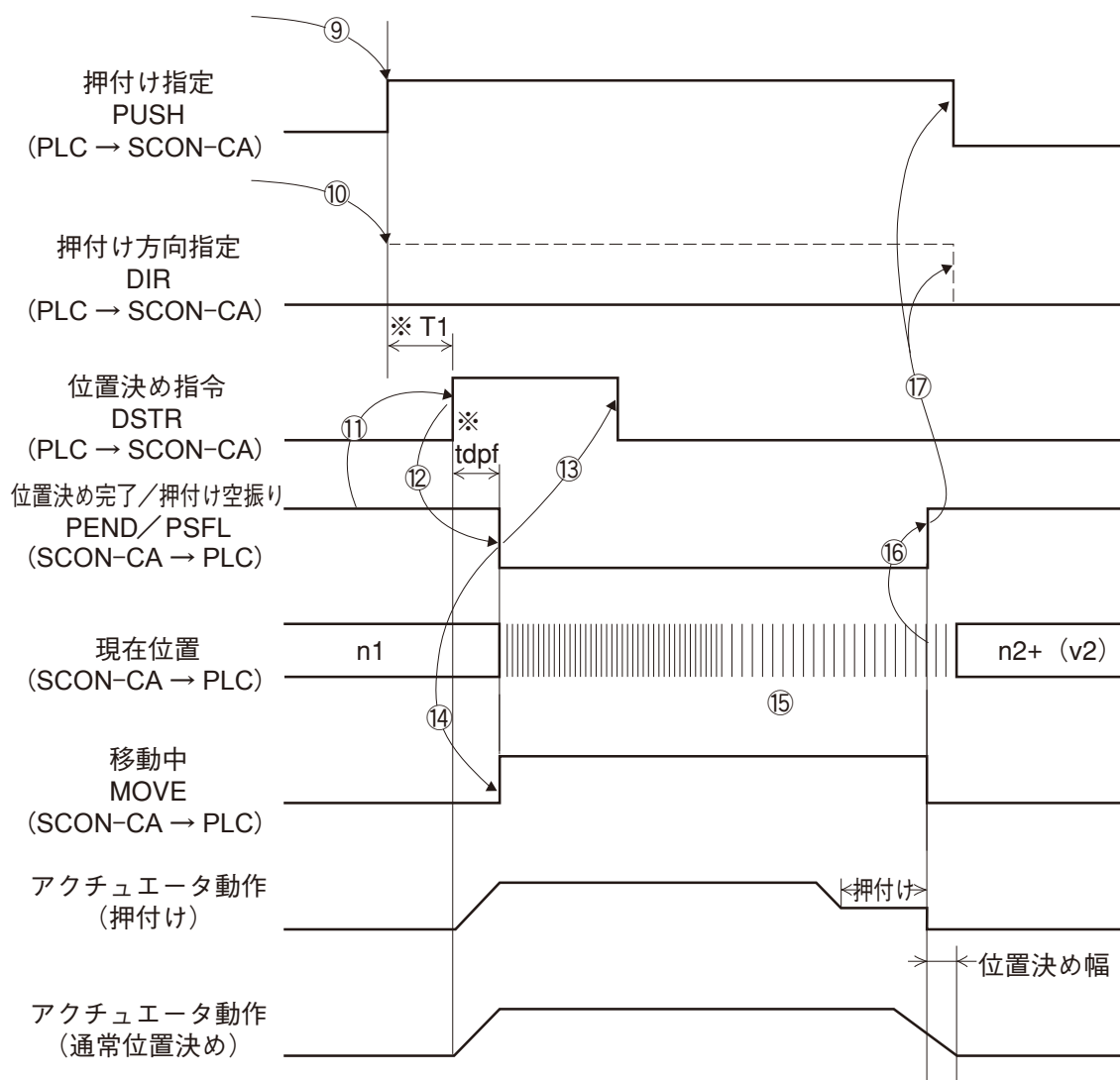
- ①目標位置データを目標位置レジスタに設定します。
- ②位置決め幅データを位置決め幅レジスタに設定します。
- ③速度データを速度レジスタに設定します。
- ④ポジションゾーン出力の境界値データをゾーン境界値＋レジスタ、ゾーン境界値－レジスタに設定します。
- ⑤加速度データを加速度レジスタに設定します。
- ⑥減速度データを減速度レジスタに設定します。
- ⑦押付け電流制限値データを押付け電流制限値レジスタに設定します。
- ⑧負荷電流閾値データを負荷電流閾値指定レジスタに設定します。
- ⑨押付け指定（PUSH）信号をONにします。
- ⑩押付け方向指定（DIR）信号で押付け方向を指定します。（4.7.7（22）参照）
- ⑪位置決め完了（PEND）信号がONになっているまたは、移動中信号（MOVE）がOFFの状態、位置決め指令（DSTR）信号をONにします。
 - ①～⑧で設定したデータはDSTR信号の立上りエッジでコントローラに読み込まれます。
 - ⑫DSTR信号がONになった後、tpdf後にPENDがOFFします。
 - ⑬PEND信号がOFFまたはMOVE信号がONになったことを確認してからDSTR信号をOFFにします。各レジスタの値はDSTR信号をOFFにするまで変更しないでください。
 - ⑭PEND信号がOFFになると同時にMOVE信号がONになります。
 - ⑮現在位置データは常時更新されています。
 - ⑯PEND信号はDSTR信号がOFFで、モータの電流が⑦で設定した電流制限値に達するとONになります。（押付け完了）
 - ②で設定した位置決め幅に達しても、モータの電流が⑦で設定した電流制限値に到達しない場合は、押付け空振り（PSFL）信号がONになります。この場合、PEND信号はONになりません。（押付け空振り）
 - ⑰PEND信号またはPSFL信号がONとなった後、PUSH信号をOFFにします。

●動作例（通常位置決め動作）

通常位置決め動作は、⑨の信号をOFFに設定します。

残移動量がポジションデータで設定された位置決め幅の範囲内になると、DSTR信号がOFFの場合にPEND信号がONになります。





※ T1：上位コントローラのスキャンタイムを考慮し、
 $T1 \geq 0\text{ms}$ となるようにしてください

※ $Yt + Xt \leq \text{tdpf} \leq Yt + Xt + 2$ (msec)

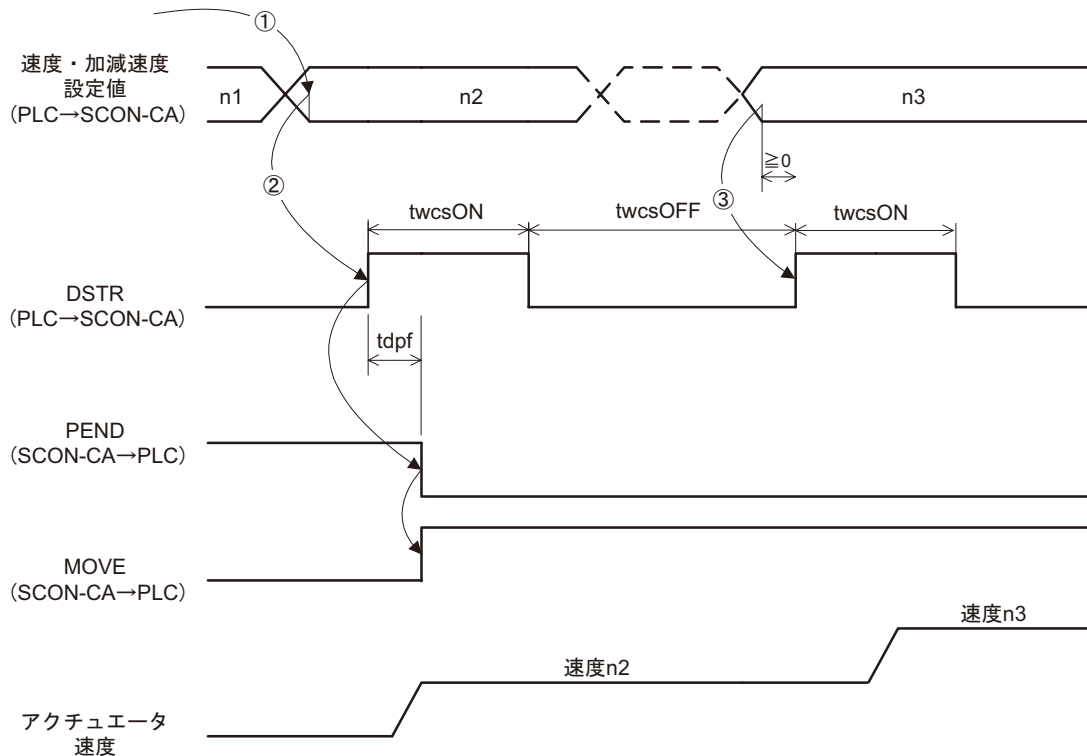
(4) 移動中のデータ変更

ハーフ直値モード1～3、フル直値モードは移動中に目標位置データ、加減速データ、速度データ、位置決め幅、押付時電流制限値の中で出力データレジスタで設定している値を変更することが可能です。

データ変更を行った後、位置決め指令（DSTR）を tdpf 以上 “ON” にします。

また、DSTR を “OFF” にした後、次の DSTR を “ON” にするまでの時間は twcsON + twcsOFF 以上開けていてください。

下図に速度・加減速度を変更した例を示します。



$$\begin{aligned} twcsON &\geq Yt + Xt + 2 \text{ (msec)} \\ twcsOFF &\geq Yt + Xt + 2 \text{ (msec)} \\ ※ Yt + Xt &\leq tpdf \leq Yt + Xt + 2 \text{ (msec)} \end{aligned}$$

- ⚠ 注意：
1. 速度の設定がされていない場合、または設定が0の場合は停止したままとなり、アラームにはなりません。
 2. 移動中に、速度設定を0に変更した場合は減速停止し、アラームにはなりません。
 3. 移動中に、加減速度／速度データだけを変更する場合でも目標位置データの設定が必要です。
 4. 移動中に、目標位置だけを変更する場合でも、加減速度・速度データの設定が必要です。

4.10 CC-Link 関連パラメータ

CC-Link に関連するパラメータは No.84 ～ No.87 および No.90 です。

区分：C：外部インタフェースの関連

No.	区分	シンボル	名称	単位	工場出荷時の初期値
1			パラメータ No.1～No.83 までは コントローラの取扱説明書をご 参照してください。		
83					
84	C	FMOD	フィールドバス動作モード	—	0
85	C	NADR	フィールドバスノードアドレス	—	1
86	C	FBRs	フィールドバス通信速度	Mbps	0
87	C	NTYP	ネットワークタイプ	—	1
90	C	FMIO	フィールドバス入出力フォーマット	—	3

●フィールドバス動作モード (No.84 FMOD)

パラメータ No.84 に動作モードを 0 ～ 8 で指定します。

パラメータ No.84 設定値	モード名	局情報および 占有局数	内容
0 (出荷時設定)	リモート I / O モード	リモート デバイス局 : 1 局	PIO (24V 入出力) による運転を CC-Link によって行 います。
1	ポジション/ 簡易直値モード	リモート デバイス局 : 1 局	目標位置を直接数値で指定するか、ポジションデー タの値で運転できます。その他の運転に必要な値は ポジションデータに設定します。
2	ハーフ直値モード	リモート デバイス局 : 2 局	目標位置以外に速度、加減速度、押付け電流値を直 接数値で指定して運転を行います。
3	フル直値モード	リモート デバイス局 : 4 局	位置制御に関する全ての値を直接数値で指定して運 転を行います。
4	リモート I / O モード 2	リモート デバイス局 : 1 局	リモート I / O モードの機能に現在位置と現在速度 読取り機能を追加したものです。
5	ポジション/ 簡易直値モード 2	リモート デバイス局 : 1 局	ポジション/簡易直値モードで力制御を行う場合に 設定します。
6	ハーフ直値モード 2	リモート デバイス局 : 2 局	ハーフ直値モードで力制御を行う場合に設定します。
7	リモート I / O モード 3	リモート デバイス局 : 1 局	リモート I / O モード 2 で力制御を行う場合に設定 します。
8	ハーフ直値モード 3	リモート デバイス局 : 2 局	ハーフ直値モードで、サーボゲイン切替や制振制御パ ラメータ切替えを行う場合に設定します。

- フィールドバスノードアドレス (No.85 NADR)
パラメータNo.85にリモート局の局番号を指定します。

設定範囲 1～64 (出荷時は1に設定されています。)

- フィールドバス通信速度 (No.86 FBRs)
パラメータNo.86に通信速度を選択します。

パラメータNo.86 設定値	通信速度
0 (出荷時設定)	156Kbps
1	625Kbps
2	2.5Mbps
3	5Mbps
4	10Mbps
上記以外	ボーレート設定エラー

- ネットワークタイプ (No.87 NTP)
パラメータNo.87にネットワークモジュールの種別を指定します。初期値から変更しないでください。

- フィールドバス入出力フォーマット (No.90 FMIO)
PLC内のアドレスは、コントローラに設定した局番とPLCのパラメータで設定する占有局数に対応する入出力ビットレジスタおよび入出力データレジスタに16点 (1ワード) 単位で各動作モードの設定に従い割付けられます。
パラメータNo.90の設定を変更することによって、PLCの入出力ビットレジスタおよび入出力データレジスタとの通信域で2ワード内のデータをバイト単位で入替えて送受信することができます。

パラメータNo.90 設定値	内容
0	入替えは行いません。PLCにはそのまま送信されます。(例i参照)
1	上位ワードの上位バイトと下位バイトを入替え、また下位ワードの上位バイトと下位バイトを入替えます。(例ii参照)
2	ワードレジスタの場合、上位ワードと下位ワードを入替えます。(例iii参照)
3 (出荷時設定)	上位ワードの上位バイトと下位バイトを入替え、また下位ワードの上位バイトと下位バイトを入替えます。ワードレジスタの場合、さらに上位ワードと下位ワードを入替えます。 (例iv参照)

(例) 設定値=“0”にした場合

●をON、○をOFFとします。

SCON 入力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●	○	●	○	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

↑

PLC : RWmn	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●	○	●	○	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

SCON 出力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●	○	●	○	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

↓

PLC : RWmn	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●	○	●	○	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

(例ii) 設定値= “1” にした場合

●をON、○をOFFとします。

SCON 入力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	3				4				1				2				C				D				A				B			

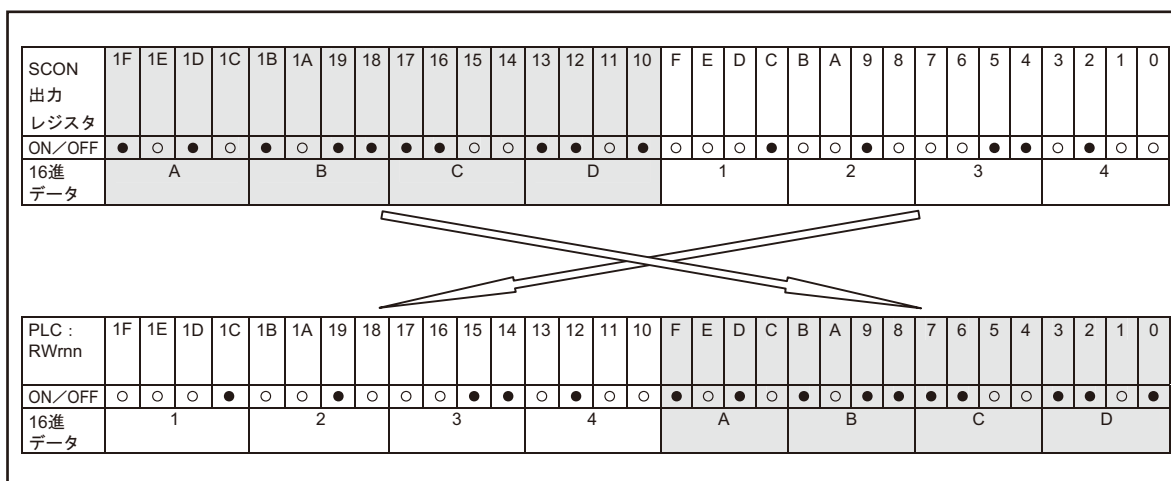
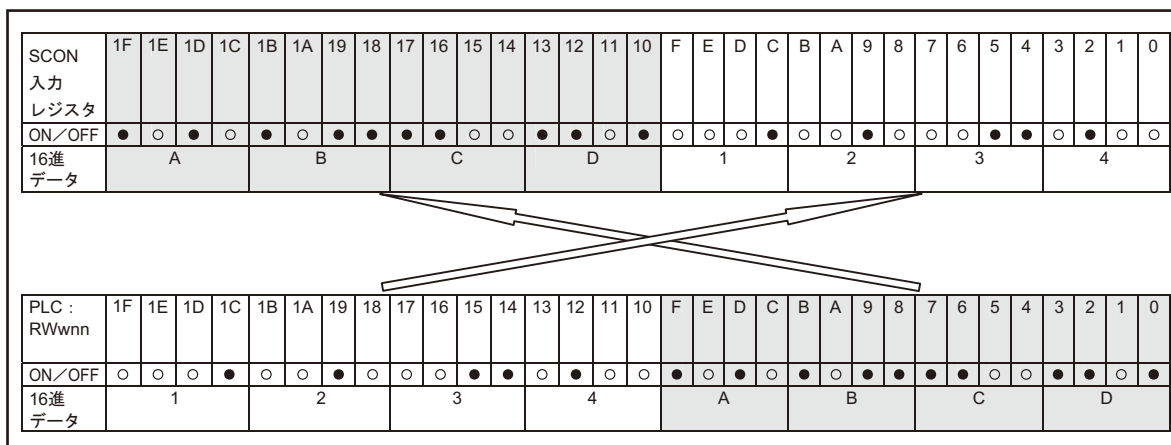
PLC : RWwnn	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

SCON 出力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	3				4				1				2				C				D				A				B			

PLC : RWmn	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

(例iii) 設定値=“2”にした場合

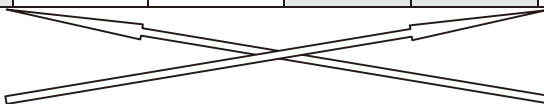
●をON、○をOFFとします。



(例iv) 設定値= “3” にした場合

●をON、○をOFFとします。

SCON 入力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	●	●	○	○	●	●	○	●	●	○	●	○	●	○	●	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	C				D				A				B				3				4				1				2			



PLC : RWnnn	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●	○	●	○	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

SCON 出力 レジスタ	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	●	●	○	○	●	●	○	●	●	○	●	○	●	○	●	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	C				D				A				B				3				4				1				2			

PLC : RWnnn	1F	1E	1D	1C	1B	1A	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
ON/OFF	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16進 データ	1				2				3				4				A				B				C				D			

4.11 トラブルシューティング

4.11.1 ステータス LED の表示

ステータスLED（STATUS0／1）点灯パターンでCC-Linkボードの動作状態やネットワークの状態を示します。

トラブルが発生した場合にはステータスLEDの点灯パターンで現在の状態を確認します。

以下にステータスLEDの点灯パターンによる通信状態表示を示します。

○：点灯 ●：消灯 ◎：点滅

STATUS1	STATUS0	状態
○	○	ありえない状態
○	●	・エラー発生（CRCエラーまたは局番設定エラーまたは通信速度設定エラー） ・電源投入またはソフトウェアリセットからCC-Link初期化終了までの間
●	○	正常交信状態
●	●	電源断、リモート局電源部故障または通信ケーブル断線
◎	○	ありえない状態
◎	●	通信中に局番設定または通信速度設定が変化した

4.11.2 アラーム内容と原因・対策

アラーム発生時、リモート I / O モード 1 ～ 3 では完了ポジション No.（PM1 ～ PM8 の 4 ビット）が簡易アラームコードを示します。

ポジション／簡易直値モード 1, 2 では RWr2 に簡易アラームコードが出力されます。

ハーフ直値モード 1 ～ 3、フル直値モードでは RWr6 にアラームコードが出力されます。

- ① PLC のモニタ機能等でアラームコードを確認するか、RC 用パソコン対応ソフトなどのティーチングツールを接続してステータスマニタで確認してください。
- ② 読み取ったアラームコードからコントローラの取扱説明書のアラーム内容一覧を検索します。
- ③ 該当のアラームコードの記述に従い対処してください。

次のアラームコードについては下表に従い対処してください。

コード	エラー名称	ID (※ 1)	RES (※ 2)	原因／対策
0F2	フィールドバス モジュール異常	05	×	原因：フィールドバスモジュールの異常が検出された 対策：パラメータを確認してください。
0F3	フィールドバスモジュール 未検出エラー	04	×	原因：モジュールが検出できなかった場合 対策：電源を再投入してください。解消されない場合は当社までご連絡ください。

(※ 1) ID → 簡易アラームコード

(※ 2) RES → アラームリセット可／不可 ○：アラームリセット可／×：アラームリセット不可

5. 変更履歴

改定日	改定内容
2011.11	初 版 既存取説より ACON、PCON を抽出し、SCON-CA を追加して再構成した。



株式会社 **アイエイアイ**

本社・工場	〒424-0103	静岡県静岡市清水区尾羽577-1	TEL 054-364-5105 FAX 054-364-2589
東京営業所	〒105-0014	東京都港区芝3-24-7 芝エクセージビルディング4F	TEL 03-5419-1601 FAX 03-3455-5707
大阪営業所	〒530-0002	大阪市北区曽根崎新地2-5-3 堂島TSSビル4F	TEL 06-6457-1171 FAX 06-6457-1185
名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄5-28-12 名古屋若宮ビル8F	TEL 052-269-2931 FAX 052-269-2933
盛岡営業所	〒020-0062	岩手県盛岡市長田町6-7 クリエ21ビル7F	TEL 019-623-9700 FAX 019-623-9701
仙台営業所	〒980-0802	宮城県仙台市青葉区二日町14-15 アミ・グランデ二日町4F	TEL 022-723-2031 FAX 022-723-2032
新潟営業所	〒940-0082	新潟県長岡市千歳3-5-17 センザビル2F	TEL 0258-31-8320 FAX 0258-31-8321
宇都宮営業所	〒321-0953	栃木県宇都宮市東宿郷5-1-16 ルーセントビル3F	TEL 028-614-3651 FAX 028-614-3653
熊谷営業所	〒360-0847	埼玉県熊谷市龍原南1-312 あかりビル5F	TEL 048-530-6555 FAX 048-530-6556
茨城営業所	〒300-1207	茨城県牛久市ひたち野東5-3-2 ひたち野うしく池田ビル2F	TEL 029-830-8312 FAX 029-830-8313
多摩営業所	〒190-0023	東京都立川市柴崎町3-14-2 BOSENビル2F	TEL 042-522-9881 FAX 042-522-9882
厚木営業所	〒243-0014	神奈川県厚木市旭町1-10-6 シャンロック石井ビル3F	TEL 046-226-7131 FAX 046-226-7133
長野営業所	〒390-0877	長野県松本市沢村2-15-23 昭和開発ビル2F	TEL 0263-37-5160 FAX 0263-37-5161
甲府営業所	〒400-0031	山梨県甲府市丸の内2-12-1 ミサトビル3F	TEL 055-230-2626 FAX 055-230-2636
静岡営業所	〒424-0103	静岡県静岡市清水区尾羽577-1	TEL 054-364-6293 FAX 054-364-2589
浜松営業所	〒430-0936	静岡県浜松市中区大工町125 大発地所ビルディング7F	TEL 053-459-1780 FAX 053-458-1318
豊田営業所	〒446-0056	愛知県豊城市三河安城町1-9-2 第二東祥ビル3F	TEL 0566-71-1888 FAX 0566-71-1877
金沢営業所	〒920-0024	石川県金沢市西念3-1-32 西清ビルA棟2F	TEL 076-234-3116 FAX 076-234-3107
京都営業所	〒612-8401	京都市伏見区深草下川原町22-11 市川ビル3F	TEL 075-646-0757 FAX 075-646-0758
兵庫営業所	〒673-0898	兵庫県明石市榑屋町8-34 大同生命明石ビル8F	TEL 078-913-6333 FAX 078-913-6339
岡山営業所	〒700-0973	岡山市北区下中野311-114 OMOTO-ROOT BLD.101	TEL 086-805-2611 FAX 086-244-6767
広島営業所	〒730-0802	広島市中区本川町2-1-9 日宝本川町ビル5F	TEL 082-532-1750 FAX 082-532-1751
松山営業所	〒790-0905	愛媛県松山市梅味4-9-22 フォーレスト21 1F	TEL 089-986-8562 FAX 089-986-8563
福岡営業所	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3-13-21 エフビルWING 7F	TEL 092-415-4466 FAX 092-415-4467
大分出張所	〒870-0823	大分県大分市東大道1-11-1 タンネンバウムⅢ2F	TEL 097-543-7745 FAX 097-543-7746
熊本営業所	〒862-0954	熊本県熊本市神水1-38-33 幸山ビル1F	TEL 096-386-5210 FAX 096-386-5112

お問い合わせ先
アイエイアイお客様センター エイト

(受付時間) 月～金 24時間 (月 7 : 00AM～金 翌朝 7 : 00AM) 土、祝日 9 : 00AM～5 : 00PM (年末年始を除く)
フリー 0800-888-0088 FAX : 0800-888-0099 (通話料無料)

ホームページアドレス <http://www.iai-robot.co.jp>

IAI America, Inc.

Head Office : 2690 W. 237th Street Torrance, CA 90505
TEL (310) 891-6015 FAX (310) 891-0815

Chicago Office : 1261 Hamilton Parkway Itasca, IL 60143
TEL (630) 467-9900 FAX (630) 467-9912

Atlanta Office : 1220 Kennestone Circle Suite 108 Marietta, GA 30066
TEL (678) 354-9470 FAX (678) 354-9471

website: www.intelligentactuator.com

IAI Industrieroboter GmbH

Ober der Röth 4, D-65824 Schwalbach am Taunus, Germany
TEL 06196-88950 FAX 06196-889524

IAI (Shanghai) Co., Ltd.

SHANGHAI JIAHUA BUSINESS CENTER A8-303, 808, Hongqiao Rd. Shanghai 200030, China
TEL 021-6448-4753 FAX 021-6448-3992

website: www.iai-robot.com